もくじ

スキャン方法：写真

スキャン方法：レポート / 報告書

スキャン方法：雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシ

スキャン方法 : イラスト / 図

スキャン方法 : フィルム

スキャン方法：便利な機能

スキャン方法：便利な機能

困ったときは：トラブル対処方法

添付ソフトウェアの使い方

スキャナビボタンと EPSON Smart Panel でスキャン

スキャナについて

マメ知識

スキャン方法：写真

原稿（写真）のセット方法

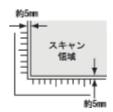
1. 原稿カバーを開けて、原稿をセットします。

写真のスキャンする面を下に向け、原稿台の手前真ん中の▲マークに原稿の上端中央を合わせて、まっすぐセットしてください。

2. 原稿カバーを閉じます。

指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、静かに原稿カバーを閉じてください。

注意

- 原稿台や原稿カバー（フィルムスキャンユニット）に強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 写真や書類など（光を反射する原稿）をスキャンする場合には、必ず保護マットを取り付けてから原稿をスキャンしてください。
- 原稿台の下端から 5mm、左端から 5mm の範囲はスキャンできません。

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

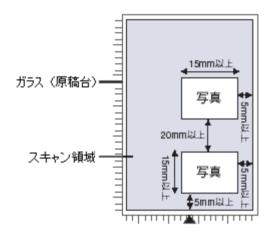
ポイント

- 原稿は、スキャンする面が平らなものを使用してください。スキャンする面がゆがんでいると、ゆがんだままスキャンされます。

- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。
- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
- 原稿台には A、B、C、D の刻印や、小さい穴がありますが、これはフィルムをセットするときに使う物です。
- 原稿台の右の側面に 2 箇所突起がありますが、これはマルチフォトフィーダ（別売）をセットしたときに固定するための物です。この部分に写真を挟まないよう、ご注意ください。写真に傷が付くおそれがあります。

こんなときは

◆◆原稿台よりも大きいサイズの原稿をセットする場合◆◆
「原稿台よりも大きい原稿のセット」202

◆◆全自動モードでスキャン、またはプレビューをサムネイル表示する場合◆◆
・原稿が少し傾いていても、傾きは自動的に補正されますが、原稿によっては補正できない場合があります。できるだけまっすぐセットしてください。
・全自動モードでスキャンした原稿の端の部分は、若干切り取られる場合があります。
・スキャン領域の端面から 5mm 以上離してセットしてください。
・複数の写真を並べてセットする場合は、写真と写真の間隔を 20mm 以上空けてください。

以上で原稿のセットは終了です。

次に、原稿をスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
スキャナドライバ「EPSON Scan」には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがあります。
目的にあったモードをクリックして、次へお進みください。

- 自動的に画像をスキャンする
  「写真を全自動モードでスキャンして保存」9
- 簡単な設定でスキャンする
  「写真をホームモードでスキャンして保存」13
- 詳細な画質調整を行ってからスキャンする
  「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

ポイント

◆◆どのモードを選択したら良いか迷う場合には◆◆
「どのモードを選択する？」266
「こんなときはどのモード？」269

写真を全自動モードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、一番簡単な全自動モードでの写真のスキャン方法を説明します。

ポイント

全自動モードは、原稿の種類を自動判別し、原稿に最適な設定でスキャンできるモードです。

こんなときは

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆

EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2.　以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」10 へ進んでください。	スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」11 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」11 へ進んでください。	画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」11 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 3　スキャンして保存」11
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

2. ［OK］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、スキャンが始まります。
「ステップ 3　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、全自動モードで自動認識中に［停止］ボタンをクリックすると表示される画面で、［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

ステップ 3　スキャンして保存

1. スキャンを開始します。

画像がスキャンされ、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

2. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ２　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

＜画像を表示する設定にしている場合の例＞

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ２　保存ファイルの設定」10

以上で、全自動モードでのスキャン／保存は終了です。

写真をホームモードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、簡単な設定でスキャンできるホームモードでの写真のスキャン方法を説明します。

ポイント

ホームモードは、簡単な設定でスキャンできる、最もお勧めのモードです。

こんなときは

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆

EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1. **EPSON Scan を起動します。**

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. **以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。**

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」14 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」16 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 4　スキャンして保存」16 へ進んでください。	「ステップ 3　モードの切り替え」16 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」16
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［ホームモード］画面の［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2. ［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［ホームモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

1	原稿種	［写真］を選択します。		
2	イメージタイプ	カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするのかを選択します。 原稿種に合った項目が自動的に選択されますので、通常は設定する必要はありません。		
3	出力設定	用途に応じて、適切な解像度を設定します。		
		スクリーン／ Web	96dpi	壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ上で使用する画像をスキャンする場合に選択します。
		プリンタ	300dpi	プリンタで印刷する場合に選択します。
		その他	50 ～ 2400dpi	その他の用途で使用する場合に選択し、［解像度］リストで用途に応じた解像度を設定してください。

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354

「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

ポイント

◆◆通常表示とサムネイル表示について◆◆

［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックすると、プレビューの表示方法を選択できます。プレビューの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。

「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

＜通常表示の場合＞

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、［画質調整］ボタンをクリックして画質を調整します。

<イメージタイプがカラー/グレーの場合>

1	明るさ	画像全体の明るさ、暗さを調整します。 スライダを右に動かせば明るく、左に動かせば暗くなります。

2	コントラスト	明暗の比率を調整します。 スライダを右に動かすと明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。スライダを左に動かすと逆の効果が得られます。
3	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。 「モアレ（網目状の陰影）を取り除く」169
4	退色復元	昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真の色合いを、元の色に戻してスキャンできます。 「色あせた写真の色を復元する」165
5	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	画像を白か黒のモノクロ（2 値）データでスキャンする時の、白黒の境を決めるものです。 この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒としてスキャンする範囲が変わります。文字原稿や図面などのスキャンで、文字や線がかすれる場合に有効です。

6.［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7.［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8.［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。

「ステップ２　保存ファイルの設定」14

以上で、ホームモードでのスキャン／保存は終了です。

写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、詳細な画像調整ができるプロフェッショナルモードでの写真のスキャン方法を説明します。

ポイント
プロフェッショナルモードは、高度な画像調整機能を備えたモードです。

こんなときは
◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1. **EPSON Scan を起動します。**

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは
◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. **以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。**

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」22 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」24 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 3　モードの切り替え」24 へ進んでください。	「ステップ 4　スキャンして保存」24 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン時に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」24
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2.［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［プロフェッショナルモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

1	原稿種	［反射原稿］を選択します。	
2	取込装置	［原稿台］を選択します。	
3	自動露出	［写真向き］を選択します。写真のスキャンに適した露出設定です。自然な明暗でスキャンされます。	
4	イメージタイプ	［24bit カラー］を選択します。 スキャン後に画像を加工する場合は、［48bit カラー］を選択することをお勧めします（48bit カラーデータの加工や出力には 48bit に対応したアプリケーションが必要です）。 モノクロ写真をスキャンしたい場合は、［16bit グレー］または［8bit グレー］を選択してください。	
5	解像度	スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。	
		インクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi（カラー、グレー画像の場合）360dpi（白黒の線画の場合）
		インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷	300dpi（カラー、グレー画像の場合）720dpi（白黒の線画の場合）
		レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合）600dpi（白黒の線画の場合）
		文書ファイリング	300dpi
		ディスプレイ表示／ホームページ用画像	96dpi
		E メール送信	96 ～ 150dpi

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354

「解像度を上げるときれいになる？」346

2.　［プレビュー］ボタンをクリックします。

ポイント

◆◆通常表示とサムネイル表示について◆◆

［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックすると、プレビューの表示方法を選択できます。プレビューの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

3. ［出力サイズ］で［L 判］を選択します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。指定されたサイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。
「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠を拡大／縮小または移動してスキャンする範囲を決めてください。このとき、取り込み枠の縦横比は維持されます。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

＜通常表示の場合＞

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、画質を調整します。

1	［自動露出］ボタン	取り込み枠内の露出（明暗）を自動調整します。 これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。自動露出を元に戻すには、［リセット］ボタンをクリックします。
2	［ヒストグラム調整］ボタン	ハイライトとシャドウ部を調整して画像の明暗やグレーバランスを調整したり、色かぶりを取り除きます。 「色かぶりを取り除く」172 「メリハリをつける」177 「シャドウ／ハイライト部の階調を調整する」195
3	［濃度補正］ボタン	トーン曲線を編集して画像全体の濃度をバランス良く仕上げます。 「濃度を調整する」187
4	［イメージ調整］ボタン	画像の明るさ・コントラスト・彩度や、カラーバランスを調整します。 「明暗を調整する」179 「色鮮やかにする」189 「色合いを変える」192
5	［リセット］ボタン	自動露出・ヒストグラム調整・濃度補正・イメージ調整した画像を調整前の画像に戻します。
6	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 「シャープにする」175
7	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。
8	印刷線数	モアレ除去フィルタの横にある「+」（Windows）／「▷」（Macintosh）をクリックすると表示されます。 スキャナにセットした原稿の種類に合った、線数を設定することでモアレがより目立たなくなります。 「それでもモアレが目立つときは」170
9	退色復元	昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真の色合いを、元の色に戻してスキャンできます。 「色あせた写真の色を復元する」165

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9.　保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ２　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

〈画像を表示する設定にしている場合の例〉

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ２　保存ファイルの設定」22

以上で、プロフェッショナルモードでのスキャン／保存は終了です。

スキャン方法：レポート / 報告書

原稿（レポートなど）のセット方法

1. **原稿カバーを開けて、原稿をセットします。**

原稿のスキャンする面を下に向け、原稿台の手前真ん中の▲マークに原稿の上端中央を合わせて、まっすぐセットしてください。

2. **原稿カバーを閉じます。**

指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、静かに原稿カバーを閉じてください。

注意

- 原稿台や原稿カバー（フィルムスキャンユニット）に強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 写真や書類など（光を反射する原稿）をスキャンする場合には、必ず保護マットを取り付けてからスキャンしてください。
- 原稿台の下端から 5mm、左端から 5mm の範囲はスキャンできません。

- 原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

ポイント

- 原稿は、スキャンする面が平らなものを使用してください。スキャンする面がゆがんでいると、ゆがんだままスキャンされます。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
- 原稿台には A、B、C、D の刻印や、小さい穴がありますが、これはフィルムをセットするときに使う物です。
- 原稿台の右の側面に 2 箇所突起がありますが、これはマルチフォトフィーダ（別売）をセットしたときに固定するための物です。この部分に原稿を挟まないよう、ご注意ください。原稿に傷が付くおそれがあります。

こんなときは

◆◆原稿台よりも大きいサイズの原稿をセットしたい場合◆◆
「原稿台よりも大きい原稿のセット」202

以上で原稿のセットは終了です。

次に、原稿をスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
スキャナドライバ「EPSON Scan」には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがあります。
目的にあったモードをクリックして、次へお進みください。

- 自動的に原稿をスキャンする
  「レポート / 報告書を全自動モードでスキャンして保存」31
- 簡単な設定でスキャンする
  「レポート / 報告書をホームモードでスキャンして保存」35
- 詳細な画質調整を行ってからスキャンする
  「レポート / 報告書をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」43

こんなときは

◆◆どのモードを選択したら良いか迷う場合には◆◆
「どのモードを選択する？」266
「こんなときはどのモード？」269

レポート / 報告書を全自動モードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、一番簡単な全自動モードでのレポート／報告書など文字の多い原稿のスキャン方法を説明します。

ポイント
全自動モードは、原稿の種類を自動判別し、原稿に最適な設定でスキャンできるモードです。

こんなときは
◆◆レポート、報告書などの文字を文字データとしてスキャンしたい場合◆◆
「文字原稿のスキャン」221

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは
◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. 以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」32 へ進んでください。	スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」33 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」33 へ進んでください。	画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」33 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1. 必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 3　スキャンして保存」33
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 PDF 形式で保存することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

2. ［OK］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、スキャンが始まります。
「ステップ 3　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、全自動モードで自動認識中に［停止］ボタンをクリックすると表示される画面で、［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

ステップ 3　スキャンして保存

1. スキャンを開始します。

画像がスキャンされ、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

2. **保存されたファイルを確認します。**

スキャンした画像は、「ステップ２　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ２　保存ファイルの設定」32

以上で、全自動モードでのスキャン／保存は終了です。

レポート / 報告書をホームモードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、簡単な設定でスキャンできるホームモードでのレポート／報告書など文字の多い原稿のスキャン方法を説明します。

ポイント

ホームモードは、簡単な設定でスキャンできる、最も お勧めのモードです。

こんなときは

◆◆レポート、報告書などの文字を文字データとしてスキャンしたい場合◆◆

「文字原稿のスキャン」221

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆

EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. 以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」36 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」38 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 4　スキャンして保存」38 へ進んでください。	「ステップ 3　モードの切り替え」38 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1. 必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」38
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 PDF 形式で保存することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［ホームモード］画面の［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2. ［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1 EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3 モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［ホームモード］を選択します。

ステップ 4 スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

1	原稿種	［文字／線画］を選択します。		
2	イメージタイプ	［原稿種］で［文字／線画］を選択すると、［モノクロ］が自動的に選択されます。 カラーの原稿をスキャンしたい場合は、［カラー］を選択します。		
3	出力設定	用途に応じて、適切な解像度を設定します。		
		スクリーン／ Web	96dpi	壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ上で使用する画像をスキャンする場合に選択します。
		プリンタ	300dpi	プリンタで印刷する場合に選択します。
		その他	50 ～ 2400dpi	その他の用途で使用する場合に選択し、［解像度］リストで用途に応じた解像度を設定してください。

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354
「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。

「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆

［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。

「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。

「取り込み枠を作成する」272

＜通常表示の場合＞

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、［画質調整］ボタンをクリックして画質を調整します。

1	明るさ	画像全体の明るさ、暗さを調整します。 スライダを右に動かせば明るく、左に動かせば暗くなります。
2	コントラスト	明暗の比率を調整します。 スライダを右に動かすと明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。スライダを左に動かすと逆の効果が得られます。
3	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。 「モアレ（網目状の陰影）を取り除く」169
4	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	画像を白か黒のモノクロ（2 値）データでスキャンする時の、白黒の境を決めるものです。 この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒としてスキャンする範囲が変わります。文字原稿や図面などのスキャンで、文字や線がかすれる場合に有効です。

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は PDF 形式を選択することをお勧めします。PDF 形式は Windows と Macintosh で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ２　保存ファイルの設定」36

以上で、ホームモードでのスキャン／保存は終了です。

レポート / 報告書をプロフェッショナルモードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、詳細な画像調整ができるプロフェッショナルモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント

プロフェッショナルモードは、高度な画像調整機能を備えたモードです。

こんなときは

◆◆レポート、報告書などの文字を文字データとしてスキャンしたい場合◆◆

「文字原稿のスキャン」221

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆

EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. 以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」44 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」46 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 3　モードの切り替え」46 へ進んでください。	「ステップ 4　スキャンして保存」46 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1. 必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」46
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 PDF 形式で保存することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［プロフェッショナルモード］画面の［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2.　［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［プロフェッショナルモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

<table>
<tr><td>1</td><td>原稿種</td><td colspan="2">［反射原稿］を選択します。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>取込装置</td><td colspan="2">［原稿台］を選択します。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>自動露出</td><td colspan="2">［書類向き］を選択します。
背景の黄色味を除去したり、裏写りを防止できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">イメージタイプ</td><td colspan="2">［モノクロ］を選択します。
カラーの原稿をスキャンしたい場合は、［24bit カラー］を選択します。</td></tr>
<tr><td>モノクロオプション</td><td>スキャンしない色を設定できます。
［イメージタイプ］で［モノクロ］を選択した場合に［イメージタイプ］の横にある「+」（Windows）／「▷」（Macintosh）をクリックすると表示されます。
なし・ドロップアウト：赤・ドロップアウト：緑・ドロップアウト：青から選択します。通常は設定を変更する必要はありません。
画像によっては、緑または青がきれいに消えない場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5</td><td rowspan="3">解像度</td><td colspan="2">スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。</td></tr>
<tr><td>文書ファイリング</td><td>300dpi</td></tr>
<tr><td>OCR（光学文字認識）</td><td>400dpi</td></tr>
</table>

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354

「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。

「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠を拡大／縮小または移動してスキャンする範囲を決めてください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

＜通常表示の場合＞

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、画質を調整します。

<イメージタイプがカラー/グレーの場合>

<イメージタイプがモノクロの場合>

1	［自動露出］ボタン	取り込み枠内の露出（明暗）を自動調整します。 これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。自動露出を元に戻すには、［リセット］ボタンをクリックします。
2	［ヒストグラム調整］ボタン	ハイライトとシャドウ部を調整して画像の明暗やグレーバランスを調整したり、色かぶりを取り除きます。 「色かぶりを取り除く」172 「メリハリをつける」177 「シャドウ／ハイライト部の階調を調整する」195

3	［濃度補正］ボタン	トーン曲線を編集して画像全体の濃度をバランス良く仕上げます。 「濃度を調整する」187
4	［イメージ調整］ボタン	画像の明るさ・コントラスト・彩度や、カラーバランスを調整します。 「明暗を調整する」179 「色鮮やかにする」189 「色合いを変える」192
5	［リセット］ボタン	自動露出・ヒストグラム調整・濃度補正・イメージ調整した画像を調整前の画像に戻します。
6	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 「シャープにする」175
7	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。
8	印刷線数	モアレ除去フィルタの横にある「+」（Windows）／「 」（Macintosh）をクリックすると表示されます。スキャナにセットした原稿の種類に合った、線数を設定することでモアレがより目立たなくなります。 「それでもモアレが目立つときは」170
9	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	画像を白か黒のモノクロ（2 値）データでスキャンする時の、白黒の境を決めるものです。 この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒としてスキャンする範囲が変わります。文字原稿や図面などのスキャンで、文字や線がかすれる場合に有効です。

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は PDF 形式を選択することをお勧めします。PDF 形式は Windows と Macintosh で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

〈画像を表示する設定にしている場合の例〉

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ 2　保存ファイルの設定」44

以上で、プロフェッショナルモードでのスキャン／保存は終了です。

スキャン方法：雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシ

原稿（雑誌など）のセット方法

1. **原稿カバーを開けて、原稿をセットします。**

   原稿のスキャンする面を下に向け、原稿台の手前真ん中の▲マークに原稿の上端中央を合わせて、まっすぐセットしてください。

2. **原稿カバーを閉じます。**

   指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、静かに原稿カバーを閉じてください。

注意

- 原稿台や原稿カバー（フィルムスキャンユニット）に強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 写真や書類など（光を反射する原稿）をスキャンする場合には、必ず保護マットを取り付けてからスキャンしてください。
- 原稿台の下端から 5mm、左端から 5mm の範囲はスキャンできません。

- 原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

ポイント

- 原稿は、スキャンする面が平らなものを使用してください。スキャンする面がゆがんでいると、ゆがんだままスキャンされます。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
- 原稿台には A、B、C、D の刻印や、小さい穴がありますが、これはフィルムをセットするときに使う物です。
- 原稿台の右の側面に 2 箇所突起がありますが、これはマルチフォトフィーダ（別売）をセットしたときに固定するための物です。この部分に原稿を挟まないよう、ご注意ください。原稿に傷が付くおそれがあります。

こんなときは

◆◆原稿台よりも大きいサイズの原稿をセットしたい場合◆◆
「原稿台よりも大きい原稿のセット」202

以上で原稿のセットは終了です。

次に、原稿をスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
スキャナドライバ「EPSON Scan」には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがあります。
目的にあったモードをクリックして、次へお進みください。

- 自動的に原稿をスキャンする
  「雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシを全自動モードでスキャンして保存」53
- 簡単な設定でスキャンする
  「雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシをホームモードでスキャンして保存」57
- 詳細な画質調整を行ってからスキャンする
  「雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシをプロフェッショナルモードでスキャンして保存」65

こんなときは

◆◆どのモードを選択したら良いか迷う場合には◆◆
「どのモードを選択する？」266
「こんなときはどのモード？」269

雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシを全自動モードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、一番簡単な全自動モードでのスキャン方法を説明します。

ポイント
全自動モードは、原稿の種類を自動判別し、原稿に最適な設定でスキャンできるモードです。

こんなときは
◆◆雑誌、新聞などの文字を文字データとしてスキャンしたい場合◆◆
「文字原稿のスキャン」221

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1. **EPSON Scan を起動します。**

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは
◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. **以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。**

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」54 へ進んでください。	スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」55 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」55 へ進んでください。	画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」55 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1. **必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。**

   ［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、[参照] ボタン（Windows）／ [選択] ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 3　スキャンして保存」55
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、[文字列] ＋ [開始番号] で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 PDF または JPEG 形式を選択することをお勧めします。PDF 形式は Windows と Macintosh で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または [スキャン] ボタンをクリックするたびに、[保存ファイルの設定] 画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、[保存先] で指定したフォルダが開きます。

2.　[OK] ボタンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックすると、スキャンが始まります。
「ステップ 3　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆ [保存ファイルの設定] 画面を表示したい場合◆◆
[次回スキャン前に、このダイアログを表示する] のチェックを外していると、スキャン前に [保存ファイルの設定] 画面が表示されません。この画面を表示するには、全自動モードで自動認識中に [停止] ボタンをクリックすると表示される画面で、[スキャン] ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで [保存ファイルの設定] を選択してください。

ステップ 3　スキャンして保存

1.　スキャンを開始します。

画像がスキャンされ、指定した保存先に保存されます。

[保存ファイルの設定] 画面で [スキャン後、保存フォルダを開く] をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

2. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ２　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

＜画像を表示する設定にしている場合の例＞

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ２　保存ファイルの設定」54

以上で、全自動モードでのスキャン／保存は終了です。

雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシをホームモードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、簡単な設定でスキャンできるホームモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント

ホームモードは、簡単な設定でスキャンできる、最もお勧めのモードです。

こんなときは

◆◆雑誌、新聞などの文字を文字データとしてスキャンしたい場合◆◆

「文字原稿のスキャン」221

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆

EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. 以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」58 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」60 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 4　スキャンして保存」60 へ進んでください。	「ステップ 3　モードの切り替え」60 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1. 必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」60
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 PDF または JPEG 形式を選択することをお勧めします。PDF 形式は Windows と Macintosh で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［ホームモード］画面の［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2.　［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1.　[モード] メニューから [ホームモード] を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1.　各項目を設定します。

<table>
<tr><td>1</td><td>原稿種</td><td colspan="3">［雑誌］または［新聞］を選択します。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>イメージタイプ</td><td colspan="3">カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするのかを選択します。
原稿種に合った項目が自動的に選択されますので、通常は設定する必要はありません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3</td><td rowspan="4">出力設定</td><td colspan="3">用途に応じて、適切な解像度を設定します。</td></tr>
<tr><td>スクリーン／ Web</td><td>96dpi</td><td>壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ上で使用する画像をスキャンする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>プリンタ</td><td>300dpi</td><td>プリンタで印刷する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>50 ～ 2400dpi</td><td>その他の用途で使用する場合に選択し、［解像度］リストで用途に応じた解像度を設定してください。</td></tr>
</table>

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354

「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。

「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆

［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。

「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4.　スキャンする範囲を指定します。

「取り込み枠を作成する」272

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5.　必要に応じて、［画質調整］ボタンをクリックして画質を調整します。

1	明るさ	画像全体の明るさ、暗さを調整します。 スライダを右に動かせば明るく、左に動かせば暗くなります。
2	コントラスト	明暗の比率を調整します。 スライダを右に動かすと明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。スライダを左に動かすと逆の効果が得られます。
3	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。 「モアレ（網目状の陰影）を取り除く」169

4	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	画像を白か黒のモノクロ（2 値）データでスキャンする時の、白黒の境を決めるものです。この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒としてスキャンする範囲が変わります。文字原稿や図面などのスキャンで、文字や線がかすれる場合に有効です。

6.　［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを開始します。

7.　［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は PDF または JPEG 形式を選択することをお勧めします。PDF 形式は Windows と Macintosh で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8.　［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9.　保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

＜画像を表示する設定にしている場合の例＞

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ 2　保存ファイルの設定」58

以上で、ホームモードでのスキャン／保存は終了です。

雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシをプロフェッショナルモードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、詳細な画像調整ができるプロフェッショナルモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント
プロフェッショナルモードは、高度な画像調整機能を備えたモードです。

こんなときは
◆◆雑誌、新聞などの文字を文字データとしてスキャンしたい場合◆◆
「文字原稿のスキャン」221

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1 EPSON Scan の起動

1. EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2.　以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」67 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」68 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 3　モードの切り替え」68 へ進んでください。	「ステップ 4　スキャンして保存」68 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」68
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 PDF または JPEG 形式を選択することをお勧めします。PDF 形式は Windows と Macintosh で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［プロフェッショナルモード］画面の［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2.　［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。［キャンセル］ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［プロフェッショナルモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

<table>
<tr><td>1</td><td>原稿種</td><td colspan="3">［反射原稿］を選択します。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>取込装置</td><td colspan="3">［原稿台］を選択します。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>自動露出</td><td colspan="3">［書類向き］を選択します。
背景の黄色味を除去したり、裏写りを防止できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">4</td><td rowspan="8">イメージタイプ</td><td colspan="3">カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするのかを選択します。</td></tr>
<tr><td>24bit カラー</td><td colspan="2">24bit カラー（約 1677 万色）でスキャンします。カラー原稿の場合、通常はこの設定で十分な画質が得られます。</td></tr>
<tr><td>カラースムージング</td><td colspan="2">カラー原稿を特定の色に減色して（割り当てて）スキャンします。色数の少ないロゴ・グラフ・イラストなどの場合、色のムラが発生しません。</td></tr>
<tr><td>16bit グレー</td><td colspan="2">16bit（65,536 階調）のグレースケールでスキャンします。</td></tr>
<tr><td>8bit グレー</td><td colspan="2">8bit（256 階調）のグレースケールでスキャンします。白黒写真の場合、通常はこの設定で十分な画質が得られます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">モノクロ</td><td colspan="2">白黒 2 値（白か黒）のデータでスキャンします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">モノクロオプション</td><td rowspan="2">スキャンしない色を設定できます。
［イメージタイプ］で［モノクロ］を選択した場合に［イメージタイプ］の横にある「+」（Windows）／「▷」（Macintosh）をクリックすると表示されます。
なし・ドロップアウト：赤・ドロップアウト：緑・ドロップアウト：青から選択します。通常は設定を変更する必要はありません。
画像によっては、緑または青がきれいに消えない場合があります。</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="8">5</td><td rowspan="8">解像度</td><td colspan="3">スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。</td></tr>
<tr><td>インクジェットプリンタでのファイン印刷</td><td colspan="2">150dpi（カラー、グレー画像の場合）360dpi（白黒の線画の場合）</td></tr>
<tr><td>インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷</td><td colspan="2">300dpi（カラー、グレー画像の場合）720dpi（白黒の線画の場合）</td></tr>
<tr><td>レーザープリンタでの印刷</td><td colspan="2">200dpi（カラー、グレー画像の場合）600dpi（白黒の線画の場合）</td></tr>
<tr><td>文書ファイリング</td><td colspan="2">300dpi</td></tr>
<tr><td>ディスプレイ表示／ホームページ用画像</td><td colspan="2">96dpi</td></tr>
<tr><td>E メール送信</td><td colspan="2">96 ～ 150dpi</td></tr>
<tr><td>OCR（光学文字認識）</td><td colspan="2">400dpi</td></tr>
</table>

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆
「解像度について」354
「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。
「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠を拡大／縮小または移動してスキャンする範囲を決めてください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

＜通常表示の場合＞

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、画質を調整します。

<イメージタイプがカラー/グレーの場合>

<イメージタイプがモノクロの場合>

1	［自動露出］ボタン	取り込み枠内の露出（明暗）を自動調整します。 これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。自動露出を元に戻すには、［リセット］ボタンをクリックします。
2	［ヒストグラム調整］ボタン	ハイライトとシャドウ部を調整して画像の明暗やグレーバランスを調整したり、色かぶりを取り除きます。 「色かぶりを取り除く」172 「メリハリをつける」177 「シャドウ／ハイライト部の階調を調整する」195
3	［濃度補正］ボタン	トーン曲線を編集して画像全体の濃度をバランス良く仕上げます。 「濃度を調整する」187
4	［イメージ調整］ボタン	画像の明るさ・コントラスト・彩度や、カラーバランスを調整します。 「明暗を調整する」179 「色鮮やかにする」189 「色合いを変える」192
5	［リセット］ボタン	自動露出・ヒストグラム調整・濃度補正・イメージ調整した画像を調整前の画像に戻します。
6	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 「シャープにする」175
7	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。
8	印刷線数	モアレ除去フィルタの横にある「+」（Windows）／「▷」（Macintosh）をクリックすると表示されます。 スキャナにセットした原稿の種類に合った、線数を設定することでモアレがより目立たなくなります。 「それでもモアレが目立つときは」170
9	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	画像を白か黒のモノクロ（2 値）データでスキャンする時の、白黒の境を決めるものです。 この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒としてスキャンする範囲が変わります。文字原稿や図面などのスキャンで、文字や線がかすれる場合に有効です。

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は PDF または JPEG 形式を選択することをお勧めします。PDF 形式は Windows と Macintosh で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ 2　保存ファイルの設定」67

以上で、プロフェッショナルモードでのスキャン／保存は終了です。

スキャン方法：イラスト / 図

原稿（イラストなど）のセット方法

1. 原稿カバーを開けて、原稿をセットします。

原稿のスキャンする面を下に向け、原稿台の手前真ん中の▲マークに原稿の上端中央を合わせて、まっすぐセットしてください。

2. 原稿カバーを閉じます。

指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、静かに原稿カバーを閉じてください。

注意

- 原稿台や原稿カバー（フィルムスキャンユニット）に強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 写真や書類など（光を反射する原稿）をスキャンする場合には、必ず保護マットを取り付けてからスキャンしてください。
- 原稿台の下端から 5mm、左端から 5mm の範囲はスキャンできません。

- 原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

ポイント

- 原稿は、スキャンする面が平らなものを使用してください。スキャンする面がゆがんでいると、ゆがんだままスキャンされます。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
- 原稿台には A、B、C、D の刻印や、小さい穴がありますが、これはフィルムをセットするときに使う物です。
- 原稿台の右の側面に 2 箇所突起がありますが、これはマルチフォトフィーダ（別売）をセットしたときに固定するための物です。この部分に原稿を挟まないよう、ご注意ください。原稿に傷が付くおそれがあります。

こんなときは

◆◆原稿台よりも大きいサイズの原稿をセットしたい場合◆◆
「原稿台よりも大きい原稿のセット」202

以上で原稿のセットは終了です。

次に、原稿をスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
スキャナドライバ「EPSON Scan」には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがあります。
目的にあったモードをクリックして、次へお進みください。

- 自動的に原稿をスキャンする
  「イラスト / 図を全自動モードでスキャンして保存」75
- 簡単な設定でスキャンする
  「イラスト / 図をホームモードでスキャンして保存」79
- 詳細な画質調整を行ってからスキャンする
  「イラスト / 図をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」87

こんなときは

◆◆どのモードを選択したら良いか迷う場合には◆◆
「どのモードを選択する？」266
「こんなときはどのモード？」269

イラスト / 図を全自動モードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、一番簡単な全自動モードでのスキャン方法を説明します。

ポイント

全自動モードは、原稿の種類を自動判別し、原稿に最適な設定でスキャンできるモードです。

こんなときは

◆◆色のムラが発生する場合◆◆

色数の少ないロゴ・グラフ・イラストなどをスキャンした場合に色のムラが発生する場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードでスキャンしてください。

「イラスト / 図をホームモードでスキャンして保存」79
「イラスト / 図をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」87

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆

EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆

［スタート］ー［すべてのプログラム］（または［プログラム］）ー［EPSON Scan］ー［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. 以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」76 へ進んでください。	スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」77 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」77 へ進んでください。	画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3　スキャンして保存」77 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1. 必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 3　スキャンして保存」77
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式で保存することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

2.　［OK］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、スキャンが始まります。
「ステップ 3　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、全自動モードで自動認識中に［停止］ボタンをクリックすると表示される画面で、［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

ステップ 3　スキャンして保存

1.　スキャンを開始します。

画像がスキャンされ、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

2.　保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ 2　保存ファイルの設定」76

以上で、全自動モードでのスキャン／保存は終了です。

イラスト / 図をホームモードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、簡単な設定でスキャンできるホームモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント
ホームモードは、簡単な設定でスキャンできる、最もお勧めのモードです。

こんなときは
◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1. **EPSON Scan を起動します。**

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは
◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. **以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。**

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」80 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」82 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 4　スキャンして保存」82 へ進んでください。	「ステップ 3　モードの切り替え」82 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ４　スキャンして保存」82
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［ホームモード］画面の［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2. ［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ４　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1.　[モード] メニューから [ホームモード] を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1.　各項目を設定します。

<table>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="3">原稿種</td><td colspan="3">［イラスト］または［文字／線画］を選択します。</td></tr>
<tr><td>イラスト</td><td colspan="2">色数の少ない原稿（ロゴ・グラフ・地図・イラストなど）をスキャンする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>文字／線画</td><td colspan="2">線画をスキャンする場合に選択します。白黒 2 値（白か黒）のデータでスキャンされます。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>イメージタイプ</td><td colspan="3">カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするのかを選択します。
原稿種に合った項目が自動的に選択されますので、通常は設定する必要はありません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3</td><td rowspan="4">出力設定</td><td colspan="3">用途に応じて、適切な解像度を設定します。</td></tr>
<tr><td>スクリーン／ Web</td><td>96dpi</td><td>壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ上で使用する画像をスキャンする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>プリンタ</td><td>300dpi</td><td>プリンタで印刷する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>50 ～ 2400dpi</td><td>その他の用途で使用する場合に選択し、［解像度］リストで用途に応じた解像度を設定してください。</td></tr>
</table>

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354
「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。

「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。
「取り込み枠を作成する」272

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、［画質調整］ボタンをクリックして画質を調整します。

1	明るさ	画像全体の明るさ、暗さを調整します。 スライダを右に動かせば明るく、左に動かせば暗くなります。

2	コントラスト	明暗の比率を調整します。 スライダを右に動かすと明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。スライダを左に動かすと逆の効果が得られます。
3	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。 「モアレ（網目状の陰影）を取り除く」169
4	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	画像を白か黒のモノクロ（2 値）データでスキャンする時の、白黒の境を決めるものです。 この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒としてスキャンする範囲が変わります。文字原稿や図面などのスキャンで、文字や線がかすれる場合に有効です。

6.　［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7.　［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8.　［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9.　保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、[保存ファイルの設定]画面の[保存先]で確認できます。保存先を変更したい場合は、[参照]ボタン(Windows)/[選択]ボタン(Macintosh)をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ2　保存ファイルの設定」80

以上で、ホームモードでのスキャン/保存は終了です。

イラスト / 図をプロフェッショナルモードでスキャンして保存

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、詳細な画像調整ができるプロフェッショナルモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント
プロフェッショナルモードは、高度な画像調整機能を備えたモードです。

こんなときは
◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1. **EPSON Scan を起動します。**

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは
◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. **以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。**

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」88 へ進んでください。	クリックします すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」90 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 3　モードの切り替え」90 へ進んでください。	「ステップ 4　スキャンして保存」90 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」90
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［プロフェッショナルモード］画面の［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2. ［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［プロフェッショナルモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

1	原稿種	［反射原稿］を選択します。	
2	取込装置	［原稿台］を選択します。	
3	自動露出	［書類向き］を選択します。 背景の黄色味を除去したり、裏写りを防止できます。	
4	イメージタイプ	カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするのかを選択します。 ［カラースムージング］を選択することをお勧めします。［カラースムージング］を選択すると、カラー原稿を特定の色に減色して（割り当てて）スキャンします。	
5	解像度	スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。	
		インクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi（カラー、グレー画像の場合）360dpi（白黒の線画の場合）
		インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷	300dpi（カラー、グレー画像の場合）720dpi（白黒の線画の場合）
		レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合）600dpi（白黒の線画の場合）
		文書ファイリング	300dpi
		ディスプレイ表示／ホームページ用画像	96dpi
		E メール送信	96 ～ 150dpi

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354
「解像度を上げるときれいになる？」346

2.［プレビュー］ボタンをクリックします。

3.［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。

「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4.　スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠を拡大／縮小または移動してスキャンする範囲を決めてください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

＜通常表示の場合＞

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5.　必要に応じて、画質を調整します。

1	［自動露出］ボタン	取り込み枠内の露出（明暗）を自動調整します。これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。 自動露出を元に戻すには、［リセット］ボタンをクリックします。
2	［ヒストグラム調整］ボタン	ハイライトとシャドウ部を調整して画像の明暗やグレーバランスを調整したり、色かぶりを取り除きます。 「色かぶりを取り除く」172 「メリハリをつける」177 「シャドウ／ハイライト部の階調を調整する」195
3	［濃度補正］ボタン	トーン曲線を編集して画像全体の濃度をバランス良く仕上げます。 「濃度を調整する」187

4	［イメージ調整］ボタン	画像の明るさ・コントラスト・彩度や、カラーバランスを調整します。 「明暗を調整する」179 「色鮮やかにする」189 「色合いを変える」192
5	［リセット］ボタン	自動露出・ヒストグラム調整・濃度補正・イメージ調整した画像を調整前の画像に戻します。
6	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。
7	印刷線数	モアレ除去フィルタの横にある「+」（Windows）／「 」（Macintosh）をクリックすると表示されます。スキャナにセットした原稿の種類に合った、線数を設定することでモアレがより目立たなくなります。 「それでもモアレが目立つときは」170

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、[保存ファイルの設定]画面の[保存先]で確認できます。保存先を変更したい場合は、[参照]ボタン（Windows）／[選択]ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。

「ステップ２　保存ファイルの設定」88

以上で、プロフェッショナルモードでのスキャン／保存は終了です。

スキャン方法：フィルム

フィルムのセット方法（GT-F500）

このページのもくじ

使用できるフィルム

本スキャナでスキャンできるフィルムは、以下の 2 種類です。

35mm ストリップフィルム（ネガ ／ ポジ） 「35mm ストリップフィルムのセット方法」96	一般の 35mm フィルムを 6 コマ単位で区切ったフィルム（スリーブフィルム）。 ネガフィルム：画像の色彩／白黒が反転して記録されているフィルム（一般的なフィルム）。 ポジフィルム：画像の色彩／白黒がそのまま再現されているフィルム。
35mm ポジマウントフィルム 「35mm ポジマウントフィルムのセット方法」99	スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠に挟んだフィルム（マウントフィルム）。 マウントの厚みが 2mm 以内のものが使用できます。

ポイント

フィルムの脇に書いてあるメーカ名や数字などを正しく読める側をベース面といいます。ベース面から見ると、像が正しく見えます。
反対側を膜面といい、こちらに感光剤が塗布されています。ベース面は、膜面と比べてより光沢（つや）があります。
膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいいます。

全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法

全自動モードおよび、ホームモードまたはプロフェッショナルモードのサムネイル表示でプレビューする場合に認識できるフィルムは以下の通りです。

認識できるフィルム

35mm ストリップ／ポジマウントフィルム（全自動モードの場合はカラーフィルムのみ）が認識できます。

次のフィルムは認識できませんので、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してスキャンしてください。

- ハーフサイズ（標準コマを 2 分割したサイズ）
- 標準コマを 2 つ使用したパノラマ
- 夜景や天体写真など、背景が暗い画像

- 全自動モードの場合は、モノクロの 35mm ストリップ／マウントフィルム
  また、35mm ストリップフィルムでも、標準サイズとパノラマサイズが混在していると、パノラマがうまく切り出せない場合があります。

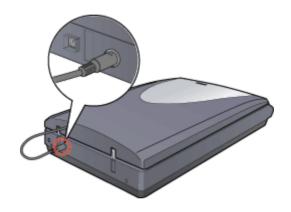
セット方法

ここでは GT-F500 でのフィルムのセット方法を説明します。
「35mm ストリップフィルムのセット方法」96
「35mm ポジマウントフィルムのセット方法」99

GT-F550 をご使用の方は、以下のページをご覧ください。
「フィルムのセット方法（GT-F550）」104

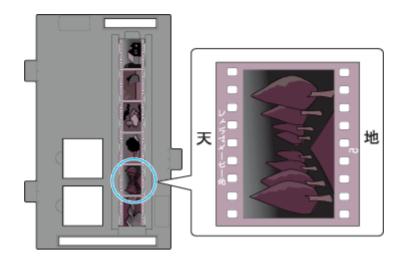
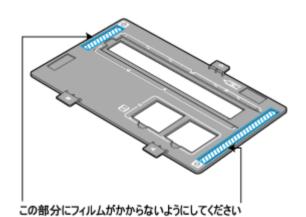
35mm ストリップフィルムのセット方法

1. フィルムスキャンユニット用ケーブルが、スキャナに接続されているか確認してください。

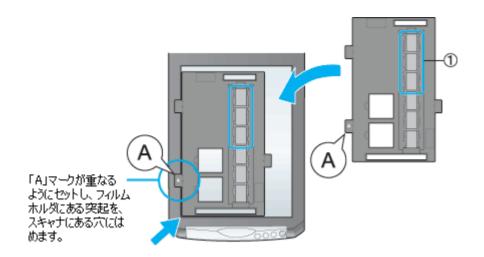
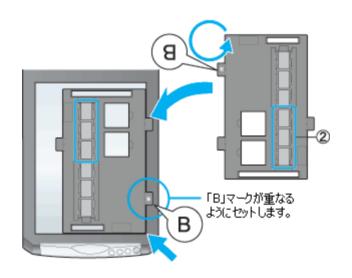
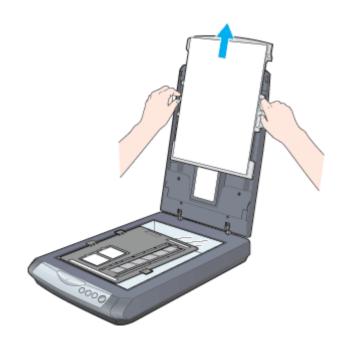
フィルムスキャンユニット用ケーブルが外れている場合は、電源プラグを抜いてスキャナの電源をオフにしてから接続してください。

2. 原稿カバーを開けます。

3. フィルムを、スキャナに同梱されているフィルムホルダにセットします。

フィルムのベース面（像が正しく見える面／フィルムメーカー名が正しく見える面）を下（ガラス面）に向け、フィルムの天地は下図のようにセットしてください。

注意

- 必ず、スキャナに同梱されているフィルムホルダを使用してください。
- フィルムは、指紋や手の脂が付かないように、フィルムの端を指ではさんで持つか、手袋をはめて持ってください。
- フィルムホルダの上下には、光量を補正するための切り抜き部分があります。切り抜き部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

4. フィルムホルダをセットします。

6 コマの 35mm ストリップフィルムをセットした場合でも、3 コマずつスキャンを行います。以下のようにスキャンしたいコマの位置に合わせて、フィルムホルダの向きを確認してセットしてください。

＜①の部分をスキャンする場合＞
原稿台の左下の角にフィルムホルダを合わせてセットします。
フィルムホルダのタブに書かれた「A」と原稿台の「A」のマークが重なるようにしてください。このとき、フィルムホルダにある突起が、スキャナにある穴にはまるようにセットしてください。

＜②の部分をスキャンする場合＞
フィルムホルダの上下の向きを逆にし、原稿台の右下の角にフィルムホルダを合わせてセットします。
フィルムホルダのタブに書かれた「B」と原稿台の「B」のマークが重なるようにしてください。

5. 保護マットを矢印の方向に持ち上げて取り外します。

ポイント

保護マットを装着したままだとフィルムをスキャンすることができません。必ず、保護マットを取り外してください。

6. 原稿カバーを閉じます。

指を挟まないよう注意しながら、フィルムホルダが動かないように、原稿カバーを静かに閉じてください。

注意

- 原稿カバー（フィルムスキャンユニット）を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。
- フィルムを原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

以上で 35mm ストリップフィルムのセットは終了です。

次に、フィルムをスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
スキャナドライバ「EPSON Scan」には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがあります。
目的にあったモードをクリックして、次へお進みください。

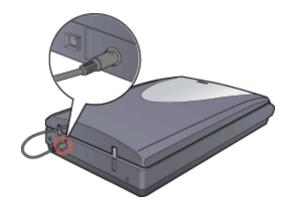
- 自動的にフィルムをスキャンする
「フィルムを全自動モードでスキャンして保存（GT-F500）」116
- 簡単な設定でスキャンする
「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F500）」121
- 詳細な画質調整を行ってからスキャンする
「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F500）」130

こんなときは

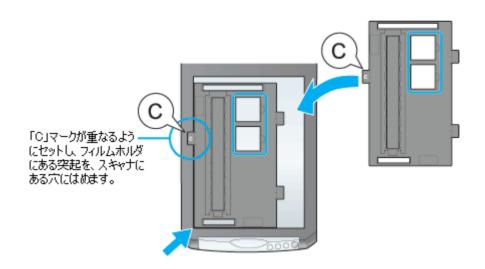
◆◆どのモードを選択したら良いか迷う場合には◆◆
「どのモードを選択する？」266
「こんなときはどのモード？」269

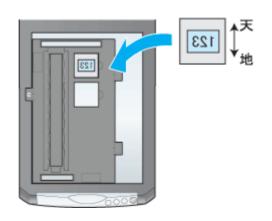
35mm ポジマウントフィルムのセット方法

1. フィルムスキャンユニット用ケーブルが、スキャナに接続されているか確認してください。

フィルムスキャンユニット用ケーブルが外れている場合は、電源プラグを抜いてスキャナの電源をオフにしてから接続してください。

2. 原稿カバーを開けます。

3. **スキャナに同梱されているフィルムホルダを、原稿台の左下の角に合わせてセットします。**

フィルムホルダのタブに書かれた「C」と原稿台の「C」のマークが重なるようにしてください。そのとき、フィルムホルダにある突起が、スキャナにある穴にはまるようにセットしてください。

4. **フィルムをフィルムホルダにセットします。**

フィルムのベース面（像が正しく見える面／フィルムメーカー名が正しく見える面）を下（ガラス面）に向け、フィルムの天地は下図のようにセットしてください。

注意

- ポジマウントフィルムをセットした後、フィルムホルダがずれていないか確認してください。
- マウントの厚みが 2mm 以内のポジマウントフィルムを使用してください。
- フィルムホルダの上側には、光量を補正するための切り抜き部分があります。切り抜き部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

5. 保護マットを矢印の方向に持ち上げて取り外します。

ポイント

保護マットを装着したままだとフィルムをスキャンすることができません。必ず、保護マットを取り外してください。

6. 原稿カバーを閉じます。

指を挟まないよう注意しながら、フィルムホルダが動かないように、静かに原稿カバーを閉じてください。

注意

- 原稿カバーを強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。
- フィルムを原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

以上で 35mm ポジマウントフィルムのセットは終了です。

次に、フィルムをスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
スキャナドライバ「EPSON Scan」には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがあります。
目的にあったモードをクリックして、次へお進みください。

- 自動的にフィルムをスキャンする
  「フィルムを全自動モードでスキャンして保存（GT-F500）」116
- 簡単な設定でスキャンする
  「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F500）」121
- 詳細な画質調整を行ってからスキャンする
  「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F500）」130

こんなときは

◆◆どのモードを選択したら良いか迷う場合には◆◆
「どのモードを選択する？」266
「こんなときはどのモード？」269

フィルムホルダの収納

1. 原稿カバーを開け、保護マットを矢印の方向に持ち上げて取り外します。

2. フィルムホルダを上から差し込むようにして収納します。

3. 保護マットの上部にあるツメを原稿カバーのスロットにひっかけて、保護マットを取り付けます。

原稿カバーのスロットにカチッと音がするまで差し込んでください。

4. 原稿カバーを閉じます。

以上で、フィルムホルダの収納は終了です。

フィルムのセット方法（GT-F550）

このページのもくじ

使用できるフィルム

本スキャナでスキャンできるフィルムは、以下の 2 種類です。

35mm ストリップフィルム （ネガ ／ ポジ） 「35mm ストリップフィルムのセット方法」105	一般の 35mm フィルムを 6 コマ単位で区切ったフィルム（スリーブフィルム）。 ネガフィルム：画像の色彩／白黒が反転して記録されているフィルム（一般的なフィルム）。 ポジフィルム：画像の色彩／白黒がそのまま再現されているフィルム。 長さが 74 ～ 232mm のものが使用できます。
35mm ポジマウントフィルム 「35mm ポジマウントフィルムのセット方法」109	スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠に挟んだフィルム（マウントフィルム）。 マウントの厚みが 2mm 以内のものが使用できます。

ポイント

フィルムの脇に書いてあるメーカ名や数字などを正しく読める側をベース面といいます。ベース面から見ると、像が正しく見えます。
反対側を膜面といい、こちらに感光剤が塗布されています。ベース面は、膜面と比べてより光沢（つや）があります。
膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいいます。

全自動モード／サムネイル表示で使用できる原稿種とセット方法

全自動モードおよび、ホームモードまたはプロフェッショナルモードのサムネイル表示でプレビューする場合に認識できるフィルムは以下の通りです。

認識できるフィルム

35mm ストリップ／ポジマウントフィルム（全自動モードの場合はカラーフィルムのみ）が認識できます。

次のフィルムは認識できませんので、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してスキャンしてください。

- 夜景や天体写真など、背景が暗い画像
- 全自動モードの場合は、モノクロの 35mm ストリップ／マウントフィルム

セット方法

ここでは GT-F550 でのフィルムのセット方法を説明します。

「35mm ストリップフィルムのセット方法」105
「35mm ポジマウントフィルムのセット方法」109

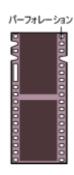
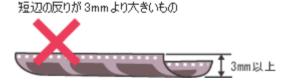
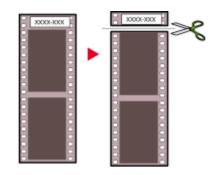
GT-F500 をご使用の方は、以下のページをご覧ください。

「フィルムのセット方法（GT-F500）」95

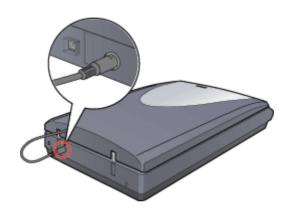
35mm ストリップフィルムのセット方法

注意

以下のフィルムは使用しないでください。フィルム詰まり、またはオートフィルムローダの故障などの原因となります。

- 短すぎる（74mm 以下）フィルム、長すぎる（232mm 以上）フィルム
- フィルムを送るための穴（パーフォレーション）が破損しているフィルム

- 反り（カール）の大きいフィルム

- 折り目や破れのあるフィルム
- 表面が乾いていないフィルム
- シールなどが貼ってあるフィルム
  シールの部分をフィルムの長辺に対して垂直に切れば使用することができます。

- 劣化したフィルム
- 赤外線フィルム

1. フィルムスキャンユニット用ケーブルが、スキャナに接続されているか確認してください。

フィルムスキャンユニット用ケーブルが外れている場合は、電源プラグを抜いてスキャナの電源をオフにしてから接続してください。

2. 原稿カバーを開けます。

3. 保護マットを矢印の方向に持ち上げて取り外します。

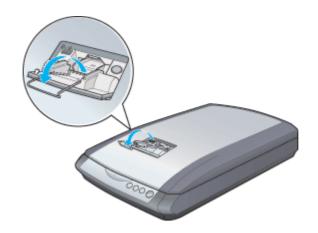
保護マットを取り外したら、原稿カバーを閉じてください。原稿カバーは、指を挟まないよう注意しながら、ゆっくり閉じてください。

ポイント

- 保護マットを装着したままだとフィルムをスキャンすることができません。必ず、保護マットを取り外してください。
- 原稿台に原稿やフィルムがある場合は、取り除いておいてください。
- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。

4. フィルム差し込み口カバーの◯◯◯マークを押して開けます。

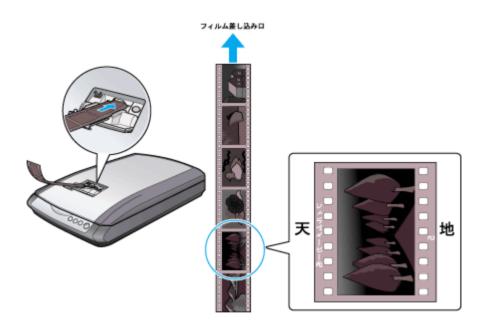
◯◯◯マークを押すと、カバーが自動で開きます。

5. フィルムガイドをカチッとはまるまで起こします。

注意

フィルムガイドを起こさないとフィルムに傷が付くおそれがあります。必ず、フィルムガイドを起こしてからフィルムをセットしてください。

6. フィルムをセットします。

ステータスランプが緑色に点灯していることを確認して、フィルムをセットしてください。

フィルムのベース面（像が正しく見える面／フィルムメーカー名が正しく見える面）を下に向け、フィルム差し込み口に軽く押し込みながらまっすぐ差し込んでください。正しくセットされると、フィルムがオートフィルムローダに自動的に引き込まれ、ステータスランプが緑色に点灯します。
フィルムがセットできない場合は、以下のページを参照してください。
「フィルムをセットできない」252

フィルムをセットすると、ステータスランプが以下のように点滅／点灯します。

ステータスランプの状態		フィルムセットの状態
緑色	点滅→点灯	フィルムが正しくセットされています。
赤色	点滅	フィルムが正しくセットされていません。フィルム取り出しボタンを押してフィルムを取り出し、もう一度セットし直してください。フィルム取り出しボタンを押してもフィルムが取り出せない場合は、以下のページを参照してフィルムを取り出してください。 「フィルムが詰まったときの取り出し方」253

ポイント

- フィルムは指紋や手の脂が付かないように、手袋をはめて持ってください。
- フィルムのセットに失敗した場合（ステータスランプが赤色に点滅した場合）は、以下のページを参照してフィルムを取り出してからセットし直してください。
  「フィルムが詰まったときの取り出し方」253
- スキャンが終わったら早めに、フィルムを取り出してください。
  「35mm ストリップフィルムの取り出し方」112
- フィルムをセットしたまま電源をオフにしてしまった場合は、再度スキャナの電源をオンにし、フィルム取り出しボタンを押して、フィルムを取り出してください。

以上で、35mm ストリップフィルムのセットは終了です。

次に、フィルムをスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
スキャナドライバ「EPSON Scan」には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがあります。
目的にあったモードをクリックして、次へお進みください。

- 自動的にフィルムをスキャンする
  「フィルムを全自動モードでスキャンして保存（GT-F550）」139
- 簡単な設定でスキャンする
  「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F550）」144
- 詳細な画質調整を行ってからスキャンする
  「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F550）」153

こんなときは

◆◆どのモードを選択したら良いか迷う場合には◆◆
「どのモードを選択する？」266
「こんなときはどのモード？」269

35mm ポジマウントフィルムのセット方法

1. フィルムスキャンユニット用ケーブルが、スキャナに接続されているか確認してください。

フィルムスキャンユニット用ケーブルが外れている場合は、電源プラグを抜いてスキャナの電源をオフにしてから接続してください。

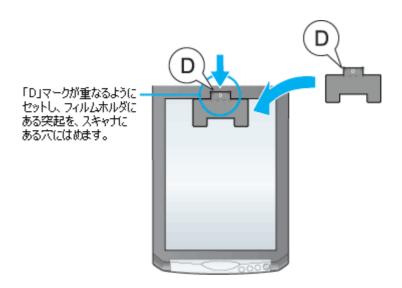
2. 原稿カバーを開けます。

3. **保護マットを矢印の方向に持ち上げて取り外します。**

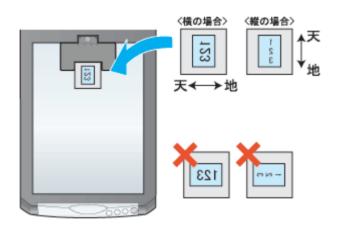
ポイント
保護マットを装着したままだとフィルムをスキャンすることができません。必ず、保護マットを取り外してください。

4. **原稿台の中央奥に、スキャナに同梱されているフィルムホルダをセットします。**

フィルムホルダのタブに書かれた「D」と原稿台の「D」のマークが重なるようにしてください。そのとき、フィルムホルダにある突起が、スキャナにある穴にはまるようにセットしてください。

注意

必ず、スキャナに同梱されているフィルムホルダを使用してください。

5. フィルムの内側の枠が縦長になるように、フィルムホルダにセットします。

フィルムのベース面（像が正しく見える面／フィルムメーカー名が正しく見える面）を下（ガラス面）に向け、フィルムの天地は下図のようにセットしてください。

注意

- マウントの厚みが 2mm 以内のポジマウントフィルムを使用してください。
- ポジマウントフィルムをセットした後、フィルムホルダがずれていないか確認してください。

6. 原稿カバーを閉じます。

指を挟まないよう注意しながら、フィルムホルダが動かないように、静かに原稿カバーを閉じてください。

注意

- 原稿カバー（フィルムスキャンユニット）を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。
- フィルムを原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

以上で、35mm ポジマウントフィルムのセットは終了です。

次に、フィルムをスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
スキャナドライバ「EPSON Scan」には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがあります。
目的にあったモードをクリックして、次へお進みください。

- 自動的にフィルムをスキャンする
  「フィルムを全自動モードでスキャンして保存（GT-F550）」139
- 簡単な設定でスキャンする
  「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F550）」144
- 詳細な画質調整を行ってからスキャンする
  「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F550）」153

こんなときは

◆◆どのモードを選択したら良いか迷う場合には◆◆
「どのモードを選択する？」266
「こんなときはどのモード？」269

35mm ストリップフィルムの取り出し方

注意

フィルムを取り出す前に、電源をオフにしないでください。フィルム詰まりやオートフィルムローダの故障などの原因となります。フィルムが詰まってしまった場合は、再度スキャナの電源をオンにし、フィルム取り出しボタンを押して、フィルムを取り出してください。フィルム取り出しボタンを押してもフィルムが取り出せない場合は、以下のページを参照して速やかにフィルムを取り出してください。
「フィルムが詰まったときの取り出し方」253

1. スキャンが終わったら、フィルム取り出しボタンを押します。

ステータスランプが緑色に点滅していることを確認してから、フィルム取り出しボタンを押してください。フィルムが排出されます。フィルム排出中はステータスランプが緑色に点滅します。
ステータスランプが赤色に点滅している場合は、以下のページを参照してフィルムを取り出してください。
「フィルムが詰まったときの取り出し方」253

注意

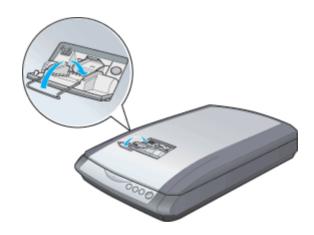
フィルムを取り出すときは、フィルムを無理に引っ張らないでください。フィルムが傷付くおそれがあります。

2. フィルムを静かに取り出します。

ステータスランプの点滅が点灯に変わったらフィルムを取り出してください。

注意

フィルムは指紋や手の脂が付かないように、手袋をはめて持ってください。

3. フィルムガイドを内側にたたんで戻します。

4. フィルム差し込み口カバーを閉じます。

この後、写真や雑誌など（光を反射する原稿）をスキャンする場合は、保護マットを取り付けてください。

以上で、フィルムの取り出しは終了です。

フィルムホルダの収納

1. 原稿カバーを開け、保護マットを矢印の方向に持ち上げて取り外します。

2. フィルムホルダを図の位置に収納します。

3. 保護マットの上部にあるツメを原稿カバーのスロットにひっかけて、保護マットを取り付けます。

原稿カバーのスロットにカチッと音がするまで差し込んでください。

4.　原稿カバーを閉じます。

以上で、フィルムホルダの収納は終了です。

フィルムを全自動モードでスキャンして保存（GT-F500）

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、一番簡単な全自動モードでのスキャン方法を説明します。

ポイント

- 全自動モードは、原稿の種類を自動判別し、原稿に最適な設定でスキャンできるモードです。
- 次のフィルムは認識できませんので、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
  「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F500）」121
  「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F500）」130
  ・ハーフサイズ（標準コマを 2 分割したサイズ）
  ・標準コマを 2 つ使用したパノラマ
  ・夜景や天体写真など、背景が暗い画像
  ・全自動モードの場合は、モノクロの 35mm ストリップ／マウントフィルム
  また、35mm ストリップフィルムでも、標準サイズとパノラマサイズが混在していると、パノラマがうまく切り出せない場合があります。

こんなときは

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

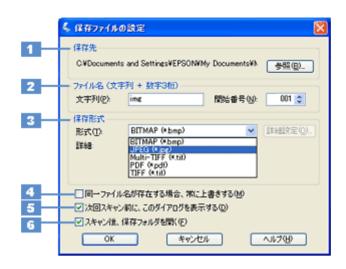
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. 以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2 保存ファイルの設定」118 へ進んでください。	スキャンを開始します。 「ステップ 3 スキャンして保存」118 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3 スキャンして保存」118 へ進んでください。	画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。 「ステップ 3 スキャンして保存」118 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、[保存先]、[ファイル名]、[保存形式] を設定します。

[保存ファイルの設定] 画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、[次回スキャン前に、このダイアログを表示する] をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、[参照] ボタン（Windows）／ [選択] ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 3　スキャンして保存」118
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、[文字列] ＋ [開始番号] で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または [スキャン] ボタンをクリックするたびに、[保存ファイルの設定] 画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、[保存先] で指定したフォルダが開きます。

2.　[OK] ボタンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックすると、スキャンが始まります。
「ステップ 3　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆ [保存ファイルの設定] 画面を表示したい場合◆◆
[次回スキャン前に、このダイアログを表示する] のチェックを外していると、スキャン前に [保存ファイルの設定] 画面が表示されません。この画面を表示するには、全自動モードで自動認識中に [停止] ボタンをクリックすると表示される画面で、[スキャン] ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで [保存ファイルの設定] を選択してください。

ステップ 3　スキャンして保存

1.　スキャンを開始します。

画像がスキャンされ、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

2.　保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ 2　保存ファイルの設定」118

以上で、全自動モードでのスキャン／保存は終了です。

こんなときは

◆◆フィルム全体をスキャンしたい場合◆◆
ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「取り込み枠を作成する」272

◆◆意図する結果でスキャンされない場合◆◆
画像によっては思い通りにスキャンされないことがあります。この場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない」247

◆◆標準サイズとパノラマサイズが混在している場合◆◆
パノラマサイズでうまく切り出せない場合があります。この場合はホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してスキャンしてください。

フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F500）

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、簡単な設定でスキャンできるホームモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント

ホームモードは、簡単な設定でスキャンできる、最も お勧めのモードです。

こんなときは

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1. **EPSON Scan を起動します。**

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. **以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。**

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、[参照] ボタン（Windows）/ [選択] ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」124
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、[文字列] ＋ [開始番号] で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または [スキャン] ボタンをクリックするたびに、[保存ファイルの設定] 画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、[保存先] で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆ [保存ファイルの設定] 画面を表示したい場合◆◆
[次回スキャン前に、このダイアログを表示する] のチェックを外していると、スキャン前に [保存ファイルの設定] 画面が表示されません。この画面を表示するには、[ホームモード] 画面の [スキャン] ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで [保存ファイルの設定] を選択してください。

2.　[OK] ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに [停止] ボタンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［ホームモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

1	原稿種	セットしたフィルムの種類に合わせて、下記の項目から選択します。		
		ポジフィルム	ポジフィルム（カラー / 白黒）をスキャンする場合に選択します。	
		カラーネガフィルム	カラーネガフィルムをスキャンする場合に選択します。	
		白黒ネガフィルム	白黒ネガフィルムをスキャンする場合に選択します。	
2	イメージタイプ	カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）画像としてスキャンするのかを選択します。 原稿種に合った項目が自動的に選択されますので、通常は設定する必要はありません。		
3	出力設定	用途に応じて、適切な解像度を設定します。		
		スクリーン /Web	96dpi	壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ上で使用する画像をスキャンする場合に選択します。
		プリンタ	300dpi	プリンタで印刷する場合に選択します。
		その他	50 ～ 2400dpi	その他の用途で使用する場合に選択し、［解像度］リストで用途に応じた解像度を設定してください。

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354
「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

ポイント

◆◆通常表示とサムネイル表示について◆◆

［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックすると、プレビューの表示方法を選択できます。プレビューの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。指定されたサイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。

「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠を移動してスキャンする範囲を決めてください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、［画質調整］ボタンをクリックして画質を調整します。

1	明るさ	画像全体の明るさ、暗さを調整します。 スライダを右に動かせば明るく、左に動かせば暗くなります。
2	コントラスト	明暗の比率を調整します。 スライダを右に動かすと明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。スライダを左に動かすと逆の効果が得られます。
3	退色復元	昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色したフィルムの色合いを、元の色に戻してスキャンできます。 「色あせた写真の色を復元する」165
4	ホコリ除去	フィルムのホコリを取り除いてスキャンします。 「フィルムのゴミを取り除く」163
5	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	画像を白か黒のモノクロ（2 値）データでスキャンする時の、白黒の境を決めるものです。 この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒としてスキャンする範囲が変わります。文字原稿や図面などのスキャンで、文字や線がかすれる場合に有効です。

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、[保存ファイルの設定]画面の[保存先]で確認できます。保存先を変更したい場合は、[参照]ボタン（Windows）/[選択]ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ 2　保存ファイルの設定」122

以上で、ホームモードでのスキャン / 保存は終了です。

こんなときは

◆◆フィルム全体をスキャンしたい場合◆◆
通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「取り込み枠を作成する」272

◆◆プレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない場合◆◆
意図する結果でスキャンされない場合は、通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない」247

◆◆フィルムの天地を間違えてセットした場合◆◆
サムネイル表示の場合は、[90 度回転]ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。また、[全選択]ボタンをクリックしてから、[90 度回転]ボタンを使うと画像の向きをまとめて変えられます。

◆◆フィルムの表裏を間違えてセットした場合◆◆
サムネイル表示の場合は、[鏡像反転]ボタンをクリックすると、選択している画像を左右逆に反転することができます。また、[全選択]ボタンをクリックしてから、[鏡像反転]ボタンを使うと画像の向きをまとめて変えられます。

◆◆標準サイズとパノラマサイズが混在している場合◆◆
パノラマサイズでうまく切り出せない場合があります。この場合は通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成してスキャンしてください。

フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F500）

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、詳細な画像調整ができるプロフェッショナルモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント
プロフェッショナルモードは、高度な画像調整機能を備えたモードです。

こんなときは
◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1. **EPSON Scan を起動します。**

   Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは
◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. **以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。**

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」131 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」133 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 3　モードの切り替え」133 へ進んでください。	「ステップ 4　スキャンして保存」133 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ４　スキャンして保存」133
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2.　［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ４　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル] ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［プロフェッショナルモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

<table>
<tr><td>1</td><td>原稿種</td><td colspan="2">［フィルム］を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="4">フィルムタイプ</td><td colspan="2">セットしたフィルムの種類に合わせて、下記の項目から選択します。</td></tr>
<tr><td>ポジフィルム</td><td>ポジフィルム（カラー／白黒）をスキャンする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>カラーネガフィルム</td><td>カラーネガフィルムをスキャンする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>白黒ネガフィルム</td><td>白黒ネガフィルムをスキャンする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>イメージタイプ</td><td colspan="2">カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするのかを選択します。
［24bit カラー］を選択することをお勧めします。
スキャン後に画像を加工する場合は、［48bit カラー］を選択することをお勧めします（48bit カラーデータの加工や出力には 48bit に対応したアプリケーションが必要です）。
モノクロ写真をスキャンしたい場合は、［16bit グレー］または［8bit グレー］を選択してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">4</td><td rowspan="7">解像度</td><td colspan="2">スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。</td></tr>
<tr><td>インクジェットプリンタでのファイン印刷</td><td>150dpi（カラー、グレー画像の場合）360dpi（白黒の線画の場合）</td></tr>
<tr><td>インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷</td><td>300dpi（カラー、グレー画像の場合）720dpi（白黒の線画の場合）</td></tr>
<tr><td>レーザープリンタでの印刷</td><td>200dpi（カラー、グレー画像の場合）600dpi（白黒の線画の場合）</td></tr>
<tr><td>文書ファイリング</td><td>300dpi</td></tr>
<tr><td>ディスプレイ表示／ホームページ用画像</td><td>96dpi</td></tr>
<tr><td>E メール送信</td><td>96 ～ 150dpi</td></tr>
</table>

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354
「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

ポイント

◆◆通常表示とサムネイル表示について◆◆
［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックすると、プレビューの表示方法を選択できます。プレビューの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

3.［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。
「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠を移動してスキャンする範囲を決めてください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、画質を調整します。

1	［自動露出］ボタン	取り込み枠内の露出（明暗）を自動調整します。これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。自動露出を元に戻すには、［リセット］ボタンをクリックします。
2	［ヒストグラム調整］ボタン	ハイライトとシャドウ部を調整して画像の明暗やグレーバランスを調整したり、色かぶりを取り除きます。 「色かぶりを取り除く」172 「メリハリをつける」177 「シャドウ／ハイライト部の階調を調整する」195
3	［濃度補正］ボタン	トーン曲線を編集して画像全体の濃度をバランス良く仕上げます。 「濃度を調整する」187
4	［イメージ調整］ボタン	画像の明るさ・コントラスト・彩度や、カラーバランスを調整します。 「明暗を調整する」179 「色鮮やかにする」189 「色合いを変える」192
5	［リセット］ボタン	自動露出・ヒストグラム調整・濃度補正・イメージ調整した画像を調整前の画像に戻します。
6	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 「シャープにする」175
7	粒状低減	フィルムのスキャンで発生する画像のざらつきを目立たなくすることができます。 「粒状感（ざらつき）を抑える」167
8	退色復元	昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色したフィルムの色合いを、元の色に戻してスキャンできます。 「色あせた写真の色を復元する」165
9	ホコリ除去	フィルムのホコリを取り除いてスキャンします。 「フィルムのゴミを取り除く」163

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. **保存されたファイルを確認します。**

スキャンした画像は、「ステップ２　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ２　保存ファイルの設定」131

以上で、プロフェッショナルモードでのスキャン／保存は終了です。

こんなときは

◆◆フィルム全体をスキャンしたい場合◆◆
通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「取り込み枠を作成する」272

◆◆プレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない場合◆◆
意図する結果でスキャンされない場合は、通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない」247

◆◆フィルムの天地を間違えてセットした場合◆◆
サムネイル表示の場合は、［90 度回転］ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。また、［全選択］ボタンをクリックしてから、［90 度回転］ボタンを使うと画像の向きをまとめて変えられます。

◆◆フィルムの表裏を間違えてセットした場合◆◆
サムネイル表示の場合は、［鏡像反転］ボタンをクリックすると、選択している画像を左右逆に反転することができます。また、［全選択］ボタンをクリックしてから、［鏡像反転］ボタンを使うと画像の向きをまとめて変えられます。

◆◆標準サイズとパノラマサイズが混在している場合◆◆
パノラマサイズでうまく切り出せない場合があります。この場合は通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成してスキャンしてください。

フィルムを全自動モードでスキャンして保存（GT-F550）

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、一番簡単な全自動モードでのスキャン方法を説明します。
全自動モードは、原稿の種類を自動判別し、原稿に最適な設定でスキャンできます。

ポイント

- 全自動モードは、原稿の種類を自動判別し、原稿に最適な設定でスキャンできるモードです。
- 次のフィルムは全自動モードで認識できませんので、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F550）」144
「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F550）」153
・夜景や天体写真など、背景が暗い画像
・モノクロの 35mm ストリップ／マウントフィルム

こんなときは

◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは

◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. 以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面

「ステップ 2　保存ファイルの設定」141 へ進んでください。

［全自動モード］画面

スキャンを開始します。

「ステップ 3　スキャンして保存」141 へ進んでください。

［ホームモード］画面

画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。

「ステップ 3　スキャンして保存」141 へ進んでください。

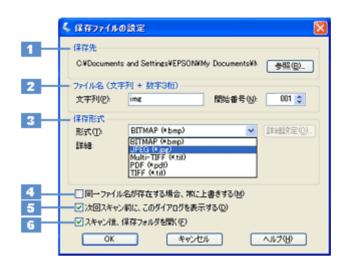
［プロフェッショナルモード］画面

画面右上の［モード］メニューから［全自動モード］を選択して、［スキャン］ボタンをクリックします。スキャンを開始します。

「ステップ 3　スキャンして保存」141 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1. **必要に応じて、[保存先]、[ファイル名]、[保存形式] を設定します。**

　[保存ファイルの設定] 画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、[次回スキャン前に、このダイアログを表示する] をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、[参照] ボタン（Windows）／ [選択] ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 3　スキャンして保存」141
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、[文字列] ＋ [開始番号] で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または [スキャン] ボタンをクリックするたびに、[保存ファイルの設定] 画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、[保存先] で指定したフォルダが開きます。

2. **[OK] ボタンをクリックします。**

　[OK] ボタンをクリックすると、スキャンが始まります。
　「ステップ 3　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆ [保存ファイルの設定] 画面を表示したい場合◆◆
[次回スキャン前に、このダイアログを表示する] のチェックを外していると、スキャン前に [保存ファイルの設定] 画面が表示されません。この画面を表示するには、全自動モードで自動認識中に [停止] ボタンをクリックすると表示される画面で、[スキャン] ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで [保存ファイルの設定] を選択してください。

ステップ 3　スキャンして保存

1. **スキャンを開始します。**

画像がスキャンされ、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

注意

スキャン中は、原稿カバーを開けないでください。原稿カバーを開けると、フィルム詰まりを防ぐために自動的にスキャンが止まります。また、スキャン中にフィルムに触ったり、フィルム差し込み口カバーを閉じたりしないでください。

2. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ２　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ２　保存ファイルの設定」141

3. 35mm ストリップフィルムの場合は、スキャンが終わったら、フィルムを取り出します。

「35mm ストリップフィルムの取り出し方」112

以上で、全自動モードでのスキャン／保存は終了です。

こんなときは

◆◆フィルム全体をスキャンしたい場合◆◆
ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「取り込み枠を作成する」272

◆◆意図する結果でスキャンされない場合◆◆
画像によっては思い通りにスキャンされないことがあります。この場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューしてください。
「全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない」247

フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F550）

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、簡単な設定でスキャンできるホームモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント
ホームモードは、簡単な設定でスキャンできる、最もお勧めのモードです。

こんなときは
◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1. **EPSON Scan を起動します。**

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは
◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. **以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。**

［保存ファイルの設定］画面	［全自動モード］画面
「ステップ 2　保存ファイルの設定」145 へ進んでください。	すぐに［停止］ボタンをクリックします。 その後、「ステップ 3　モードの切り替え」147 へ進んでください。
［ホームモード］画面	［プロフェッショナルモード］画面
「ステップ 4　スキャンして保存」147 へ進んでください。	「ステップ 3　モードの切り替え」147 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」147
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式で保存することをお勧めします。圧縮品質を選択でき、圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式で保存することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2.　［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。［キャンセル］ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1.　［モード］メニューから［ホームモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1.　各項目を設定します。

1	原稿種	セットしたフィルムの種類に合わせて、下記の項目から選択します。	
		ポジフィルム（ストリップ）	ポジストリップフィルム（カラー／白黒）をスキャンする場合に選択します。
		ポジフィルム（マウント）	ポジマウントフィルム（カラー／白黒）をスキャンする場合に選択します。
		カラーネガフィルム	カラーネガフィルムをスキャンする場合に選択します。
		白黒ネガフィルム	白黒ネガフィルムをスキャンする場合に選択します。
2	イメージタイプ	カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）画像としてスキャンするのかを選択します。 原稿種に合った項目が自動的に選択されますので、通常は設定する必要はありません。	

3	出力設定	用途に応じて、適切な解像度を設定します。		
		スクリーン／ Web	96dpi	壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ上で使用する画像をスキャンする場合に選択します。
		プリンタ	300dpi	プリンタで印刷する場合に選択します。
		その他	50 ～ 2400dpi	その他の用途で使用する場合に選択し、［解像度］リストで用途に応じた解像度を設定してください。

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354
「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

ポイント

◆◆通常表示とサムネイル表示について◆◆
［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックすると、プレビューの表示方法を選択できます。プレビューの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。指定されたサイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。

「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
[ユーザー定義サイズ] を設定してください。[出力サイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択すると [出力サイズ] 画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、[保存] ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. **スキャンする範囲を指定します。**

取り込み枠を移動してスキャンする範囲を決めてください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. **必要に応じて、[画質調整] ボタンをクリックして画質を調整します。**

1	明るさ	画像全体の明るさ、暗さを調整します。 スライダを右に動かせば明るく、左に動かせば暗くなります。
2	コントラスト	明暗の比率を調整します。 スライダを右に動かすと明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。スライダを左に動かすと逆の効果が得られます。
3	退色復元	昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色したフィルムの色合いを、元の色に戻してスキャンできます。 「色あせた写真の色を復元する」165
4	ホコリ除去	フィルムのホコリを取り除いてスキャンします。 「フィルムのゴミを取り除く」163
5	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	画像を白か黒のモノクロ（2 値）データでスキャンする時の、白黒の境を決めるものです。 この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒としてスキャンする範囲が変わります。文字原稿や図面などのスキャンで、文字や線がかすれる場合に有効です。

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

注意

スキャン中は、原稿カバーを開けないでください。原稿カバーを開けると、フィルム詰まりを防ぐために自動的にスキャンが止まります。また、スキャン中にフィルムに触ったり、フィルム差し込み口カバーを閉じたりしないでください。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ 2　保存ファイルの設定」145

10. スキャンが終わったら、フィルムを取り出します。

ストリップフィルムの場合は、以下のページを参照して取り出してください。
「35mm ストリップフィルムの取り出し方」112

以上で、ホームモードでのスキャン／保存は終了です。

こんなときは

◆◆フィルム全体をスキャンしたい場合◆◆
通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「取り込み枠を作成する」272

◆◆プレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない場合◆◆
意図する結果でスキャンされない場合は、通常表示でプレビューしてください。取り込み枠は最大で 35mm フィルムサイズまで作成できます。
「全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない」247

◆◆フィルムの天地を間違えてセットした場合◆◆
サムネイル表示の場合は、［90 度回転］ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。また、［全選択］ボタンをクリックしてから、［90 度回転］ボタンを使うと画像の向きをまとめて変えられます。

◆◆フィルムの表裏を間違えてセットした場合◆◆
サムネイル表示の場合は、［鏡像反転］ボタンをクリックすると、選択している画像を左右逆に反転することができます。また、［全選択］ボタンをクリックしてから、［鏡像反転］ボタンを使うと画像の向きをまとめて変えられます。

フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F550）

EPSON Scan には、初心者から上級者までレベルに合わせて選べる 3 つのモードがありますが、ここでは、詳細な画像調整ができるプロフェッショナルモードでのスキャン方法を説明します。

ポイント
プロフェッショナルモードは、高度な画像調整機能を備えたモードです。

こんなときは
◆◆ EPSON Scan の画面や項目について知りたい場合◆◆
EPSON Scan の画面や項目のより詳しい説明は、EPSON Scan のヘルプに記載されています。ヘルプの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

このページのもくじ

ステップ 1　EPSON Scan の起動

1.　EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは
◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON Scan］－［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

こんなときは
◆◆アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動したい場合◆◆
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2.　以下のいずれかの画面が表示されます。表示された画面を確認し、画面下のリンクをクリックして次の手順へ進みます。

［保存ファイルの設定］画面

「ステップ 2　保存ファイルの設定」154 へ進んでください。

［全自動モード］画面

すぐに［停止］ボタンをクリックします。
その後、「ステップ 3　モードの切り替え」156 へ進んでください。

［ホームモード］画面

「ステップ 3　モードの切り替え」156 へ進んでください。

［プロフェッショナルモード］画面

「ステップ 4　スキャンして保存」156 へ進んでください。

ステップ 2　保存ファイルの設定

1.　必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

1	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを表示します。 保存先を変更する場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。 「ステップ 4　スキャンして保存」156
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
3	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式で保存することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
4	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
5	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	全自動モードを起動、または［スキャン］ボタンをクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
6	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

こんなときは

◆◆［保存ファイルの設定］画面を表示したい場合◆◆
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外していると、スキャン前に［保存ファイルの設定］画面が表示されません。この画面を表示するには、［スキャン］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［保存ファイルの設定］を選択してください。

2.［OK］ボタンをクリックし、次に表示される画面で、すぐに［停止］ボタンをクリックします。

［OK］ボタンをクリックすると、全自動モードが起動します。
スキャンモードを変更するために、プレビュー（仮スキャン）動作を一時停止してください。
この後は、「ステップ 4　スキャンして保存」へお進みください。

こんなときは

◆◆スキャンが始まってしまった場合◆◆
上の画面を過ぎて本スキャンが始まってしまうと、モードの変更はできません。[キャンセル]ボタンをクリックして、「ステップ 1　EPSON Scan の起動」からやり直してください。

ステップ 3　モードの切り替え

1. ［モード］メニューから［プロフェッショナルモード］を選択します。

ステップ 4　スキャンして保存

1. 各項目を設定します。

1	原稿種	［フィルム］を選択します。	
2	フィルムタイプ	セットしたフィルムの種類に合わせて、下記の項目から選択します。	
		ポジフィルム（ストリップ）	ポジストリップフィルム（カラー／白黒）をスキャンする場合に選択します。
		ポジフィルム（マウント）	ポジマウントフィルム（カラー／白黒）をスキャンする場合に選択します。
		カラーネガフィルム	カラーネガフィルムをスキャンする場合に選択します。
		白黒ネガフィルム	白黒ネガフィルムをスキャンする場合に選択します。
3	イメージタイプ	［24bit カラー］を選択することをお勧めします。 スキャン後に画像を加工する場合は、［48bit カラー］を選択することをお勧めします。（48bit カラーデータの加工や出力には 48bit に対応したアプリケーションが必要です。） モノクロ写真をスキャンしたい場合は、［16bit グレー］または［8bit グレー］を選択してください。	
4	解像度	スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。	
		インクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi（カラー、グレー画像の場合）360dpi（白黒の線画の場合）
		インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷	300dpi（カラー、グレー画像の場合）720dpi（白黒の線画の場合）
		レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合）600dpi（白黒の線画の場合）
		文書ファイリング	300dpi
		ディスプレイ表示／ホームページ用画像	96dpi
		E メール送信	96 〜 150dpi

ポイント

◆◆解像度について知りたいときは◆◆

「解像度について」354
「解像度を上げるときれいになる？」346

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

ポイント

◆◆通常表示とサムネイル表示について◆◆
［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックすると、プレビューの表示方法を選択できます。プレビューの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

3. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。
「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

4. スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠を移動してスキャンする範囲を決めてください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

5. 必要に応じて、画質を調整します。

1	［自動露出］ボタン	取り込み枠内の露出（明暗）を自動調整します。 これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。自動露出を元に戻すには、［リセット］ボタンをクリックします。
2	［ヒストグラム調整］ボタン	ハイライトとシャドウ部を調整して画像の明暗やグレーバランスを調整したり、色かぶりを取り除きます。 「色かぶりを取り除く」172 「メリハリをつける」177 「シャドウ／ハイライト部の階調を調整する」195
3	［濃度補正］ボタン	トーン曲線を編集して画像全体の濃度をバランス良く仕上げます。 「濃度を調整する」187
4	［イメージ調整］ボタン	画像の明るさ・コントラスト・彩度や、カラーバランスを調整します。 「明暗を調整する」179 「色鮮やかにする」189 「色合いを変える」192
5	［リセット］ボタン	自動露出・ヒストグラム調整・濃度補正・イメージ調整した画像を調整前の画像に戻します。
6	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 「シャープにする」175
7	粒状低減	フィルムのスキャンで発生する画像のざらつきを目立たなくすることができます。 「粒状感（ざらつき）を抑える」167
8	退色復元	昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色したフィルムの色合いを、元の色に戻してスキャンできます。 「色あせた写真の色を復元する」165
9	ホコリ除去	フィルムのホコリを取り除いてスキャンします。 「フィルムのゴミを取り除く」163

6.［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7.［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

8.［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

注意

スキャン中は、原稿カバーを開けないでください。原稿カバーを開けると、フィルム詰まりを防ぐために自動的にスキャンが止まります。また、スキャン中にフィルムに触ったり、フィルム差し込み口カバーを閉じたりしないでください。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 2　保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
「ステップ 2　保存ファイルの設定」154

10. スキャンが終わったら、フィルムを取り出します。

ストリップフィルムの場合は、以下のページを参照して取り出してください。
「35mm ストリップフィルムの取り出し方」112

以上で、プロフェッショナルモードでのスキャン／保存は終了です。

こんなときは

◆◆フィルム全体をスキャンしたい場合◆◆
通常表示でプレビューし、手動で取り込み枠を作成してからスキャンしてください。
「取り込み枠を作成する」272

◆◆プレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない場合◆◆
意図する結果でスキャンされない場合は、通常表示でプレビューしてください。取り込み枠は最大で 35mm フィルムサイズまで作成できます。
「全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない」247

◆◆フィルムの天地を間違えてセットした場合◆◆
サムネイル表示の場合は、［90 度回転］ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。また、［全選択］ボタンをクリックしてから、［90 度回転］ボタンを使うと画像の向きをまとめて変えられます。

◆◆フィルムの表裏を間違えてセットした場合◆◆
サムネイル表示の場合は、［鏡像反転］ボタンをクリックすると、選択している画像を左右逆に反転することができます。また、［全選択］ボタンをクリックしてから、［鏡像反転］ボタンを使うと画像の向きをまとめて変えられます。

スキャン方法：便利な機能

画像の調整

フィルムのゴミを取り除く

フィルムスキャン時に、フィルム上のホコリを取り除いてスキャンします。ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。
フィルムをセットする前に、ブロアーなどでフィルムの主なホコリを取り除いておいてください。

< ホコリ除去機能使用時の画像例 >

使用前

使用後

- ホコリ除去は、［原稿種］で［ポジフィルム］、［カラーネガフィルム］または［白黒ネガフィルム］を選択したときのみ使用できます。写真などには使用できません。
- ホコリ除去機能では、傷の修復はできません。

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

GT-F500 の場合「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F500）」121
GT-F550 の場合「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F550）」144

2. ［原稿種］で［ポジフィルム］、［カラーネガフィルム］または［白黒ネガフィルム］を選択します。

［原稿種］で［ポジフィルム］、［カラーネガフィルム］または［白黒ネガフィルム］以外を選択すると、ここでの調整はできません。

3. ［イメージタイプ］を選択します。

4. ［出力設定］を目的に合わせて設定します。

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

6. ［画質調整］ボタンをクリックして、［ホコリ除去］をチェックします。

プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。［全選択］ボタンをクリックすると、まとめて設定できます。
ホコリ除去の設定は、スキャン後の画像に適用されます。プレビュー画像には適用されません。

ポイント

- ホコリ除去機能を使用すると、解像度によってスキャンに時間がかかります。
- 点や線などの画像が、スキャンされた画像に写りこむホコリとほぼ同じ大きさの場合、点や線もホコリと認識されて消えてしまうことがあります。
- フィルム上のホコリの付き具合によっては、思い通りにホコリ除去が機能しない場合があります。その場合は、フィルムまたは原稿台のガラス面の異物を取り除いてからスキャンしてください。
- 極端に小さなホコリは除去されない場合があります。
- ホコリ程度の大きさの画像が並んでいる場合、ぼかしがかかったようになることがあります。

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

以上で、フィルムのゴミを取り除く調整は終了です。

色あせた写真の色を復元する

昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真やフィルムの色合いを、元の色に戻してスキャンする方法を説明します。ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。

< 退色復元機能使用時の画像例 >

使用前

使用後

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

「写真をホームモードでスキャンして保存」13

2. ［原稿種］で［写真］、［ポジフィルム］、［カラーネガフィルム］または［白黒ネガフィルム］を選択します。

［原稿種］で［写真］、［ポジフィルム］、［カラーネガフィルム］または［白黒ネガフィルム］以外を選択すると、ここでの調整はできません。

3. ［イメージタイプ］を選択します。

4. ［出力設定］を目的に合わせて設定します。

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

6. ［画質調整］ボタンをクリックして、［退色復元］をチェックします。

プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。［全選択］ボタンをクリックすると、まとめて設定できます。
プレビュー画像上で退色復元の効果を確認することができます。

ポイント

- 変色していない原稿をスキャンするときは、この機能を使用しないでください。
- スキャンする画像の絵柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。
- カラーネガフィルムの銘柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

以上で、色あせてしまった写真やフィルムの色を復元する調整は終了です。

粒状感（ざらつき）を抑える

フィルムをスキャンしたときに発生する画像のざらつきを目立たなくすることができます。フィルムの粒状感やざらつきは、高感度フィルムや、高解像度でスキャンした画像の、人の肌などで特に目立ちます。

この機能は、プロフェッショナルモードで［原稿種］に［フィルム］を選択した場合のみ使用できます。

< 粒状低減機能使用時の画像例 >

使用前

使用後

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

GT-F500 の場合「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F500）」130
GT-F550 の場合「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F550）」153

2. ［原稿種］で［フィルム］を選択します。

フィルムに合わせて［フィルムタイプ］を選択してください。

3. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. ［粒状低減］をチェックします。

プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。[全選択] ボタンをクリックすると、まとめて設定できます。
粒状低減の横にある「+」（Windows）／「 」（Macintosh）をクリックすると、粒状低減の効果を、弱／中／強から選択できます。

ポイント

- 画面上に設定項目がない場合は、画面右の （Windows）／ （Macintosh）をクリックして、画面の下にある設定項目を表示させてください。
- スキャンする範囲が小さすぎると、この機能が適切に機能しない場合があります。
- 粒状低減はソフトウェアで処理しますので、チェックされているとスキャンに少し時間がかかります。

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

以上で、粒状感（ざらつき）を取り除く調整は終了です。

モアレ（網目状の陰影）を取り除く

印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレパターンの発生を防止できます。モアレとは、網目状などに発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。スキャンした画像にモアレ（網目状の陰影）がある場合、モアレ除去機能を使用して取り除く方法を説明します。

< モアレ除去機能使用時の画像例 >

使用前

使用後

ポイント

モアレ除去機能を使用できないのは、以下の場合です。

- フィルムをスキャンする場合
- 解像度の設定（設定出力解像度 x ズームの値）を 600dpi 以上に設定した場合
- ［イメージタイプ］で［モノクロ］を選択した場合

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

「雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシをホームモードでスキャンして保存」57

2. **［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を、原稿と目的に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。
出力設定で［スクリーン／ Web］または［プリンタ］を選択した場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選択した場合は、目的に合った解像度を入力してください。

3. **［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。**

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

4. **［画質調整］ボタンをクリックし、［モアレ除去フィルタ］をチェックします。**

プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。[全選択] ボタンをクリックすると、まとめて設定できます。
モアレ除去の設定は、スキャン後の画像に適用されます。プレビュー画像には適用されません。

ポイント

- 画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、スキャンした画像をディスプレイ上で 100%（1:1）で表示して確認してください（縮小表示すると画像が荒くなってモアレが発生しているように見えるため）。
- モアレ除去はソフトウェアで処理しますので、モアレ除去機能を使用するとスキャンに少し時間がかかります。

5. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

以上で、モアレを取り除く調整は終了です。
ホームモードでモアレ除去機能を使用してスキャンしてもまだモアレが目立つ場合は、以下のページをご覧ください。
「それでもモアレが目立つときは」170

それでもモアレが目立つときは

1. 画面の右上にある［モード］メニューで［プロフェッショナルモード］を選択します。

2. ［印刷線数］の設定を変更します。

印刷線数を変更すると、モアレが目立たなくなる場合があります。

モアレ除去フィルタの横にある「+」（Windows）／「 ▷ 」（Macintosh）をクリックし、原稿に適した印刷線数を選択してください。また、一致する線数の選択肢がない場合には、近い値を試してください。印刷線数の設定内容については、以下の表をご覧ください。

一般	設定した解像度に合った適切な品質が得られます。 原稿が以下の項目以外の線数でスクリーン処理されている場合に選択してください。
新聞（85lpi）	85lpi 前後でスクリーン処理される、新聞などに適した設定です。
雑誌（133lpi）	133lpi 前後の線数でスクリーン処理される、週刊誌やカタログなどの雑誌類に適した設定です。
高品位（175lpi）	175lpi 前後でスクリーン処理される、写真集などの高品質な印刷物に適した設定です。

ポイント

- 画面上に設定項目がない場合は、画面右の（Windows）／（Macintosh）をクリックして、画面の下にある設定項目を表示させてください。
- モアレ除去機能を使用すると、スキャンした画像がややボケる場合があります。この場合はアンシャープマスクフィルタをチェックしてください。
- 線数とモアレの関係：
  画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（に配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。
  網点が約 25.4mm （1 インチ）の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi （line per inch ）で表します。精細に印刷するには、線数が高いスクリーンフィルムを使用する必要がありますので、印刷物の品質が高いほど、線数も多くなります。
  上記の変換によって、印刷物はドット（点）の集まりで構成されます。この印刷物をスキャナでスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します。
  ［印刷線数］で線数を選択すると、ドットの重複によるモアレの発生を、より緩和することができます。

色かぶりを取り除く

画像に照明などの色がかぶっている場合に、グレーバランスを調整して色かぶりを取り除く方法を説明します。グレーバランスは、選択した色を無彩色（白黒またはグレー）にする機能です。

< グレーバランス調整機能使用時の画像例 >

使用前

使用後

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2. **［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。
［反射原稿］を選択した場合は［取込装置］と［自動露出］、［フィルム］を選択した場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

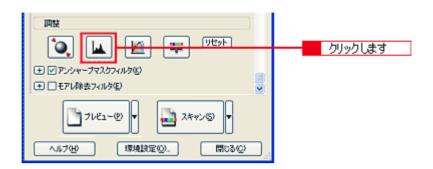
4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。**

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. 取り込み枠を作成します。

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックして選択します。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

6. ［ヒストグラム調整］ボタンをクリックします。

［ヒストグラム調整］画面が表示されます。

7. グレーバランス調整の［スポイト］ボタンをクリックします。

8. 画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）となるべき部分をクリックします。

［スポイト］ボタンによる調整をキャンセルしたい場合は、キーボード上の［Esc］（Windows）／［esc］（Macintosh）キーを押してください。

9. 色が変わりすぎてしまった場合は、スライダで微調整します。

ポイント

グレーバランス調整の範囲は 0 ～ 100 です。
数値を上げるほど、色かぶりを除去する効果が高くなります。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。
0 に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。

10. ［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

以上で、色かぶりの調整は終了です。

シャープにする

原稿にシャープさが足りない場合に、アンシャープマスクの度合いを調整し、輪郭部分を強調してシャープにする方法を説明します。

< アンシャープマスク機能使用時の画像例 >

使用前

使用後

ポイント

- アンシャープマスクは、プロフェッショナルモードで使用できます。ホームモードでは、[イメージタイプ] で [カラー] または [グレー] を選択すると自動的に適用されます。全自動モードでは、認識された原稿種によって自動的に適用されます。
- [イメージタイプ] で [カラースムージング] または [モノクロ] を選択した場合は、使用できません。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2. [原稿設定]、[出力設定] を設定します。

原稿や目的に合った項目を設定してください。

3. [プレビュー] ボタンをクリックして、プレビューします。

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

4. [アンシャープマスクフィルタ] をチェックします。

プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。[全選択] ボタンをクリックすると、まとめて設定できます。

5. 必要に応じて [効果] を選択します。

[アンシャープマスクフィルタ] の横にある「+」（Windows）／「 ▷ 」（Macintosh）をクリックして、アンシャープマスクの効果を、弱／中／強から選択してください。

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

以上で、アンシャープマスクの調整は終了です。

メリハリをつける

ヒストグラムでハイライトとシャドウを調整して、メリハリのある画像に補正してスキャンする方法を説明します。

< ヒストグラム使用時の画像調整例 >

使用前

使用後

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

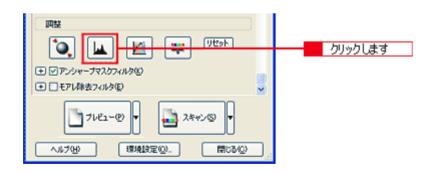
2. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

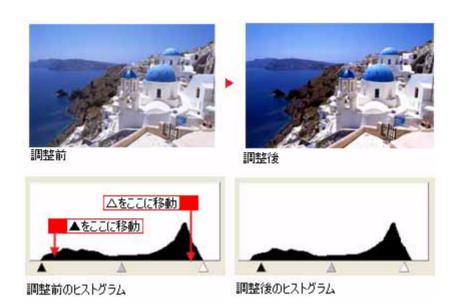
画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

3. 取り込み枠を作成します。

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックして選択します。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

4. ［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。

［ヒストグラム調整］画面が表示されます。

5. ハイライトとシャドウを調整します。

ハイライトポイントを黒い山の右端よりやや左に、シャドウポイントを黒い山の左端よりやや右に移動すると、メリハリのある画像になります。

ポイント

テキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。

6. ［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

以上で、ハイライトとシャドウの調整は終了です。

明暗を調整する

スキャンした画像が明るすぎたり暗すぎたときに、明暗を調整する方法を説明します。簡単に調整する方法と厳密に調整する方法の 2 通りがあります。

「簡単に調整する方法」179
「厳密に調整する方法」182

< 明るさを調整した画像例 >

使用前

使用後

簡単に調整する方法

ここでは、プロフェッショナルモードの場合を例に説明します。ここでの調整は［イメージタイプ］で［カラー］または［グレー］を選択した場合に使用できます。

明るさ／コントラストの調整

明るさは、スキャンした画像が明るすぎたり、暗すぎる場合に調整します。コントラスト（明暗の差）に大きな影響を与えずに、画像全体の明暗を調整できます。
コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に全体の明暗の差を少なくする場合に調整します。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2. ［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
［反射原稿］を選択した場合は［取込装置］と［自動露出］、［フィルム］を選択した場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. 取り込み枠を指定します。

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

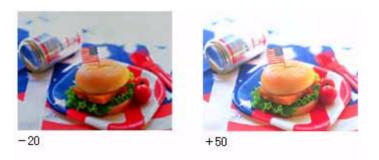
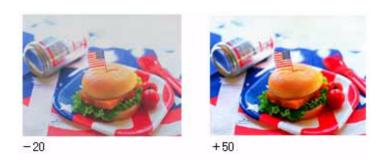
6. ［イメージ調整］ ボタンをクリックします。

［イメージ調整］画面が表示されます。

7. 明るさ、コントラストのスライダーを左右に動かして調整します。

ポイント

- テキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 明るさの調整範囲は -100 ～ 100 です。設定を -（マイナス）にすると暗くなり、設定を +（プラス）にすると明るくなります。明暗いずれも極端に設定すると、メリハリのない画像になる場合があります。
- コントラストの調整範囲は -100 ～ 100 です。コントラストを上げる（スライダを右に動かす）と明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。コントラストを下げる（スライダを左に動かす）と逆の効果が得られます。

明るさを調整した例

コントラストを調整した例

8. ［イメージ調整］画面の［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

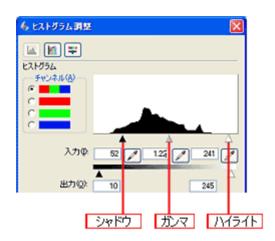
以上で、明暗の簡単な調整は終了です。

厳密に調整する方法

きれいな画像にするためには、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することが必要です。ここでは、ハイライト／シャドウ／ガンマを調整し、明暗を厳密に調整する手順を説明します。

ここでは、プロフェッショナルモードの場合を例に説明します。

ヒストグラムについて

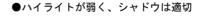
ヒストグラム調整では、ピクセル分布を見ながら調整できるため、ディスプレイの表示能力の影響を受けずに、客観的に明暗を最適にできます。ヒストグラムとは、画像の黒（0 ）～白（255 ）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したものです。
厳密に画像を調整するには、ヒストグラム調整をお勧めします。

ヒストグラムで調整する項目は以下の通りです。

ハイライト	画像のもっとも明るくしたい部分を設定します。
シャドウ	画像のもっとも暗くしたい部分を設定します。
ガンマ	画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、ハイライトとシャドウの中間部分（ミッドトーン）の明るさを設定します。

調整を始める前に

ちょうどよい明るさとはどんな画像でしょうか？下図の例のように、ハイライト、シャドウ、ガンマを調整すると、明暗をさまざまに変化させることができます。ハイライト／シャドウ／ガンマを適切に調整して、画像がちょうどよい明るさになるように補正してください。

●適切な画像
（ハイライトも、シャドウも適切）

●ハイライトが弱く、シャドウは適切

●ハイライトは適切、シャドウが弱い

●ハイライトもシャドウも弱い

●ガンマが暗い方向に寄っている

お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさになるように、ヒストグラムを使って画質を補正してみましょう。

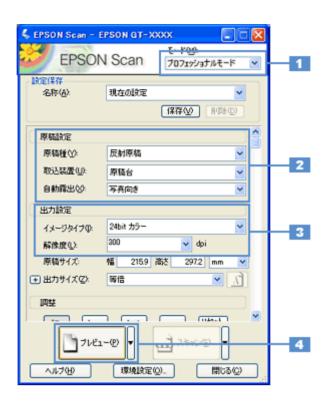
ポイント

- 画質調整はプレビュー画像が表示されているときに有効ですので、プレビューを実行してください。プレビュー画像では、調整効果をリアルタイム に確認することができます。
- 厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、スキャンした画像が適切な明るさ／色合いで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
「ディスプレイについて」351

1.　EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2.　［原稿設定］を目的に合わせて設定します。

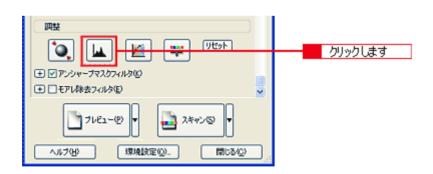
［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
［反射原稿］を選択した場合は［取込装置］と［自動露出］、［フィルム］を選択した場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。
4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

   画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. 取り込み枠を指定します。

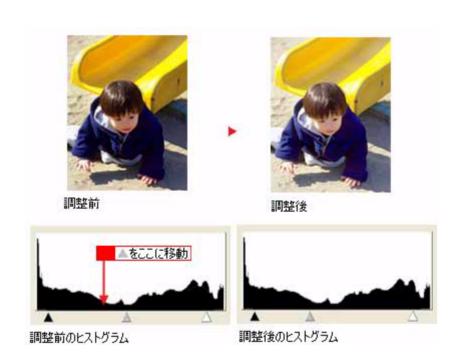
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。
   「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

6. ［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。

   ［ヒストグラム調整］画面が表示されます。

7. ハイライトとシャドウを調整します。

   ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動してください。
   取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。

8.　ガンマを調整します。

ハイライトとシャドウの中間にある、ガンマポイントを移動してください。明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分の明暗を調整します。例えば、夕方や曇りの日に撮ったため、全体的に暗くなってしまった写真などを補正できます。

ポイント

調整する取り込み枠またはコマを切り替えたい場合は、プレビューウィンドウ上で調整したい枠またはコマをクリックしてください。この画面を閉じる必要はありません。

9.　［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

以上で、明暗の厳密な調整は終了です。
さらに微妙な調整をしたい場合は、以下のページをご覧ください。
「さらに微妙な調整をするには」186

ポイント

ちょうどよい明るさに調整するよりも、メリハリをつけたい場合には以下のページをご覧ください。
「メリハリをつける」177

さらに微妙な調整をするには

ヒストグラムを調整した後、さらに微妙な調整をする場合は、濃度補正やシャドウ／ハイライト部の階調補正をしてみましょう。

濃度補正

濃度はトーンとも言います。画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正します。シャドウ（最暗部）、ミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランスよく仕上げることができます。これは、現在プレビューウィンドウで選択されている取り込み枠に対して有効です。

1. ［濃度補正］ボタンをクリックし、微妙な部分を追加補正します。

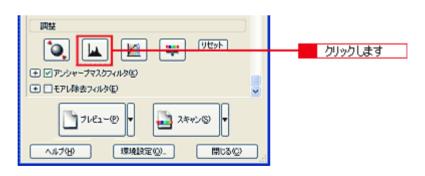
「濃度を調整する」187

シャドウ／ハイライト部の階調補正

［ヒストグラム調整］画面で設定したハイライト／シャドウポイントより外側の階調を調整することができます。

2. ［ヒストグラム調整］ボタンをクリックし、［端部カーブ形状変更］ボタンを使用してシャドウ／ハイライト部の階調を調整します。

「シャドウ／ハイライト部の階調を調整する」195

以上で、さらに厳密な明暗の調整は終了です。
以下のページで色合いの調整方法を説明していますが、明暗調整をしっかり行えば、通常、色合いの調整は必要ありません。
「色鮮やかにする」189

濃度を調整する

自動露出やヒストグラム調整で調整しきれない微妙な濃度の調整は、［濃度補正］で補正します。

< 濃度補正機能使用時の画像例 >

使用前

使用後

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2. **［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。**

   画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

3. **取り込み枠を作成します。**

   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックして選択します。
   「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

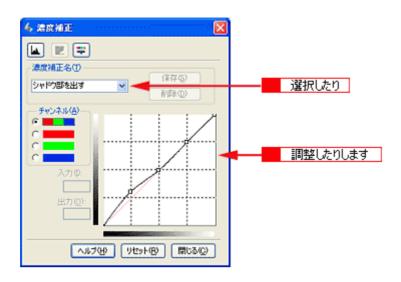
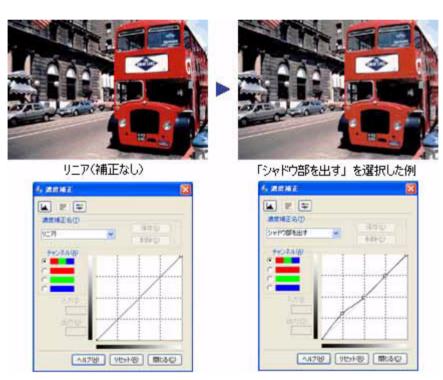
4. **［濃度調整］ ボタンをクリックします。**

5. **［濃度補正名］リストから最適なメニューを選択します。**

   露出オーバーな画像の補正など、代表的なトーン曲線が用意されていますので、メニューを選択した後、画像にあわせて微調整することをお勧めします。

濃度補正名	説明
リニア	濃度補正をしません。プレビュー画像上で明暗に問題がなければ、[リニア] を選択してください。
より浅い感じに	露出アンダーな（露出不足で暗い）画像を、より浅い（明るい）感じに補正します。
より重い感じに	露出オーバーな（露出過多で明るい）画像を、より重い（暗い）感じに補正します。
コントラストを弱く	コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。

コントラストを強く	コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリを付けます。
シャドウ部を出す	シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。 画像を印刷したときに、シャドウ部が黒ベタになってしまう場合に有効です。

6. トーン曲線で微調整したい部分を補正します。

ポイント
補正前の濃度に戻すには、［濃度補正名］で［リニア］を選択するか、［リセット］ボタンをクリックしてください。

7. ［濃度調整］画面の［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

以上で、濃度の調整は終了です。

色鮮やかにする

原稿に鮮やかさが足りない場合に、彩度を調整して鮮やかにスキャンする方法を説明します。

< 彩度を調整した画像例 >

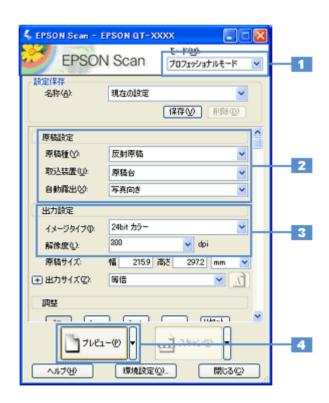
調整前

調整後

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2. **［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
   ［反射原稿］を選択した場合は［取込装置］と［自動露出］、［フィルム］を選択した場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。**

   画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. 取り込み枠を指定します。

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

6. ［イメージ調整］ボタンをクリックします。

［イメージ調整］画面が表示されます。

7. 彩度のスライダーを左右に動かして、色の鮮やかさを調整します。

ポイント

設定を -（マイナス）にすると色みがなくなり（無彩色化され）、グレーに近くなります。白黒写真風のカラー画像にしてスキャンできます。

8. ［イメージ調整］画面の［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

以上で、画像の鮮やかさの調整は終了です。

色合いを変える

天候や撮影場所の照明によって、写真が全体的に赤みを帯びていたり、青っぽいような場合に、色合いを補正してスキャンする方法を説明します。

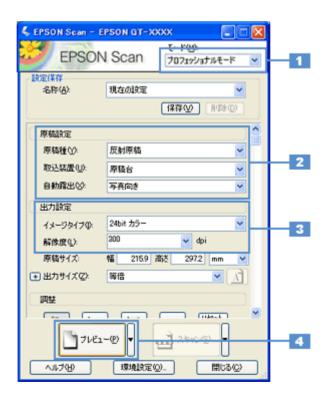
< 色合いを調整した画像例 >

調整前　　調整後

1.　EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2.　［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
［反射原稿］を選択した場合は［取込装置］と［自動露出］、［フィルム］を選択した場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3.　［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

4.　［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5.　取り込み枠を指定します。

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

6.　［イメージ調整］ボタンをクリックします。

［イメージ調整］画面が表示されます。

7.　スライダーを左右に動かして、色合いを調整します。

シアン－赤	スライダを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。
マゼンター緑	スライダを左に動かすとマゼンタが強くなり（緑が弱くなり）、右に動かすと緑が強くなり（マゼンタが弱くなり）ます。
イエロー－青	スライダを左に動かすとイエローが強くなり（青が弱くなり）、右に動かすと青みが強くなり（イエローが弱くなり）ます。

シアン－赤 を調整した場合の例

スライダを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。

設定－

設定＋

8. ［イメージ調整］画面の［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

以上で、全体的な色合いの調整は終了です。

シャドウ／ハイライト部の階調を調整する

［ヒストグラム］画面で設定したハイライト／シャドウポイントより外側の階調を、［端部カーブ形状変更］ボタンで調整することができます。

< シャドウ／ハイライトを調整した画像例 >

ハイライト側のブーストを選択し、外側の白地部分を真っ白に飛ばして、裏映りを消した例

調整前

調整後

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

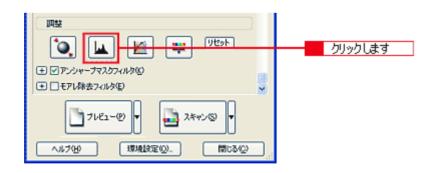
   「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2. **［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。**

   画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

3. **取り込み枠を作成します。**

   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックして選択します。
   「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

4. **［ヒストグラム調整］ボタンをクリックします。**

ヒストグラムについて詳しくは、以下のページをご覧ください。
「ヒストグラムについて」182

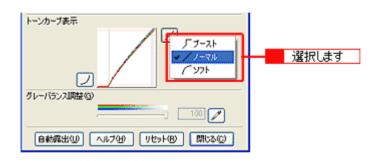
5. **［端部カーブ形状変更］ボタンをクリックします。**

   ハイライトまたはシャドウの［端部カーブ形状変更］ボタンをクリックし、補正したいメニューを選択してください。

ブースト	本来、白地である部分を真っ白に飛ばしたり、本来、真っ黒である部分を真っ黒につぶす場合に選択してください。
ノーマル	ハイライトやシャドウ部分の階調をそのまま表現する場合に選択してください。
ソフト	本来、白地ではない部分が真っ白に飛んでしまった場合や、本来、真っ黒ではない部分が真っ黒につぶれてしまった場合に選択してください。

次のように使用してください。

紙の表面のムラや裏写りを除去したい場合 ：
ハイライト側のボタンを押し、表示されるリストで［ブースト］を選択してください。白地部分が真っ白に飛ぶので、ムラや裏映りが消えます。

黒い部分のムラを除去したい場合 ：
シャドウ側のボタンを押し、表示されるリストで［ブースト］を選択してください。黒い部分が真っ黒につぶれるので、ムラが除去されます。

6. ［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

以上で、シャドウ／ハイライト部の階調の調整は終了です。

画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する

ホームモードとプロフェッショナルモードでは、画像サイズの拡大／縮小の設定ができます。モードによって、スキャンしたい画像の拡大／縮小方法が異なりますので、以下の表を参照して適切なモードを選択してください。ここでは、カラー写真を壁紙またはデスクトップピクチャのサイズでスキャンする手順を例に、ホームモード、プロフェッショナルモードでの手順を説明します。

ホームモード 「ホームモードの場合」197	出力したいサイズを［出力サイズ］リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。［出力サイズ］で［等倍］以外を選択した場合、取り込み枠の縦横比は固定です。
プロフェッショナルモード 「プロフェッショナルモードの場合」199	• 出力したいサイズを［出力サイズ］リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。 • 初期設定では、取り込み枠の縦横比は固定ですが、トリミングを「なし」に設定すると、スキャンしたい範囲を出力したいサイズに拡大／縮小してスキャンできます。

このページのもくじ

ホームモードの場合

1. スキャナの原稿台に、写真をセットします。

「原稿（写真）のセット方法」7

2. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

「写真をホームモードでスキャンして保存」13

3. ［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を、原稿と目的に合わせて設定します。

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。ここでは［写真］を選択します。
出力設定で［スクリーン／ Web］または［プリンタ］を選択した場合は、用途に応じて最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選択した場合は、目的に合った解像度を入力してください。ここでは［スクリーン／ Web］を選択します。

4. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

ポイント

◆◆通常表示とサムネイル表示について◆◆
［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックすると、プレビューの表示方法を選択できます。プレビューの表示方法については、以下のページをご覧ください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

5. 出力サイズを設定します。

［出力サイズ］では、出力するサイズ（スキャン後の画像の大きさ）を選択します。スキャンする原稿とスキャン後の画像の大きさが同じ場合は［等倍］、異なる場合はスキャン後のサイズを選択してください。
ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、［画面（768 x 1024）］を選択します。また、 ボタンをクリックすると縦／横のいずれの辺を基準に拡大／縮小するかを切り替えることができます。
出力サイズを選択すると、選択した出力サイズの縦横比で、取り込み枠が作成されます。

6. 取り込み枠をドラッグして移動し、スキャンする範囲を決めます。

取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグして移動できます。取り込み枠を拡大／縮小する場合は、取り込み枠の角にカーソルを移動すると矢印になるので、ドラッグして大きさを調整してください。

ポイント

- 取り込み枠のサイズを拡大／縮小しても縦横比は変わりません。［出力サイズ］で選択したサイズに収まるように、倍率が自動設定されます。
- 作成できる取り込み枠の数は以下の通りです。
  通常表示の場合：50 個まで
  サムネイル表示の場合：1 コマに対して 1 個のみ
- プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

7. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

指定したサイズで画像がスキャンされます。

以上で、画像サイズの変更は終了です。

プロフェッショナルモードの場合

プロフェッショナルモードでは、スキャンしたい範囲をお好みのサイズに拡大／縮小してスキャンできます。

1. スキャナの原稿台に、写真をセットします。

「原稿（写真）のセット方法」7

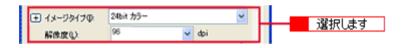
2. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

3. ［原稿設定］を目的に合わせて設定します。

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。ここでは［反射原稿］を選択します。
［取込装置］、［自動露出］は原稿に適した項目を選択してください。

4. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

ここでは、解像度は［96］dpi に設定します。

ポイント

解像度を設定する場合は、目的に応じた解像度を設定してください。通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ～ 90dpi くらいです。用途に応じた最適な解像度や、拡大／縮小と解像度の関係については、以下のページをご覧ください。

「拡大／縮小と解像度の関係」343
「解像度を上げるときれいになる？」346

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

ポイント

◆◆通常表示とサムネイル表示について◆◆
［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックすると、プレビューの表示方法を選択できます。プレビューの表示方法については、以下のページをご覧ください。

「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

6. ［出力サイズ］を設定します。

［出力サイズ］では、出力するサイズ（スキャン後の画像の大きさ）を選択します。スキャンする原稿とスキャン後の画像の大きさが同じ場合は［等倍］、異なる場合はスキャン後のサイズを選択してください。
ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、［画面（768 x 1024）］を選択してください。また、 ボタンをクリックすると縦／横のいずれの辺を基準に拡大／縮小するかを切り替えることができます。
選択した出力サイズの縦横比で、取り込み枠がプレビュー画面に表示されます。

7. 作成された取り込み枠を拡大／縮小または移動し、スキャンしたい範囲を設定します。

このとき、取り込み枠の縦横比は固定されています。また、倍率は自動的に計算されます。

ポイント

- 縦横比を固定せずに、思い通りの範囲をスキャンしたい場合：
  手順 6 で、出力サイズの横にある「+」（Windows）／「▷」（Macintosh）をクリックして、トリミングで［なし］を選択してください。次に、スキャンしたい範囲を選択してから、［出力サイズ］を選択します。
  スキャン後の画像サイズは、設定した出力サイズからはみ出ないサイズになります。（倍率が自動的に計算されます。）
- トリミング機能について
  作成済みの取り込み枠の縦横比を維持するか、選択した出力サイズの縦横比に変えるかどうかを設定することができます。この設定によって、倍率も自動的に変わります。詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
  「各画面の説明を見たいときは」274
- プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

8. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

指定したサイズで画像がスキャンされます。

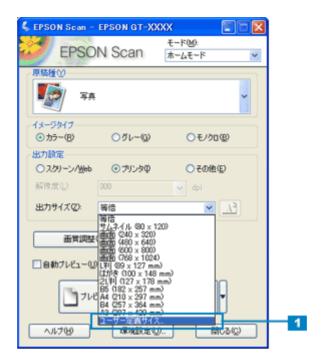
以上で、画像サイズの変更は終了です。

ユーザー定義サイズの作成方法

［出力サイズ］リストに、目的のサイズ（縦横のサイズ）がない場合は、目的のサイズを［ユーザー定義サイズ］として作成し、登録できます。

ポイント

- ［出力サイズ］は、ホームモード、プロフェッショナルモードで設定できます。
- ［出力サイズ］は、プレビュー後に設定できます。

1. ［出力サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。

2. 表示された画面で、［幅］と［高さ］を設定します。

設定できる最小値は 25.4mm（25 ピクセル、1 インチ）、最大値は 15,240.0mm（30,000 ピクセル、600 インチ）です。作成した定義サイズが選択できない場合は、［解像度］の設定値を下げてください。

3. ［出力サイズ名］を入力します。

入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

4. ［保存］ボタンをクリックします。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

以上で、ユーザー定義サイズの作成と登録は終了です。

原稿台より大きい原稿をスキャン

スキャナの原稿台よりも大きな原稿を分割してスキャンし、フォトレタッチソフトで合成する方法を説明します。ここでは市販のソフトウェア、Adobe Photoshop Elements 2.0 の場合を例に説明します。

ポイント

- スキャンする原稿としては、パンフレットやポスターなどの一枚紙の原稿を使用してください。雑誌などの製本物は、分けてスキャンするときに角度がずれてしまうのでうまくスキャンできません。
- ここで説明している内容は、仕様として保証するものではありません。ここで説明している手順でスキャンして画像を貼り合わせても、分割してスキャンした画像の明るさや色合い、角度などは完全には一致しない場合があります。

原稿台よりも大きい原稿のセット

原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿をスキャンするときは、原稿カバーを外して原稿をセットすることができます。
原稿をセットしたら、原稿を上から押さえるように、外した原稿カバーを載せてスキャンしてください。また、厚手の雑誌などをスキャンする場合は、外した原稿カバーを上から軽く押さえるようにしてください。

ポイント

- 原稿カバーを外した状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がった部分から光が入らないようにしてください。
- 原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

原稿カバーの取り外しと取り付け

1. スキャナの電源をオフにします。

電源プラグをコンセントから抜いて、電源をオフにします。

2. フィルムスキャンユニット用ケーブルを、フィルムスキャンユニット用コネクタから外します。

3. 原稿カバーを開け、上に持ち上げます。

原稿カバーを取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。

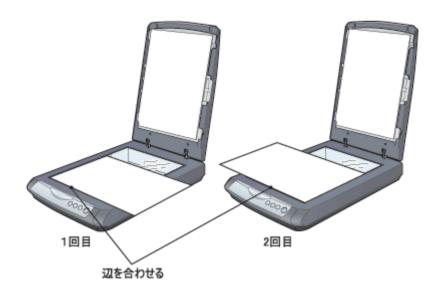
分割してスキャンする

原稿のおよそ半分をスキャン

1. 原稿をセットします。

原稿のおよそ半分を原稿台にセットします。

ポイント

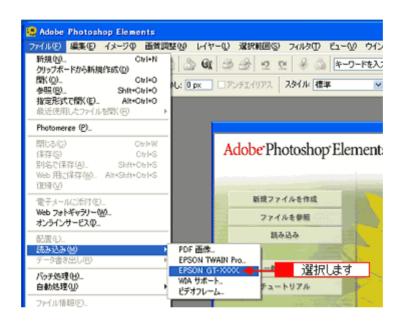
分けてスキャンするときには一回目、二回目とも、原稿台のスケールに合わせる辺が一致するようにセットしてください。

2. Adobe Photoshop Elements2.0 を起動します。

Windows の場合は、[スタート] - [すべてのプログラム]（または [プログラム]）- [Adobe Photoshop Elements 2.0] をクリックして起動します。

＜画面は Windows XP の場合＞

3. **EPSON Scan を起動します。**

Adobe Photoshop Elements 2.0 の［ファイル］メニュー－［読み込み］－［EPSON GT-F500/F550］を選択してください。EPSON Scan が起動します。

［WIA- EPSON GT-F500/F550］がある場合は選択しないでください。

4. **プロフェッショナルモードを選択します。**

［モード］メニューで［プロフェッショナルモード］を選択します。

5. **通常表示でプレビューします。**

［プレビュー］ボタン右にある縦長の ボタンをクリックし、［通常表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

取り込み枠を作成しないで、全面をスキャンしてから、フォトレタッチソフトで選択したい部分を切り抜いてください。または、取り込み枠を作成する場合は、少し大きめに作成してください。これは、スキャンした画像を貼り合わせる際に、画像の欠落がないように、ゆとりをもたせるためです。

6. **必要に応じて、一通り画質の調整を行います。**

「画像の調整」162

7. 設定を保存します。

［保存］ボタンをクリックして、スキャン時の設定（取り込み枠、イメージタイプ、解像度、画質などすべての設定）を保存します。

ポイント

設定を保存すると、［イメージタイプ］や［解像度］などのスキャン時の設定を保存できます。残りの画像をスキャンするときに保存した設定を選択するだけで、スキャン時の設定や画質を一致させることができます。

8. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンします。

画像が新規ファイルとして表示されます。

以上で、原稿のおよそ半分をスキャンは終了です。次に残りのおよそ半分をスキャンしてみましょう。

残りのおよそ半分をスキャン

1. 原稿をセットしなおします。

残りのおよそ半分を原稿台にセットしてください。このとき、すでにスキャンした画像の部分を少し含めてセットすると、貼り合わせやすくなります。

2. プレビューします。

すでにスキャンした画像と同じ手順でプレビューしてください。

3. ［設定保存］の名称リストで、さきほど保存した名称を選択します。

［イメージタイプ］や［解像度］などの設定が先程の画像と一致します。また、画質もほぼ一致します。

ポイント

- この後、画質調整はしないでください。先にスキャンしたおよそ半分の画質と合わなくなってしまいます。
- 取り込み枠を移動する場合は、［環境設定］画面－［カラー］画面－［常に自動露出を実行］のチェックを外しておいてください。ここにチェックが付いていると、取り込み枠の移動時に自動露出調整が行われるため、先にスキャンしたおよそ半分の画質と合わなくなってしまいます。

4. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

画像が保存されます。

5. EPSON Scan を終了します。

［閉じる］ボタンをクリックして、EPSON Scan を終了します。

以上で、原稿のスキャンは終了です。次にアプリケーションソフトで 2 つの画像を貼り合わせてみましょう。

画像を貼り合わせる

1. カンバスサイズを指定します。

スキャンした画像のどちらかの画像をクリックして、[イメージ] ー [サイズ変更] ー [カンバスサイズ] をクリックしてください。
画面の下側にあるマス目のような項目は、カンバスサイズを広げたときに、現在の画像をどの位置に配置するかを決めるものです。
例えば、現在の画像を右側に配置して、左側に画像を貼り付けたい場合は、下図のように設定します。
画像を横に追加する場合は幅の値を、画像を縦に追加する場合は高さを約 2 倍以上に指定してください。

2. 画像を貼り合わせます。

移動ツールを選択して、カンバスサイズを広げた画像に、もう片方の画像をドラッグしてください。
2 つの画像が貼り合わされるので、移動ツールで微調整してください。

この後は、画像を統合して、必要な部分を切り抜いて保存してください。詳しくはアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

貼り合わせた画像

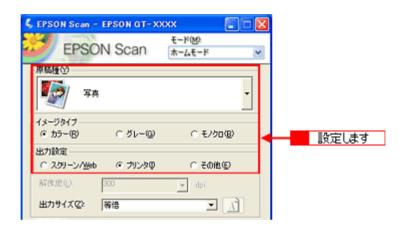
複数の領域をスキャン

TWAIN 対応アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動して複数の領域をスキャンする場合は、画像をひとつずつ保存しなければなりません。EPSON Scan を単独起動した場合、スキャンした画像は自動的にファイル名を付けて保存されます。ここでは、ホームモードでフィルムをスキャンする場合を例に、複数の領域を指定してまとめてスキャンする方法を説明します。

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

GT-F500 の場合「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F500）」121
GT-F550 の場合「フィルムをホームモードでスキャンして保存（GT-F550）」144

2. ［イメージタイプ］、［出力設定］を目的に合わせて設定します。

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
出力設定で［スクリーン／ Web］または［プリンタ］を選択した場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選択した場合は、目的に合った解像度を入力してください。

3. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

4. スキャンしたい複数のコマ、または領域を選択します。

<u>サムネイル表示の場合</u>

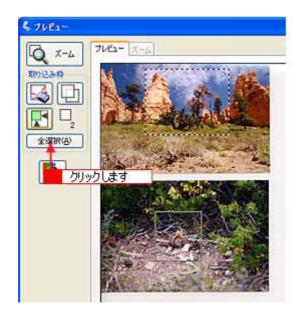
プレビューされた画像の一覧でチェックが付いた画像をスキャンします。スキャンしない画像のチェックを外してください。

通常表示の場合

1. 取り込み枠を作成して、スキャンしたい範囲を選択してください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

ポイント

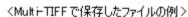
- 取り込み枠は 50 個まで作成することができます。
- GT-F550 でフィルムスキャン時に、作成される取り込み枠の大きさは 35mm フィルムサイズまでです。

2. 取り込み枠をすべて作成したら、［全選択］ボタンをクリックしてください。

5. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

6. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

ポイント

［保存形式］は、［PDF］または［Multi-TIFF］をお勧めします。［PDF］または［Multi-TIFF］を選択すると、連続してスキャンした全領域が 1 つのファイルとして保存することができます。1 つずつの画像として保存したい場合や、スキャン後に画像を加工したい場合は［TIFF］を選択してください。
PDF 形式のファイルを開くには Adobe Acrobat、Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。入手方法についてはアドビ社のホームページをご覧ください。（http://www.adobe.co.jp）
Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。

7. ［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。

画像が保存されます。複数の領域をスキャンする場合、スキャンしている状況がインジケータで表示されます。

8. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、手順 6 で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい◆◆
ファイルの保存先は、手順 6 で表示される［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。

フィルムをインデックスとしてスキャン

たくさんのフィルムを整理する場合、インデックスとして保存しておくと便利です。ここでは、プロフェッショナルモードの場合を例に、インデックスの作り方を説明します。

インデックスを作るには、サムネイル表示で作る方法と通常表示で作る方法があります。それぞれのメリットは以下のとおりです。

サムネイル表示 「インデックスを作る（サムネイル表示の場合）」212	任意のコマまたは複数のコマを一括で回転し、天地を揃えてスキャンできます。
通常表示 「インデックスを作る（通常表示の場合）」215	取り込み枠をコピーできます。

インデックスを作る（サムネイル表示の場合）

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

GT-F500 の場合「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F500）」130
GT-F550 の場合「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F550）」153

2. ［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。

［原稿種］で［フィルム］を選択してください。
［フィルムタイプ］はセットしたフィルムに合わせて選択してください。

3. 解像度を 96 ～ 150dpi 程度に設定します。

4. サムネイル表示でプレビューします。

［プレビュー］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックして、［サムネイル表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

5. 必要に応じて、プレビューされた画像の一覧から、スキャンしない画像のチェックを外します。

6. ［出力サイズ］を選択します。

［出力サイズ］リストから［サムネイル（80 x 120)］を選択してください。
現在選択されているコマに、取り込み枠が表示されます。

こんなときは

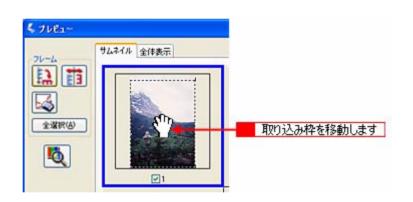
◆◆サムネイルが小さすぎる場合◆◆
［サムネイル］を選択すると、80 x 120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、［ユーザー定義サイズ］で目的のサイズを設定してください。

◆◆サムネイルの方向を変更したい場合◆◆
プレビュー画面にある［90 度回転］ボタン、［鏡像反転］ボタンを使用してください。プレビュー画面にある［全選択］ボタンをクリックしてから、［90 度回転］ボタン、［鏡像反転］ボタンをクリックすると、すべてのコマの向きをまとめて変えることができます。

［90 度回転］ボタン
選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。

［鏡像反転］ボタン
選択している画像を左右逆に反転できます。

7.　スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠の大きさをドラッグして変更します。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

ポイント
プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

8.　手順 6 と 7 をスキャンしたいコマ分繰り返します。

9.　［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

10.［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

11.［OK］ボタンをクリックします。

スキャンと保存が連続して実行されます。

12. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、手順 10 で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、手順 10 で表示される［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。

インデックスを作る（通常表示の場合）

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

GT-F500 の場合「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F500）」130
GT-F550 の場合「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F550）」153

2. ［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。

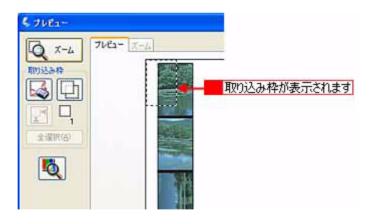
［原稿種］で［フィルム］を選択してください。
［フィルムタイプ］はセットしたフィルムに合わせて選択してください。

3. 解像度を 96 ～ 150dpi 程度に設定します。

4. 通常表示でプレビューします。

［プレビュー］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックして、［通常表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

5. ［出力サイズ］を選択します。

［出力サイズ］リストから［サムネイル（80 x 120）］を選択してください。
取り込み枠が表示されます。

こんなときは

◆◆サムネイルが小さすぎる場合◆◆
［サムネイル］を選択すると、80 x 120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、［ユーザー定義サイズ］で目的のサイズを設定してください。

6. スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠の大きさをドラッグして変更し、スキャンしたいコマの上に移動します。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

ポイント

プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。

7. 取り込み枠を、スキャンしたいコマ分コピーします。

プレビュー画面左上のボタンを使って、作成した取り込み枠をコマ分コピーして移動してください。

作成した取り込み枠を削除したい場合は、プレビュー画面左上の［取り込み枠消去］ボタンを使って削除してください。

8. ［全選択］ボタンをクリックします。

9. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

10.［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。

［保存形式］は JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。

11.［OK］ボタンをクリックします。

スキャンと保存が連続して実行されます。

12. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、手順 10 で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、手順 10 で表示される［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。

最高解像度でスキャン

プロフェッショナルモードの場合を例に、スキャナの最高解像度でスキャンする方法を説明します。

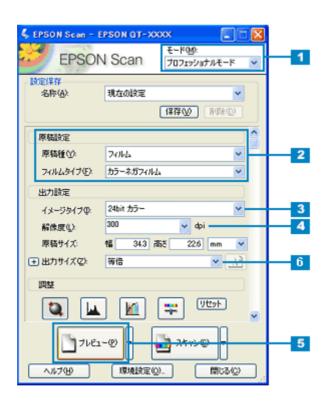
ポイント

- 解像度を数千 dpi まで上げると、データ転送の規格上の制限などにより、スキャン可能サイズに制限が生じます。そのため、エラーメッセージが表示され、スキャンできない場合があります。設定可能な解像度は、原稿、スキャナの接続方法、ご使用の環境によって異なります。
- 基本的には、解像度を上げれば印刷画質も必然的に向上しますが、インクジェットプリンタでの印刷を目的としてスキャンする場合などは、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。スキャン時の解像度と印刷解像度の関係・目安については、以下のページをご覧ください。
「解像度について」354

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

GT-F500 の場合「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F500）」130
GT-F550 の場合「フィルムをプロフェッショナルモードでスキャンして保存（GT-F550）」153

2. ［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて設定してください。
［反射原稿］を選択した場合は［取込装置］と［自動露出］、［フィルム］を選択した場合は［フィルムタイプ］を設定してください。

3. ［イメージタイプ］を選択します。

4. ［解像度］を選択します。

［解像度］で［2400］dpi を選択してください。

ポイント

A4 サイズの写真や雑誌などの原稿では、2400dpi ではスキャンできません。これは、A4 サイズのような大きな原稿で 2400dpi を指定すると、データ容量が約 1.6GB にもなってしまう上に、データ転送の規格上の制限などが生じるためです。
1200dpi、2400dpi といった高解像度は、サイズが比較的小さなフィルムをスキャンするために搭載しているものですので、サイズが大きな写真などの原稿をスキャンする際には、使用目的に合った解像度を指定してください。
スキャン時の解像度と印刷解像度の関係について詳しくは、以下のページを参照して最適な設定にしてください。
「解像度について」354

5. ［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。

画像のプレビュー（仮スキャン）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

6. ［出力サイズ］が［等倍］になっていることを確認します。

その他の設定になっている場合は、［等倍］を選択してください。

ポイント

手順 4 で設定した解像度は、出力解像度（スキャン後の画像の解像度）です。スキャナからの入力解像度を設定した解像度と一致させたい場合は、［出力サイズ］を必ず［等倍］に設定してください。［等倍］以外を選択すると、入力解像度と出力解像度が一致しません。入力解像度と出力解像度について詳しくは、以下のページをご覧ください。
「拡大／縮小と解像度の関係」343

7. 取り込み枠を指定します。

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

8. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

以上で、最高解像度でのスキャンは終了です。

文字原稿のスキャン

OCR（光学文字認識）で利用しやすいように文字原稿の認識率を上げたり、かすれている線画をきれいにスキャンできます。
初めに EPSON Scan で、文字原稿をスキャンします（文字部分は画像としてスキャンされます。文字データとしてはスキャンされません）。その後、OCR（光学文字認識）ソフトで認識させて原稿上の文字を文字データに変換させます。
ここでは、ホームモードとプロフェッショナルモードでのスキャン方法を説明します。

このページのもくじ

ポイント

- 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。
  ・何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
  ・FAX 受信した原稿
  ・文字間や行間が狭すぎる原稿
  ・文字に罫線や下線がかかっている原稿
  ・草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
  ・折り跡やしわがある原稿
  ・本の綴じ込み付近
  ・手書き文字
- 本スキャナには、読ん de!! ココ パーソナル（OCR ソフト）が添付されています。読ん de!! ココ パーソナルからスキャンすると、EPSON Scan を使わず、OCR ソフト独自の画面でスキャンできます。詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（HTML ファイル）をご覧ください。
  ここでは EPSON Scan を使ったスキャン方法を説明します。

ホームモードの場合

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

「レポート / 報告書をホームモードでスキャンして保存」35

2. 各項目を設定します。

1	原稿種	［文字／線画］を選択します。
2	イメージタイプ	カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするのかを選択します。 原稿種に合った項目が自動的に選択されますので、通常は設定する必要はありません。
3	出力設定	［その他］を選択し、［解像度］で［400］dpi を設定してください。

3. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

4. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定します。
「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

5. 取り込み枠を作成します。

「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定してください。

ポイント

［保存形式］は、［PDF］または［Multi-TIFF］をお勧めします。［PDF］または［Multi-TIFF］を選択すると、連続してスキャンした全ページが 1 つのファイルとして保存することができます。1 つずつの画像として保存したい場合や、スキャン後に画像を加工したい場合は［TIFF］を選択してください。
PDF 形式のファイルを開くには Adobe Acrobat、Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。入手方法についてはアドビ社のホームページをご覧ください。（http://www.adobe.co.jp）
Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。

<Multi-TIFF で保存したファイルの例>

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、手順 7 で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、手順 7 で表示される［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。

10. OCR（光学文字認識）ソフトで文字認識を実行します。

詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（HTML ファイル）をご覧ください。
認識率がよくない場合は、以下のページをご覧ください。
「文字や線画がかすれたりつぶれたりして、認識率がよくない場合は」227

以上で、ホームモードでのスキャン／保存は終了です。

プロフェッショナルモードの場合

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「レポート / 報告書をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」43

2. **各項目を設定します。**

1	原稿種	［反射原稿］を選択します。	
2	取込装置	［原稿台］を選択します。	
3	自動露出	［書類向き］を選択します。 背景の黄色味を除去したり、裏写りを防止できます。	
4	イメージタイプ	［モノクロ］を選択します。 カラーの原稿をスキャンしたい場合は、［24bit カラー］を選択します。	
		モノクロオプション	スキャンしない色を設定できます ［イメージタイプ］で［モノクロ］を選択した場合に［イメージタイプ］の横にある「+」(Windows) ／「 ▷ 」(Macintosh) をクリックすると表示されます。 なし・ドロップアウト：赤・ドロップアウト：緑・ドロップアウト：青から選択します。通常は設定を変更する必要はありません。 画像によっては、緑または青がきれいに消えない場合があります。その場合は、［しきい値］を調整してください。
5	解像度	スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。	
		文書ファイリング	300dpi
		OCR（光学文字認識）	400dpi

3. **［プレビュー］ボタンをクリックして、プレビューします。**

4. **［出力サイズ］を設定します。**

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定します。
「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

こんなときは

◆◆希望するサイズがリストにない場合◆◆
［ユーザー定義サイズ］を設定してください。［出力サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択すると［出力サイズ］画面が表示されますので、希望するサイズを設定し、［保存］ボタンをクリックしてください。
「ユーザー定義サイズの作成方法」200

5. 取り込み枠を作成します。

「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

6. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定してください。

ポイント

［保存形式］は、［PDF］または［Multi-TIFF］をお勧めします。［PDF］または［Multi-TIFF］を選択すると、連続してスキャンした全ページが1つのファイルとして保存することができます。1つずつの画像として保存したい場合や、スキャン後に画像を加工したい場合は［TIFF］を選択してください。
PDF 形式のファイルを開くには Adobe Acrobat、Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。入手方法についてはアドビ社のホームページをご覧ください。（http://www.adobe.co.jp）
Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。

8. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後にファイルが保存されたフォルダが開きます。

9. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、手順 7 で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

〈画像を表示する設定にしている場合の例〉

こんなときは

◆◆保存先がわからない、保存先を変更したい場合◆◆
ファイルの保存先は、手順 7 で表示される［保存ファイルの設定］画面の［保存先］で確認できます。保存先を変更したい場合は、［参照］ボタン（Windows）／［選択］ボタン（Macintosh）をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。

10. OCR（光学文字認識）ソフトで文字認識を実行します。

詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルの取扱説明書（HTML ファイル）をご覧ください。
認識率がよくない場合は、以下のページをご覧ください。
「文字や線画がかすれたりつぶれたりして、認識率がよくない場合は」227

以上で、プロフェッショナルモードでのスキャン／保存は終了です。

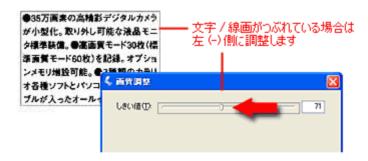
文字や線画がかすれたりつぶれたりして、認識率がよくない場合は

ここでは、ホームモードの場合を例に、文字や線画の認識率を上げる手順を説明します。

1.　EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

「レポート / 報告書をホームモードでスキャンして保存」35

2.　［イメージタイプ］で［モノクロ］を選択します。

3.　プレビュー画像で効果を確認しながら、［しきい値］を調整します。

しきい値とは、白としてスキャンする部分と、黒としてスキャンする部分の明るさの境界を決めるものです。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら、最適な調整値を見つけてください。

それでも認識率が向上しないときは

しきい値を調整しても認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を使用してください。
また、文字のフォントサイズによって認識する範囲を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、お手持ちの OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。
本スキャナに添付の読ん de!! ココ パーソナルの場合、読ん de!! ココ パーソナルをインストールすると、取扱説明書（HTML ファイル）も一緒にインストールされます。

TWAIN 対応アプリケーションソフトでスキャンした画像を保存する

ここでは、本スキャナに付属の PhotoImpression を例に、スキャンした画像の保存方法を説明します。

PhotoImpression では、画像をスキャンする前に保存先を指定します。

ポイント

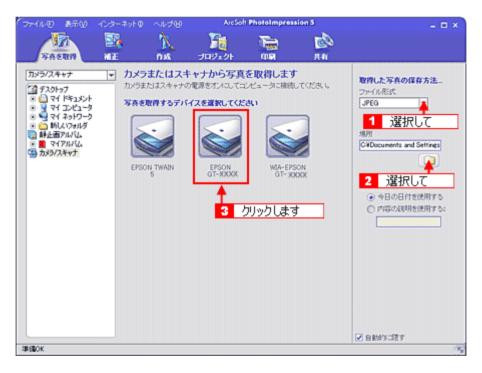
保存方法は、お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

1. PhotoImpression を起動します。

「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

2. 保存方法を設定します。

［ファイル形式］で保存するファイル形式を選択し、［場所］で保存するフォルダを選択してください。
選択したら、［EPSON GT-F500/F550］をクリックします。

［WIA– EPSON GT-F500/F550］がある場合は選択しないでください。

EPSON Scan が起動します。スキャンが終わると、選択したフォルダに画像が保存されます。

ポイント

- お使いのアプリケーションソフトが各形式に対応しているかご確認の上、ファイル形式を決めてください。Windows では BMP 形式、Macintosh では PICT 形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションソフトで開くことができます。
「画像ファイル形式について」229
- 後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

以上で、スキャンした画像の保存は終了です。

画像ファイル形式について

主な画像のファイル形式を紹介します。お使いのアプリケーションが各形式に対応しているかご確認の上、保存するファイル形式を決めてください。

形式（拡張子）	説 明
TIFF 形式 （＊ .TIF ）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。
Multi － TIFF 形式 （＊ .TIF ）	TIFF 形式ですが、複数ページのデータが 1 つのファイルにまとめて保存されます。
BMP 形式 （＊ .BMP ）	多くの Windows 用アプリケーションが対応しているファイル形式です。
PICT 形式（Macintosh のみ） （＊ .PCT ）	Macintosh 標準の画像ファイル形式です。ほとんどの Macintosh 用アプリケーションが対応しています。
JPEG 形式 （＊ .JPG ）	圧縮形式のファイルです。圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化していきます。スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式などで保存してください。
PDF 形式 （＊ .PDF ）	Windows と Macintosh で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。

困ったときは：トラブル対処方法

本体のトラブル

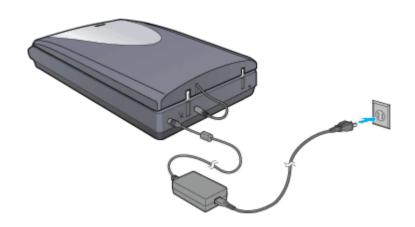
電源プラグをコンセントから抜き差ししてもスキャナが動作しない、ステータスランプが赤色に点灯／点滅する。こんなときは、以下のページをご確認ください。

「電源がオンにならない」230

「電源をオンにすると、ガタガタと音がする」231

「電源をオンにすると、ランプが赤色になった」231

注意

急な電源プラグの抜き差しは、スキャナの故障の原因になります。電源プラグを抜いてから再度電源を入れるときは、10 秒以上経過した後、電源プラグを差し込んでください。

電源がオンにならない

チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

チェック

コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本スキャナの故障が考えられます。

ポイント

以上の項目を確認しても電源が入らない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

電源をオンにすると、ガタガタと音がする

チェック

輸送用固定レバーがロックされた状態になっていませんか？

電源プラグをコンセントから抜いて電源をオフにしてから、図のようにスキャナを両手で静かに持ち上げて、本体底面の輸送用固定レバーが の位置にあるか確認してください。輸送用固定レバーが の位置にない場合は、の位置までスライドしてから、電源プラグを差し込んでください。

ポイント

以上の項目を確認してもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

電源をオンにすると、ランプが赤色になった

チェック

輸送用固定レバーがロックされた状態になっていませんか？

電源プラグをコンセントから抜いて電源をオフにしてから、図のようにスキャナを両手で静かに持ち上げて、本体底面の輸送用固定レバーが の位置にあるか確認してください。輸送用固定レバーが の位置にない場合は、の位置までスライドしてから、電源プラグを差し込んでください。

チェック

オートフィルムローダ（GT-F550 のみ）やマルチフォトフィーダ（別売）にフィルムや原稿が詰まっていませんか？

- オートフィルムローダにフィルムが詰まっている場合は、以下のページを参照してフィルムを取り除いてください。
「フィルムが詰まったときの取り出し方」253
- マルチフォトフィーダに原稿が詰まっている場合は、以下のページを参照して原稿を取り除いてください。
「原稿が詰まったときの取り出し方」257

チェック

スキャナとコンピュータが正しく接続されていますか？

USB ケーブルが、スキャナとコンピュータにしっかり接続されているかを確認してください。

ポイント

以上の項目を確認してもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

画像スキャン時のトラブル

以下の現象が起きたときは、以下のページをご確認ください。

「スキャナが認識されない」233

「スキャンに時間がかかる」234

「原稿を自動認識できない（全自動モードでのスキャン時）」235

スキャナが認識されない

チェック

ご利用のコンピュータは Windows 98 / Me / 2000 Professional/ XP Home Edition / XP Professional プレインストールマシンですか？

本スキャナは Windows 3.1/95 からアップグレードしたコンピュータでは使用できません。また、Windows Me/2000/XP は、Windows Me/2000/XP がプレインストールされたコンピュータ、または Windows 98/Me/2000 プレインストールモデルからアップグレードしたコンピュータで使用してください。

チェック

USB ハブをお使いの場合、ハブは 1 段目に接続していますか？

- 本スキャナを USB ハブに接続する場合は、必ずコンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合は、動作保証外となります。
- USB ハブは、USB2.0 に対応しているものをお使いください。USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本スキャナを接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、USB ハブを使用しないで、コンピュータに直接接続してください。

チェック

インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

何らかの原因で、正常にインストールできない、スキャンできないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストールを実行する必要があります。詳しくは、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

エラーメッセージが表示されて画像がスキャンできない

チェック

お使いの環境は以下のいずれかにあてはまりますか？

USB2.0 環境（**Windows 2000 Professional/ XP Home Edition / XP Professional**）

上記の環境でお使いの場合、画像のスキャン中に「スキャナとの正常な通信ができません。スキャナが正しくセットされ、電源が入っていることを確認してください。SCSI 接続の場合は、コンピュータを再起動してください。」というメッセージが表示され、スキャンが停止してしまうことがあります。この場合は、次の操作を行うと正常にスキャンできるようになります。

ポイント

- 以下の操作は、スキャナの電源をオンにし、コンピュータと接続した状態で行ってください。
- 実行中のアプリケーションはすべて終了しておいてください。
- この操作後、接続するポートを変更した場合は、再度以下の操作を行ってください。
  1.同梱のソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
  2.[マイコンピュータ]の[CD-ROM]アイコンを右クリックして、[開く]をクリックします。
  3.[u2patch]フォルダにある[esuf41j.exe]をダブルクリックして、ファイルを実行します。
  4.ファイルの実行が終了したら、本スキャナからコンピュータに接続した USB ケーブルをいったん取り外し、再度ケーブルを接続してください。
  5.ソフトウェア CD-ROM を取り出します。
- 以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド(冊子)』をご覧ください。

スキャンに時間がかかる

チェック

画像を高解像度でスキャンしていませんか?

画像を高解像度でスキャンする設定にしていると、スキャンに時間がかかります。解像度を下げて、画像をスキャンしてください。
適切な解像度がわからないときは、全自動モードでスキャンしてください。
「解像度を上げるときれいになる?」346

チェック

フィルムをスキャンしていませんか?

フィルムのスキャンでは複雑な画像変換処理が必要なため、写真などの原稿よりスキャンに時間がかかります。

チェック

USB1.1 を使用してスキャンしていませんか?

お使いの環境が USB2.0 対応になっているかを確認してください。
「システム条件」282

USB2.0 に対応している場合、USB2.0 を使用すると、USB1.1 と比べて高速に画像をスキャンできます。
USB2.0 非対応の機器をお使いの場合には、USB1.1 として動作します。(USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。)
ただし、USB2.0 を使用しても原稿の種類と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。または USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド(冊子)』をご覧ください。

原稿を自動認識できない（全自動モードでのスキャン時）

チェック

原稿が正しくセットされていますか？

スキャナに原稿を正しくセットしてください。

チェック

保護マットを外していますか？

フィルムをスキャンする場合は、必ず保護マットを取り外してください。

チェック

フィルムスキャンユニット用ケーブルまたはマルチフォトフィーダ用ケーブルは正しく接続されていますか？

フィルムスキャンユニット用ケーブルまたはマルチフォトフィーダ用ケーブルがスキャナにしっかりと接続されているか確認してください。接続されていない場合は、EPSON Scan を終了し、電源プラグを抜いて電源をオフにしてから、フィルムスキャンユニット用ケーブルまたはマルチフォトフィーダ用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタにしっかりと接続してください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

スキャナビボタン使用時のトラブル

以下の現象が起きたときは、以下のページをご確認ください。

「スキャナビボタンを押しても動作しない」237

「スキャナビボタンを押したときの動作が違う」238

スキャナビボタンを押しても動作しない

チェック

スキャナの準備はできていますか？

電源がオフになっていると、スキャナビボタンを押しても動作しません。必ず電源プラグをコンセントに差し込み、原稿カバーが閉じていることを確認します。

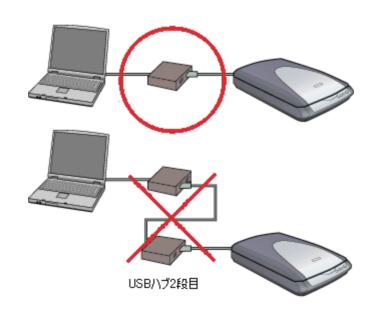
チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルが、スキャナとコンピュータにしっかり接続されているかを確認してください。

チェック

USB ハブをお使いの場合、ハブは 1 段目に接続していますか？

- 本スキャナを USB ハブに接続する場合は、必ずコンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合は、動作保証外となります。
- USB ハブは、USB2.0 に対応しているものをお使いください。USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本スキャナを接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、USB ハブを使用しないで、コンピュータに直接接続してください。

チェック

EPSON Smart Panel をインストールしていますか？

EPSON Smart Panel は、スキャナビボタンが押されたことを監視して、Copy Utility などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
『スタートアップガイド（冊子）』を参照し、EPSON Smart Panel をインストールしておいてください。

チェック

コントロールパネルの［スキャナとカメラ］の［イベント］画面で、［デバイスのイベントを実行しない］がチェックされていませんか？

［デバイスのイベントを実行しない］がチェックされていると、ボタンを押しても動作しません。
「コントロールパネルの設定について（スキャナとカメラ）」292

チェック

コントロールパネルの［スキャナとカメラ］の「イベント」画面で、アプリケーションソフトを何も選択（チェック）していない状態になっていませんか？

アプリケーションソフトを選択しないと、ボタンを押しても動作しません。
「コントロールパネルの設定について（スキャナとカメラ）」292

チェック

お使いのコンピュータおよび OS が、必要なシステム条件を満たしていますか？

お使いのコンピュータおよび OS のシステム条件については、以下のページをご覧ください。
「システム条件」282

チェック

インストールが不完全な状態で終了していませんか？

何らかの原因で、正常にインストールできない、スキャンできないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストールを実行する必要があります。詳しくは、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

スキャナビボタンを押したときの動作が違う

チェック

EPSON Smart Panel をインストールしていますか？

EPSON Smart Panel は、スキャナビボタンが押されたことを監視して、Copy Utility などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
『スタートアップガイド（冊子）』を参照し、EPSON Smart Panel をインストールしておいてください。

チェック

コントロールパネルの［スキャナとカメラ］の設定で、EPSON Smart Panel 以外のアプリケーション（Imaging など）が選択されていませんか？

コントロールパネルの［スキャナとカメラ］の［イベント］画面で、EPSON Smart Panel をチェックしてください。
「コントロールパネルの設定について（スキャナとカメラ）」292

チェック

EPSON Smart Panel での、スキャナビボタンの設定は意図通りになっていますか？

スキャナビボタンを押したときの処理は EPSON Smart Panel がコントロールします。
EPSON Smart Panel でのスキャナビボタンに関する設定を確認してください。
「起動する機能を設定する」288

ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

スキャンした画像品質のトラブル

以下の現象が起きたときは、以下のページをご確認ください。

プレビュー画像の色合いがおかしい

チェック

EPSON Scan の［環境設定］画面にある［常に自動露出を実行］のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

［環境設定］画面の［カラー］タブをクリックし、［ドライバによる色補正］を選択して、［常に自動露出を実行］をチェックしておくか、［自動露出］ボタンをクリックして調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。詳しくは、EPSON Scan のヘルプの［環境設定］画面をご覧ください。

自動調整で意図した結果が得られない場合は、プロフェッショナルモードの［ヒストグラム調整］画面でハイライト / シャドウ / ガンマを調整してください。
「厳密に調整する方法」182

画像がぼけている・細部が良く見えない・ゆがんでいる

チェック

スキャン中にスキャナを揺らしていませんか？

スキャナに振動を与えないように気を付けながら、もう一度スキャンしてください。

チェック

プロフェッショナルモードの場合、［アンシャープマスク］のチェックが外れていませんか？

プロフェッショナルモードで［アンシャープマスク］をチェックしてください。
「シャープにする」175

チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさでスキャンできるよう、［環境設定］画面の［カラー］タブをクリックして［ディスプレイガンマ］の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、［1.8］に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。自動露出は［環境設定］画面で設定できます。［環境設定］画面の詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

チェック

原稿自体のピントがずれていませんか？

スキャンする原稿自体のピントがずれている可能性があります。プロフェッショナルモードの［アンシャープマスク］をチェックしてみてください。
「シャープにする」175

ただし、その場合、モアレ（網目状の陰影）が生じるおそれがあります。モアレが生じる場合は、以下の項目を参照して対処してください。
「モアレ（網目状の陰影）を取り除く」169

チェック

EPSON Scan の［環境設定］画面にある［常に自動露出を実行］のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

［環境設定］画面の［カラー］タブをクリックして［ドライバによる色補正］を選択して、［常に自動露出を実行］をチェックしておくか、［自動露出］ボタンをクリックして調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

解像度が適切に設定されていますか？

EPSON Scan の機能により、スキャンする画像のきめ細かさ（解像度）を設定できます。適切な解像度を設定してスキャンしてください。
「解像度について」354

点がいくつか現れるだけで画像にならない

チェック

スキャナに原稿をセットしていますか？

スキャナに原稿をセットしてください。原稿をセットしないでスキャンすると、保護マットの裏をスキャンするため、白い画像になるだけです。

チェック

原稿のスキャンする面を下にしてセットしてありますか（原稿の裏面をスキャンしていませんか）？

原稿のスキャンする面を下（ガラス面）に向けてセットしてください。

チェック

モノクロ（白黒 2 値）でスキャンする場合、しきい値の設定は適切ですか？

ホームモードまたはプロフェッショナルモードで［しきい値］の設定を変更してみてください。［しきい値］の設定を変更すると線や文字をスキャンできるようになります。

「文字原稿のスキャン」221

画像が暗い・原稿の裏面が透けてスキャンされてしまう

チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさでスキャンできるよう、［環境設定］画面の［カラー］タブをクリックして［ディスプレイガンマ］の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、［1.8］に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。自動露出は［環境設定］画面で設定できます。［環境設定］画面の詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

チェック

EPSON Scan の［環境設定］画面にある［常に自動露出を実行］のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

［環境設定］画面の［カラー］タブをクリックして［ドライバによる色補正］を選択して、［常に自動露出を実行］をチェックしておくか、［自動露出］ボタンをクリックして調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

裏が透けて見えるほどの薄い原稿を使用していませんか？

原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてスキャンされることがあります。その場合は、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねてスキャンすると、改善できる場合があります。

チェック

［原稿種］で［雑誌］または［新聞］、［自動露出］で［書類向き］を選択していますか？

ホームモードの場合は、［原稿種］リストから［雑誌］または［新聞］、プロフェッショナルモードでは、［自動露出］で［書類向き］を選択すると、ハイライト（画像の最も明るい部分）が 255（真っ白）になるように調整されます。そのため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。

「雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシをホームモードでスキャンして保存」57
「雑誌 / 新聞 / カタログ / チラシをプロフェッショナルモードでスキャンして保存」65

画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる

チェック

［モアレ除去フィルタ］をチェックしていますか？（写真などの原稿のみ）

［モアレ除去フィルタ］をチェックすると、モアレを防止することができます。

「モアレ（網目状の陰影）を取り除く」169

チェック

印刷物などのスクリーン処理された原稿をスキャンしていませんか？

印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすい原稿です。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。

- EPSON Scan のプロフェッショナルモードで［アンシャープマスク］のチェックを外してスキャンする
- ［モアレ除去フィルタ］をチェックしてスキャンする
- 原稿の向きを変えてスキャンし、アプリケーションソフトで本来の向きに回転する
- EPSON Scan のプロフェッショナルモードで［ズーム］の設定を少し変更してスキャンする

ポイント

画像スキャンにおけるモアレ
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されています。この画像を本スキャナでスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します。

［アンシャープマスク］のチェックを外したり、モアレ除去機能を使用したり、原稿の向きを変えてスキャンすることによって、ドットの一致をある程度防ぐことができますが、完全に防ぐことはできません。

印刷におけるモアレ
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点は中心部ほど高濃度になっていて、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出されます。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度と言います。

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ね合わせられますが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生します。

画像にむらやシミ、斑点がでる

チェック

原稿台が汚れていませんか？

原稿台のガラス面は、いつもきれいにしておいてください。汚れているときは、以下のページを参照して、お手入れをしてください。
「スキャナのメンテナンス」320

チェック

スキャンするとき、原稿を強く押さえ付けていませんか？

原稿は、静かに置いてスキャンしてください。

画像をスキャンするとき、原稿カバーや原稿を強く押さえ付けていると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点のでることがあります。
また、原稿の種類（紙種）によっても斑点がでる場合があります。その場合は、原稿をセットする場所や向きを変えてみてください。

画像が画面に大きく表示される

チェック

画像を高解像度でスキャンしていませんか？

通常ディスプレイの解像度は 70 ～ 90dpi くらいしかありません。しかし、アプリケーションソフトによっては、スキャンした画像データの各画素（画像を構成している細かな点の一つ一つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。
その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますが、アプリケーションソフト上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

画像の色がセットした原稿と違う

チェック

［イメージタイプ］を正しく設定していますか？

スキャンする原稿の種類や画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］を正しく設定してください。

チェック

画質調整を正しく設定していますか？

［リセット］ボタンをクリックして調整を行う前の状態に戻し、再度、画質調整を行ってください。

チェック

ディスプレイの表示色数が 256 色以下になっていませんか？

フルカラー（1677 万色以上）のデータを表示させるのであれば、表示色を Windows の場合で High Color（65,000 色）以上、Macintosh の場合で 32,000 色以上にしなければきれいな表示は得られません。

チェック

EPSON Scan の［環境設定］画面にある［常に自動露出を実行］のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

［環境設定］画面の［カラー］タブをクリックして［ドライバによる色補正］を選択して、［常に自動露出を実行］をチェックしておくか、［自動露出］ボタンをクリックして調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ／色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイについて」351

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない
印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての明るさや色合いを完全に一致させることはできません。
自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。

文字原稿の認識率がよくない

チェック

原稿が斜めにセットされていませんか？

原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下します。まっすぐにセットしてください。また、原稿カバーを閉じるときは、原稿が動かないようにゆっくり閉じてください。

チェック

［イメージタイプ］を正しく設定していますか？

イメージタイプを［モノクロ］に設定し、プロフェッショナルモードの場合は、［モノクロオプション］を［なし］に設定して［しきい値］を調整してください。
しきい値とは、白としてスキャンする部分と、黒としてスキャンする部分の明るさの境界を決めるものです。
「文字原稿のスキャン」221

それでも認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を試してみてください。また、文字のフォントサイズによって認識する範囲を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

チェック

原稿の品質に問題がありませんか？

文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。

- 何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
- FAX 受信した原稿
- 文字間や行間が狭すぎる原稿
- 文字に罫線や下線がかかっている原稿
- 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
- 折り跡やしわがある原稿
- 本の綴じ込み付近
- 手書き文字

ポイント

詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイと印刷結果の色が合わない

チェック

カラーマッチング技術を使用してみましたか？

ディスプレイと印刷結果の色をできるだけ近づける方法として、Windows の「ICM」や Macintosh の「ColorSync」などのカラーマッチング技術を使用してみてください。詳しくは以下で紹介している書籍「カラーマネージメント」を参考にしてください。

書籍のご案内

「カラーマネージメント！」

カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。

ISBN4-87280-336-1

発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ

また、印刷に使用するアプリケーションソフトで ICM の設定をしておいてください。設定しないと、ICM を使用してもディスプレイと印刷結果の色は合いません。

「カラーマネージメントシステムについて」362

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。

「ディスプレイについて」351

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。

モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。

詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない

印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての色を完全に一致させることはできません。また、インクジェットプリンタで印刷する場合、プリンタで表現する画素（インクの粒）はインクの色そのままであるのに対し、ディスプレイは画素 1 つ 1 つの階調を豊富に表現できます。そのため、画像の階調表現力はディスプレイの方が圧倒的に勝ります。

自分が最も気になる部分（肌色など）の色や階調が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで画質を調整してみてください。

フィルムスキャン時のトラブル

以下の現象が起きたときは、以下のページをご確認ください。

「全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない」247

「原稿種でフィルムを選択できない」249

「スキャンした画像がおかしい」249

「ネガフィルムのプレビュー画像が粗い、色がおかしい」250

「スキャンした画像にニュートンリング（円または楕円状の縞模様）が生じる」250

全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示でコマが正常に切り出されない

ポイント

- 全自動モードで画像が認識できなかった場合、以下の画面が表示されます。［ヘルプ］ボタンをクリックし、表示される説明に従って対処してください。

- 画像によっては思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、ホームモードやプロフェッショナルモードで［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックして［通常表示］を選択し、スキャンする範囲を手動で指定してからスキャンしてください。

チェック

全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示に対応した原稿をセットしていますか？

セットした原稿が、全自動モード、またはプレビューのサムネイル表示に対応した原稿であるか確認してください。対応している原稿は以下の通りです。

- 35mm フルサイズストリップフィルム（ネガ、ポジ）
- 35mm フルサイズポジ マウントフィルム

いずれも白黒、カラーフィルム対応。ただし、全自動モードに対応しているフィルムはカラーフィルムのみです。

ただし、上記のフィルムをセットしても、フィルムによっては思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューして、手動で取り込み枠を作成してください。

チェック

極端に暗い（または明るい）画像をセットしていませんか？

以下のような画像をセットしていると、思った通りの画像をスキャンできない場合があります。その場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューして、手動でスキャンする範囲を指定してください。

- 極端に暗い（または明るい）画像
- 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

チェック

原稿台のガラス面にゴミがありませんか？

原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがある場合、コマが正常に切り出せない場合があります。

チェック

スキャナに同梱されているフィルムホルダを、正しい位置にセットしていますか？

フィルムホルダを使用するときは、必ず本スキャナに同梱されているフィルムホルダを使用してください。また、フィルムホルダのタブに書かれた A、B、C、D と原稿台の A、B、C、D のマークを正しく重ね合わせてください。

チェック

サムネイル表示の場合、取り込み枠が適切な大きさに設定されていますか？

EPSON Scan の［環境設定］画面にある［プレビュー］タブをクリックし、［サムネイル取込領域］のスライダを調整して、サムネイル表示での取り込み枠の大きさを調整してください。

チェック

標準コマとパノラマが混在していませんか？

標準コマとパノラマが混在していると、パノラマが正常に認識されません。パノラマを含むフィルムをスキャンする場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューしてください。GT-F550 をお使いの場合は、通常表示でもパノラマサイズのフィルムをスキャンできません。

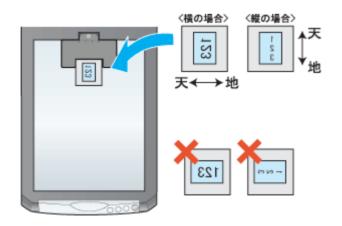
チェック

正しい原稿種を選択していますか？

EPSON Scan の［原稿種］で、セットした原稿に合った原稿種を選択しないと正常にスキャンされません。

チェック

GT-F550 をお使いの場合、ポジマウントフィルムの向きは正しいですか？

GT-F550 をお使いの場合、ポジマウントフィルムは、フィルムの内側の枠が縦長になるようにセットしてください。横長にセットすると、画像の左右が切れてスキャンされてしまいます。

原稿種でフィルムを選択できない

チェック

フィルムスキャンユニット用ケーブルは正しく接続されていますか？

フィルムスキャンユニット用ケーブルがスキャナにしっかりと接続されているか確認してください。接続されていない場合は、EPSON Scan を終了し、電源プラグを抜いて電源をオフにしてから、フィルムスキャンユニット用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタにしっかりと接続してください。フィルムスキャンユニット用ケーブルがフィルムスキャンユニット用コネクタに接続されていないと、フィルムをスキャンできません。

チェック

マルチフォトフィーダ（別売）がセットされていませんか？

マルチフォトフィーダがセットされている場合は、取り外してから、フィルムスキャンユニットをセットしてください。

スキャンした画像がおかしい

チェック

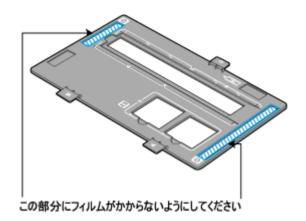
フィルムを正しくセットしていますか？

フィルムホルダにフィルムを正しくセットしてください。また、原稿台の正しい位置に、フィルムホルダをセットしてください。

「35mm ストリップフィルムのセット方法」96
「35mm ポジマウントフィルムのセット方法」99

チェック

フィルムホルダの切り抜き部分に、フィルムがかかっていませんか？（GT-F500 の場合のみ）

本スキャナに同梱のフィルムホルダには、光量を補正するための切り抜き部分があります。切り抜き部分にフィルムがかからないように、正しくセットしてください。

チェック

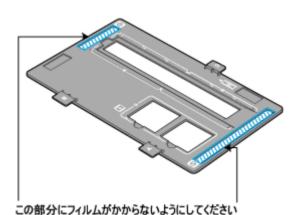
正しい原稿種を選択していますか？

［原稿種］で、セットした原稿に合った原稿種を選択しないと正常にスキャンされません。

ネガフィルムのプレビュー画像が粗い、色がおかしい

チェック

フィルムホルダの切り欠き部分に、フィルムがかかっていませんか？（GT-F500 の場合のみ）

本スキャナに同梱のフィルムホルダの上部には、光量を補正するための切り欠き部分があります。この部分にフィルムがかからないように正しくセットしてください。

スキャンした画像にニュートンリング（円または楕円状の縞模様）が生じる

チェック

フィルムが大きく反っていませんか？

フィルムが大きく反っていると、フィルムの一部が原稿台と密着して、ニュートンリング（円または楕円状の縞模様）が発生することがあります。この場合は、ベース面（像が正しく見える面／ フィルムメーカーが正しく見える面）を上にセットしてからスキャンし、フォトレタッチソフトで鏡像反転させてください。

ポイント

縞模様のことを、ニュートンリングと言います。
ニュートンリングとは、フィルムのスキャンで発生する、光学的な現象です。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生します。（ニュートンリングは干渉縞とも言い、光の干渉で発生します）
フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にしてスキャンすると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るため、ニュートンリングが発生しにくくなります。

オートフィルムローダ使用時のトラブル

以下の現象が起きたときやフィルムが詰まったときは、以下のページをご確認ください。

「フィルムをセットできない」252

「フィルムが詰まったときの取り出し方」253

「原稿種でフィルムを選択できない」255

「電源をオンにすると、ランプが赤色になった」256

「画像をプレビューすると、スジが表示されてしまう」256

フィルムをセットできない

チェック

ステータスランプは緑色に点灯していますか？

ステータスランプが赤色に点滅している場合

- 輸送用固定レバーは解除してありますか？
  本体底面の輸送用固定レバーが の位置にあるか確認してください。輸送用固定レバーが の位置にない場合は、 の位置までスライドし、その後いったん電源プラグを抜き、再び差し込んでください。

- フィルムが詰まっていませんか？
  以下のページを参照して、フィルムを取り出してください。
  「フィルムが詰まったときの取り出し方」253

ステータスランプが緑色に点滅している場合

- 準備中またはスキャン中です。ステータスランプが緑色に点灯するまでお待ちください。

チェック

コンピュータと接続していますか？

ステータスランプが緑色に点灯していてもフィルムがセットできない場合は、コンピュータと接続し、EPSON Scan を使用できる状態（ステータスランプが緑色に点灯）にしてからフィルムをセットしてください。

チェック

フィルムスキャンユニット用ケーブルは正しく接続されていますか？

フィルムスキャンユニット用ケーブルがフィルムスキャン用コネクタにしっかりと接続されているか確認してください。フィルムスキャンユニット用ケーブルを抜き差しする場合は、電源プラグを抜いてスキャナの電源をオフにしてから行ってください。

チェック

オートフィルムローダで使用できるサイズのフィルムを使用していますか？

オートフィルムローダで使用できるフィルムは、74 ～ 232mm の長さの 35mm ストリップフィルムのみです。使用できるフィルムについて詳しくは、以下のページをご覧ください。
「使用できるフィルム」104

フィルムが詰まったときの取り出し方

オートフィルムローダにフィルムが詰まってしまった場合は、以下の手順で慎重にフィルムを取り出してください。

注意

- フィルムを取り出すときにフィルムを引っ張らないでください。フィルムに傷が付くおそれがあります。
- フィルムに傷を付けないよう、慎重に取り出してください。
- フィルムを取り出す際に、オートフィルムローダに触れないでください。オートフィルムローダにホコリが入り、スキャンする画像にゴミが入ることがあります。

1. フィルム取り出しボタンを押します。

2. フィルムが排出されない場合は、スキャナの電源をオフにします。

3. フィルムを取り出します。

- 上から取り出す場合

1）フィルム取り出し用ノブを上に回して、フィルムをフィルム差し込み口に送ります。

注意

フィルム取り出し用ノブを回す際に、原稿カバーを右手で押さえてください。

2）フィルム差し込み口から、フィルムを取り出します。

3）この後スキャンを続ける場合は、いったん EPSON Scan などスキャンのためのソフトウェアを終了し、スキャナの電源をオンにしてから、EPSON Scan などスキャンのためのソフトウェアを再度起動してください。

- 下から取り出す場合

1）フィルム取り出し用カバーを下図のようにして開けます。

2）フィルム取り出し用ノブを下に回して、フィルムを取り出します。

注意

フィルム取り出し用ノブを回す際には、原稿カバーが閉じないように原稿カバーを右手で押さえてください。

3）フィルムを取り出したら、フィルム取り出し用カバーを元に戻します。

4）この後スキャンを続ける場合は、いったん EPSON Scan などスキャンのためのソフトウェアを終了し、スキャナの電源をオンにしてから、EPSON Scan などスキャンのためのソフトウェアを再度起動してください。

こんなときは

◆◆詰まったフィルムがどうしても取り出せない場合◆◆
スキャナを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

原稿種でフィルムを選択できない

チェック

保護マットを取り外していますか？

フィルムをスキャンする場合は、必ず保護マットを取り外してください。

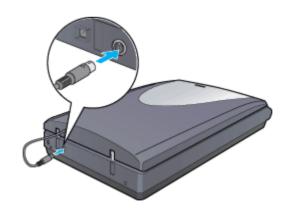
チェック

フィルムスキャンユニット用ケーブルは正しく接続されていますか？

フィルムスキャンユニット用ケーブルがスキャナにしっかりと接続されているか確認してください。接続されていない場合は、EPSON Scan を終了し、電源プラグを抜いて電源をオフにしてから、フィルムスキャンユニット用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタにしっかりと接続してください。フィルムスキャンユニット用ケーブルがフィルムスキャンユニット用コネクタに接続されていないと、フィルムのスキャンができません。

チェック

フィルムの向きは正しいですか？

フィルムはベース面（像が正しく見える面／フィルムメーカー名が正しく見える面）を下にして、セットしてください。
「セット方法」105

チェック

標準コマとパノラマが混在していませんか？

GT-F550 をお使いの場合、通常表示でもパノラマフィルムをスキャンすることはできません。

チェック

原稿カバーを閉じていますか？

フィルムをスキャンする場合は、原稿カバーを閉じてください。

電源をオンにすると、ランプが赤色になった

チェック

オートフィルムローダにフィルムが残っていませんか？

オートフィルムローダからフィルムを取り出さずに、電源をオフにすると、再度電源をオンにしたときにステータスランプが赤色に点滅します。以下のページを参照してフィルムを取り出してください。
「フィルムが詰まったときの取り出し方」253

画像をプレビューすると、スジが表示されてしまう

チェック

原稿台にゴミがついていませんか？

原稿台のガラス面にゴミがついていると、プレビューした画像にスジが入ってしまうことがあります。原稿台を柔らかい布でからぶきするなどして、ゴミを取り除いてください。

マルチフォトフィーダ（別売 型番：GTFMPF1）使用時のトラブル

原稿が詰まったときや以下の現象が起きたときは、以下のページをご確認ください。

「原稿が詰まったときの取り出し方」257

「［取込装置］で［MPF］を選択できない」258

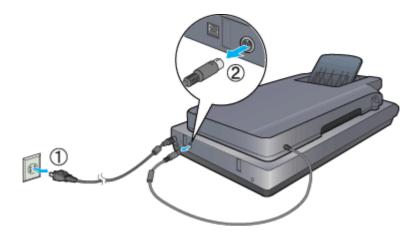
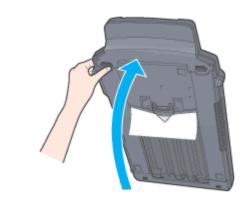
原稿が詰まったときの取り出し方

マルチフォトフィーダに原稿が詰まっている場合は、無理に引っ張らないようにして原稿を取り除いてください。

1. 原稿が詰まっている位置を確認します。

- 給紙トレイで詰まっている場合
  排紙トレイを上に上げ、原稿を給紙トレイから取り除きます。

- 排紙トレイで詰まっている場合
  原稿を傷めないように慎重に排紙トレイから引き出します。

- 裏側で詰まっている場合
  原稿台に残っている場合は、取り除いてください。簡単に取り出せない場合は、以下の手順で取り除いてください。
  1）電源をオフにして、マルチフォトフィーダ用ケーブルを取り外します。

2）マルチフォトフィーダを持ち上げます。

3）原稿を傷めないように慎重に引き出します。

こんなときは

◆◆詰まった原稿がどうしても取り出せない場合◆◆
スキャナを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子）』をご覧ください。

［取込装置］で［MPF］を選択できない

チェック

マルチフォトフィーダ用ケーブルは正しく接続されていますか？

マルチフォトフィーダ用ケーブルがスキャナにしっかりと接続されているか確認してください。接続されていない場合は、EPSON Scan を終了し、電源プラグを抜いて電源をオフにしてから、マルチフォトフィーダ用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタにしっかりと接続してください。マルチフォトフィーダ用ケーブルがフィルムスキャンユニット用コネクタに接続されていないと、マルチフォトフィーダを使用することができません。
「マルチフォトフィーダへの原稿のセット方法」328

チェック

マルチフォトフィーダは正しく設置されていますか？

マルチフォトフィーダを正しい位置にセットしてください。セットする位置がずれていると、マルチフォトフィーダを使用することができません。
「マルチフォトフィーダへの原稿のセット方法」328

チェック

マルチフォトフィーダで使用できる原稿をセットしていますか？

セットした原稿が、マルチフォトフィーダで使用できる原稿であるか確認してください。
「マルチフォトフィーダで使用できる原稿種類」327

チェック

原稿を正しくセットしていますか？

原稿を正しくセットしてください。
「マルチフォトフィーダへの原稿のセット方法」328

チェック

原稿台に原稿が残っていませんか？

原稿台から原稿を取り除いてください。

添付ソフトウェアの使い方

EPSON Scan とは？

原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。EPSON Scan（エプソンスキャン）は、EPSON 製スキャナを制御するソフトウェアです。

EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。目的と用途に合わせて各種機能を活用してください。それぞれのモードについて詳しくは、以下のページをご覧ください。
「どのモードを選択する？」266

EPSON Scan を単独で動作するアプリケーションとしてご使用いただくことができます。単独でご使用いただくと、スキャンした画像を自動的にファイル名をつけて保存できます。
「EPSON Scan を単独起動」261

また、EPSON Scan は TWAIN 規格に対応していますので、TWAIN 対応アプリケーションから起動し、アプリケーション上に画像をスキャンして取り込むことができます。
「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262

EPSON Scan の起動方法

EPSON Scan の起動には、

- 自動的にファイル名を付けて保存できる単独起動
  「EPSON Scan を単独起動」261
- 使い慣れたアプリケーションソフトで画像をスキャンし、すぐに編集できる TWAIN 対応アプリケーションソフトからの起動
  「TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動」262
- コピー、E メール、OCR（光学文字認識）などの機能を備えた EPSON Smart Panel からの起動
  「スキャナビボタンを使って起動」265

の 3 つの起動方法があります。

EPSON Scan を単独起動

EPSON Scan を単独起動する方法を説明します。単独起動した EPSON Scan でスキャンした画像は、自動的にファイル名を付けて保存できます。

1. EPSON Scan を起動します。

Windows の場合は、デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックしてください。

こんなときは

◆◆［EPSON Scan］アイコンがない場合◆◆
［スタート］ー［すべてのプログラム］（または［プログラム］）ー［EPSON Scan］ー［EPSON Scan］をクリックしてください（以下の画面参照）。

2. EPSON Scan が起動し、［保存ファイルの設定］画面が表示されます。

必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定し、［OK］ボタンをクリックします。
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］のチェックを外すと、次回から表示されなくなります。

3. EPSON Scan 画面が表示されます。

EPSON Scan を初めて起動した場合は、全自動モードが起動します。
EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。
モードについての詳細やモードの切り替え方法は以下のページをご覧ください。
「どのモードを選択する？」266
「スキャンモードの切り替え方法」267

ポイント

簡単な画像の調整をしてスキャンしたい方は、ホームモードでお使いになることをお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られ、最もお勧めのモードです。

TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動

付属の TWAIN 対応アプリケーション PhotoImpression を使って、EPSON Scan を起動する方法を説明します。

- PhotoImpression の詳しい使い方については PhotoImpression のヘルプをご覧ください。

- Adobe Photoshop や Paint Shop Pro など、一般の TWAIN 対応アプリケーションソフトからも EPSON Scan を起動することができます。一般的には、[ファイル] メニューの [読み込み] や [インポート] でスキャナ名を選択するか、[TWAIN 対応機器の選択] でスキャナ名を選択後、[TWAIN 対応機器からの入力] を選択します。

1. PhotoImpression を起動します。

Windows の場合は、[スタート] - [すべてのプログラム](または [プログラム])- [Arcsoft PhotoImpression 5] - [PhotoImpression 5] をクリックして起動します。

＜画面は Windows XP の場合＞

2. [カメラ / スキャナ] をクリックします。

3. [EPSON GT-F500/F550] をクリックします。

[WIA− EPSON GT-F500/F550] がある場合は選択しないでください。

4. EPSON Scan が起動します。

初めて EPSON Scan を起動した場合は、全自動モードが起動します。
EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。
モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下のページをご覧ください。
「どのモードを選択する？」266

ポイント

簡単な画像の調整をしてから、手軽にスキャンしたい方は、ホームモードでお使いになることをお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られる最もお勧めのモードです。

スキャナビボタンを使って起動

スキャナビボタンを押すと、EPSON Smart Panel が起動します。EPSON Smart Panel 経由で EPSON Scan を起動することができます。スキャナビボタンを使って EPSON Scan を起動する手順について詳しくは、以下のページをご覧ください。

「スキャナビボタンを使ってスキャン」299

どのモードを選択する？

EPSON Scan には全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。目的と用途に合わせて各種機能を活用してください。

ここでは、各モードの特徴を説明します。

モードの特徴

各モードの特徴は以下のとおりです。

全自動モード

自動的に画像をスキャンします。
簡単にスキャンしたい場合や、スキャナを初めて使用する場合にお勧めします。

＊原稿によっては、正常にスキャンできない場合があります。思った通りの結果でスキャンされない場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常表示でプレビューして、手動でスキャンする範囲を設定してから、スキャンしてください。

ホームモード

簡単な設定でスキャンできる、最もお勧めのモードです。出版用途でなければ、十分な品質が得られます。

プロフェッショナルモード

高度な画質調整機能を備えたモードです。出版用途での利用や、他のモードより詳細な設定をしてスキャンしたい場合にご使用ください。

ポイント

モードの切り替え方法については、以下のページをご覧ください。
「スキャンモードの切り替え方法」267

スキャンモードの切り替え方法

スキャンモードの切り替え方法を説明します。

初めて起動した場合、または全自動モードを選択している場合

初めて起動した場合は、全自動モードが起動します。モードを切り替えたい場合は、自動認識中に表示される［停止］ボタンをクリックしてください。
スキャン動作が停止しますので、画面の右上にある［モード］メニューでモードを選択します。

自動認識中に表示される［停止］ボタンは、自動認識が終わってスキャン中（または、スキャンして EPSON Scan 以外のアプリケーションソフトへ画像を転送中）は、［キャンセル］ボタンに変わります。［キャンセル］ボタンを押すと、スキャンを中止して、EPSON Scan が終了します。その場合は、再度、EPSON Scan を起動してください。

全自動モード以外を選択している場合

画面の右上にある［モード］メニューでモードを選択します。

こんなときはどのモード？

スキャンする原稿や目的に応じたお勧めのスキャンモードを説明します。

◎ 最適なモード　○ 使用できるモード　× 使用できないモード

目的	全自動モード	ホームモード	プロフェッショナルモード
フィルムをスキャンする 「フィルムのセット方法（GT-F500）」95 「フィルムのセット方法（GT-F550）」104	○	◎	◎
出力サイズを指定する （定型サイズに簡単に拡大／縮小） 「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197 B5 A4	×	○	◎
明るさ・色合いを調整する 「明暗を調整する」179	×	○	◎
モアレ（網目状の陰影）を取り除く 「モアレ（網目状の陰影）を取り除く」169	×	○	○

文字原稿／線画のかすれ補正をする 「文字原稿のスキャン」221	×	○	○
原稿台より大きな原稿をスキャンする 「原稿台より大きい原稿をスキャン」202	×	×	○
お持ちのフィルムをインデックス画像として保存 「フィルムをインデックスとしてスキャン」212	○	◎	◎
フィルムのホコリを取り除いてスキャンする 「フィルムのゴミを取り除く」163	○	○	○

プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方

プレビューは、画像を低解像度でスキャンし、取り込み枠の設定や各種の画質調整の結果をプレビューウィンドウに表示する機能です。画像がどのようにスキャンされるかを、リアルタイムに確認できます。プレビュー後にプレビューウィンドウでスキャンする範囲を指定すれば、雑誌のページから写真の部分だけスキャンすることができます。

ポイント

- 作成できる取り込み枠の数は以下の通りです。

通常表示の場合	50 個まで、マルチフォトフィーダをお使いの場合は 1 個のみ
サムネイル表示の場合	1 コマに対して 1 個のみ

- GT-F550 でフィルムスキャン時に、作成される取り込み枠の大きさは 35mm フィルムサイズまでです。
- TWAIN 対応アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動した場合、通常表示で複数の取り込み枠を指定しても、アプリケーションソフトが複数枚スキャンに対応していない場合は、最後に選択した領域のみがスキャンされます。（サムネイル表示では、取り込み枠は 1 個しか指定できません。）
- ［環境設定］画面の［カラー］画面で［常に自動露出を実行］がチェックされている場合、またはホームモードで［自動プレビュー］がチェックされている場合は、プレビューすると露出（明暗）が自動調整されます。

このページのもくじ

プレビューウィンドウの種類

次の原稿種を選択した場合、プレビューウィンドウは、サムネイル表示と通常表示のどちらかを選択できます。初期設定はサムネイル表示に設定されています。

- ホームモード使用時
  ［原稿種］で［写真］、［ポジフィルム］、［カラーネガフィルム］または［白黒ネガフィルム］を選択した場合。
- プロフェッショナルモード使用時
  ［原稿種］で［反射原稿］を選択し、［取込装置］で［原稿台］を選択した場合。
  ［原稿種］で［フィルム］を選択した場合。

上記以外の原稿種を選択した場合や、マルチフォトフィーダ（別売）を使用した場合は、通常表示のみとなります。

サムネイル表示　通常表示

各表示の特徴

サムネイル表示	サムネイル表示できる原稿は、写真とフィルムのみです。複数枚の原稿をセットした場合や 1 つの原稿の中に複数の画像がある場合は、原稿を自動認識してそれぞれをコマとして切り出します。また、画像が傾いている場合は、傾きを自動的に補正します（写真などの原稿のみ）。 なお、サムネイル表示は通常表示と比べてプレビューに時間がかかります。
通常表示	スキャンできる領域全体をプレビューして表示します。スキャンする範囲を複数指定して、まとめてスキャンできます。

表示切替方法

［メイン］画面にある［プレビュー］ボタンの右にある縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［サムネイル表示］または［通常表示］のどちらかを選択してください。

ウィンドウサイズと向きの変更方法

プレビューウィンドウのサイズやプレビュー画像の向きを変更できます。［メイン］画面にある［環境設定］ボタンをクリックし、［プレビュー］タブをクリックしてください。次の項目を設定できます。

プレビューウィンドウサイズ	プレビューウィンドウのサイズを小・中・大から選択できます。
プレビューウィンドウの横長表示	通常表示の場合、プレビュー画像を時計回りに 90 度回転して表示します。 サムネイル表示の場合は縦長表示のままです。

取り込み枠を作成する

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードまたは、プロフェッショナルモードを選択します。

ホームモードの場合「写真をホームモードでスキャンして保存」13
プロフェッショナルモードの場合「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2. プレビューします。

［メイン］画面にある［プレビュー］ボタン右横の縦長の ボタンをクリックし、表示されるメニューで［サムネイル表示］または［通常表示］を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。
ただし、原稿種によって、縦長の ボタンは表示されません。その場合は、通常表示のみになります。

3. プレビュー画面上で、スキャンする範囲を設定します。

（1）カーソルが＋の時に、取り込み枠をドラッグして取り込み枠を作成できます。
（2）カーソルを取り込み枠の線上に移動すると矢印の形になります。この時、取り込み枠をドラッグして拡大／縮小できます。
（3）カーソルを取り込み枠の中に移動すると手の形になります。この時、取り込み枠をドラッグすると移動できます。

＜サムネイル表示の場合＞

＜通常表示の場合＞

ポイント

- 初期設定では、上記の操作を行うと、取り込み枠内の露出（明暗）が自動調整されます。
- 取り込み枠を変形させると、プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量の目安が連動して表示されます。
- プロフェッショナルモードでは、［原稿サイズ］に任意の数値を入力して、スキャンする範囲を指定することもできます。小さい範囲や正確な大きさを指定する場合に便利です。
- プロフェッショナルモードでは、［ズーム］に任意の数値を入力すると、簡単に指定した範囲を拡大／縮小できます。
- 取り込み枠を削除したい場合は、ボタンをクリックします。
- サムネイル表示では、取り込み枠は 1 個しか作成できません。
- 縦横比を固定して調整するには、［Shift］（Windows）／［shift］（Macintosh）キーを押しながらドラッグします。
- 通常表示では、選択している取り込み枠は破線で表示され、スキャン中の取り込み枠は太い破線で表示されます。
- 通常表示では、取り込み枠を50個まで作成できます。マルチフォトフィーダ（別売）をお使いの場合は、1個のみです。枠の中に別の枠を作りたい場合は、枠の外で作成し、枠の中にドラッグして移動してください。

こんなときは

◆◆スキャンした画像の出力サイズを指定するには◆◆
［出力サイズ］で出力するサイズを選択すると、指定されたサイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。取り込み枠を拡大／縮小または移動するとき、取り込み枠の縦横比は維持されます。（［等倍］を選択した場合は、取り込み枠は作成されません。）

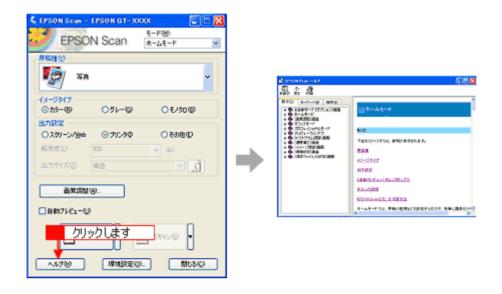
◆◆取り込み枠を複数作成した場合（通常表示の場合）◆◆
取り込み枠の選択を切り替えるには、選択したい枠をクリックします。取り込み枠をすべて選択するには、［全選択］ボタンをクリックします。取り込み枠を複数または全選択した場合、設定または調整できない項目があります。また、設定項目によって、取り込み枠すべてにまとめて作用するものと、各取り込み枠に独立して作用するものがあります。

取り込み枠すべてにまとめて作用する設定	各取り込み枠に独立して作用する設定
イメージタイプ、解像度	出力サイズ、自動露出、ヒストグラム調整、濃度補正、イメージ調整

各画面の説明を見たいときは

EPSON Scan の各画面、各項目の説明は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
EPSON Scan のヘルプは以下の方法で表示されます。

ヘルプの表示方法（Windows）

EPSON Scan の使用時に、知りたい項目がある EPSON Scan の画面上で、［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。ヘルプが表示されます。

全自動モードの設定を変更する

全自動モードで画像をスキャンするときの原稿の種類（写真や雑誌などの原稿またはフィルム）や、出力時の解像度をあらかじめ指定し、自動判別するまでの時間を短縮することができます。

ポイント

- 指定していない原稿がセットされた場合は、正しく認識されません。
- 出力解像度は、［反射］（雑誌や写真などの原稿）と［フィルム］それぞれ別に設定できます。

1. **EPSON Scan を起動し、全自動モードを選択します。**

「写真を全自動モードでスキャンして保存」9

2. **EPSON Scan が起動して、以下の画面が表示されたら、［停止］ボタンをクリックします。**

［停止］ボタンは、自動認識中しか表示されません。自動認識が終わってスキャン中（または、スキャンして EPSON Scan 以外のアプリケーションソフトへ画像を転送中）は、［キャンセル］ボタンに変わります。［キャンセル］ボタンをクリックすると、スキャンを中止して EPSON Scan が終了します。その場合は、再度、EPSON Scan を起動してください。

3. **［オプション］ボタンをクリックします。**

4. 全自動モードの設定を変更します。

設定項目について詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
「各画面の説明を見たいときは」274

5. ［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

スキャンを開始したい場合は、［スキャン］ボタンをクリックします。

以上で、全自動モードの設定変更は終了です。

スキャン時の設定を保存する

プロフェッショナルモードでは、取り込み枠・出力設定・画質調整などの設定をまとめて保存することができます。

例えば次のような使い方ができます。

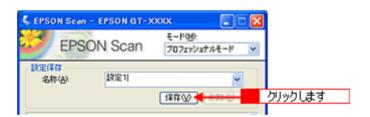
取り込み枠の再利用	取り込み枠の位置をすべて保存できるので、写真・名刺などをスキャンするときに、常に同じ位置／同じ向きにセットすれば、取り込み枠を毎回作成する必要がありません。
出力サイズの再利用	壁紙またはデスクトップピクチャ用、A4 印刷用などの設定を保存しておけば、出力サイズを毎回設定する必要がありません（取り込み枠を微調整するだけです）。

このページのもくじ

スキャン設定を保存する

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

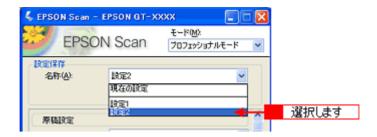
2. **［原稿種］［イメージタイプ］［出力設定］を設定します。**
3. **原稿をプレビューし、取り込み枠の設定や画質調整などを行います。**
4. **［保存］ボタンをクリックしてスキャン設定を保存します。**

保存した設定を利用してスキャンする

保存したスキャン設定を利用して画像をスキャンします。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択してから、原稿をプレビューします。**

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

2. **スキャンに利用する設定保存名をリストから選択します。**

EPSON Scan の各種設定が、保存されている設定に変わります。

3. ［スキャン］ボタンをクリックして、画像をスキャンします。

スキャン設定を削除する

保存したスキャン設定を削除します。

1. 削除したい設定保存名をリストから選択し、［削除］ボタンをクリックします。

2. ［OK］ボタンをクリックします。

削除が実行され、画面が閉じます。

全自動モードでのスキャン時の設定について

原稿タイプの認識結果によって、以下の設定でスキャンされます。

こんなときは

◆◆マルチフォトフィーダ（別売）を使用する場合◆◆
傾き補正機能は使用できません。
白黒の名刺をスキャンする場合は文字／線画、カラーの名刺をスキャンする場合はカラー書類と認識されます。

カラー写真、ポジフィルム、またはカラーネガフィルムと認識された場合

設定項目	各項目の設定内容
複数枚スキャン	有効
傾き補正	有効
アンシャープマスク	On
イメージタイプ	24bit カラー
品質	画質優先
モアレ除去	Off
カラースムージング	Off
自動露出タイプ	写真
モノクロオプション	―
解像度	300dpi

白黒写真と認識された場合

設定項目	各項目の設定内容
複数枚スキャン	有効
傾き補正	有効
アンシャープマスク	On
イメージタイプ	8bit グレー
品質	画質優先
モアレ除去	Off
カラースムージング	―
自動露出タイプ	写真
モノクロオプション	―
解像度	300dpi

イラストと認識された場合

設定項目	各項目の設定内容
複数枚スキャン	1 枚のみ
傾き補正	なし
アンシャープマスク	Off
イメージタイプ	24bit カラー

品質	画質優先
モアレ除去	Off
カラースムージング	On
自動露出タイプ	書類
モノクロオプション	−
解像度	300dpi

文字／線画と認識された場合

設定項目	各項目の設定内容
複数枚スキャン	1 枚のみ
傾き補正	有効
アンシャープマスク	−
イメージタイプ	モノクロ
品質	速度優先
モアレ除去	−
カラースムージング	−
自動露出タイプ	−
モノクロオプション	なし
解像度	400dpi

カラー書類と認識された場合

設定項目	各項目の設定内容
複数枚スキャン	1 枚のみ
傾き補正	なし
アンシャープマスク	On
イメージタイプ	24bit カラー
品質	画質優先
モアレ除去	On
カラースムージング	Off
自動露出タイプ	書類
モノクロオプション	−
解像度	150dpi

白黒書類と認識された場合

設定項目	各項目の設定内容
複数枚スキャン	1 枚のみ
傾き補正	なし
アンシャープマスク	On
イメージタイプ	8bit グレー
品質	画質優先

モアレ除去	On
カラースムージング	ー
自動露出タイプ	書類
モノクロオプション	ー
解像度	150dpi

システム条件

EPSON Scan を使用するために必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

オペレーティングシステム	Windows 98 / Me / 2000 Professional / XP Home Edition / XP Professional
CPU	Pentium または互換プロセッサ 233 MHz 以上(Pentium Ⅲまたは互換プロセッサ 500MHz 以上推奨)
主記憶メモリ	128MB 以上(512MB 推奨)
ハードディスク空き容量	インストール時:20MB 実行時:50MB(1GB 推奨) スキャンを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。
ディスプレイ	Super VGA (800 × 600) 以上のフルカラー高解像度ビデオアダプタおよびモニタ(XVGA (1024 × 768) 以上推奨)

- Windows 2000 に EPSON Scan をインストールする際には、管理者権限のあるユーザー(Administrators グループに属するユーザー)でログインする必要があります。
- Windows XP に EPSON Scan をインストールする際には、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログインする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

ポイント

以下の条件をすべて満たす場合にのみご使用いただけます。なお、Windows 95 をアップグレードしたコンピュータの動作は動作保証外となります。

USB1.1 の場合
Windows 98 / Me / 2000 Professional/ XP Home Edition / XP Professional がプレインストールされているコンピュータ(購入時すでにインストールされているコンピュータ)、またはこれらプレインストールモデルからの OS アップグレード環境で、USB に対応し、コンピュータメーカーより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ

USB2.0 の場合
Windows 2000 Professional / XP Home Edition / XP Professional プレインストールモデル、またはこれらのプレインストールモデルからのアップグレード環境で、標準で USB2.0 インターフェイスを装備しているコンピュータ
ただし、Microsoft 社が提供中の USB2.0 ドライバが必要になります。(2004 年 4 月現在)

削除方法

EPSON Scan を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

複数の EPSON スキャナの EPSON Scan をインストールしている場合には、EPSON Scan を削除するとすべてのスキャナのドライバが削除されます。
再度インストールする場合は、各機種用に用意された EPSON Scan を個別にインストールしてください。

このページのもくじ

Windows 98 / Me の場合

1. **スキャナの電源をオフにするか、USB ケーブルを取り外します。**

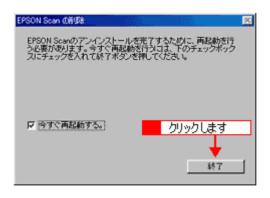
2. **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

3. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

4. **［EPSON Scan］を選択して、［追加と削除］ボタンをクリックします。**

5. ［次へ］ボタンをクリックします。

EPSON Scan の削除が実行されます。

6. ［終了］ボタンをクリックして、コンピュータを再起動します

これで削除は終了です。

Windows 2000 / XP の場合

- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログインする必要があります。

- Windows XP で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログインする必要があります。「制限」アカウントのユーザーでは、削除できません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

1. スキャナの電源をオフにするか、USB ケーブルを取り外します。

2. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］-［コントロールパネル］をクリックします。

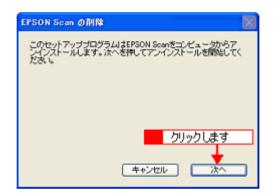
＜画面は Windows XP の場合＞

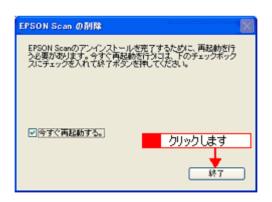
3. ［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをクリックします。

＜画面は Windows XP の場合＞

4. ［EPSON Scan］を選択して、［変更 と削除］ボタンをクリックします。

5. ［次へ］ボタンをクリックします。

EPSON Scan の削除が実行されます。

6. ［完了］ボタンをクリックして、コンピュータを再起動します。

以上で削除は終了です。

EPSON Smart Panel とは？

スキャナ前面のスキャナビボタンを押すと EPSON Smart Panel のメイン画面が表示されます。EPSON Smart Panel は、本スキャナをより快適に活用するためのアプリケーションソフトです。スキャンした画像を、焼き増し印刷したり、文字原稿をテキストデータにしたり、目的のアプリケーションソフトを直接起動し、スキャンした画像をそのアプリケーションソフトに転送して使用することができます。詳しくは以下のページをご覧ください。

「画像を活用する場合のおすすめの方法」301

起動する機能を設定する

スキャナビボタンを押したときに起動する機能を設定できます。

1. 画面左下の［EPSON Smart Panel］リストから、スキャナビボタンを押したときに起動する機能を選択します。

2. 選択した機能のアイコンにスキャナビボタンのマークが付きます。

スキャナビボタンを押すとスキャナビボタンのマークが付いた機能が自動的に起動します。

こんなときは

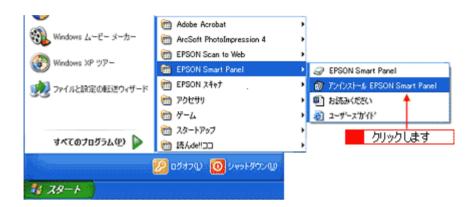
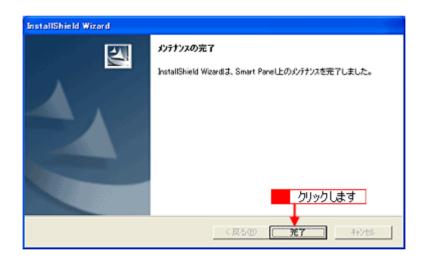
◆◆スキャナビボタンを押しても目的のアプリケーションソフトが起動しない場合◆◆
以下の内容を確認してください。アプリケーションソフトがインストールされていない場合は、『スタートアップガイド（冊子)』を参照してインストールしてください。

- ［写真で作る］が起動できない場合は、PhotoImpression がインストールされているかを確認してください。
- ［OCR］が起動できない場合は、読ん de!! ココがインストールされているかを確認してください。
- ［名刺管理］が起動できない場合は、Presto! BizCard がインストールされているかを確認してください。

削除方法

EPSON Smart Panel を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

1. **Windows の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]（または [プログラム]）－ [EPSON Smart Panel] にカーソルを合わせ、[アンインストール EPSON Smart Panel] をクリックします。**

   Windows XP の場合

2. **削除が終了すると次の画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックします。**

以上で EPSON Smart Panel の削除は完了です。

添付ソフトウェアについて

読ん de!! ココ パーソナル

読ん de!! ココ パーソナルの使い方について詳しくは、読ん de!! ココ パーソナルのユーザーズマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［読ん de!! ココ］－［ドキュメント］－［ユーザーズマニュアル］の順でクリックして起動します。

PhotoImpression5

PhotoImpression5 の使い方について詳しくは、PhotoImpression5 のヘルプをご覧ください。

PhotoImpression 画面の上にある［ヘルプ］メニューから、［ヘルプ］をクリックして起動します。

Presto! BizCard

Presto! BizCard の使い方について詳しくは、Presto! BizCard の使用手引書をご覧ください。

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［Presto! BizCard4.1］－［Presto! BizCard4.1 使用手引書］の順でクリックして起動します。

スキャナソフトウェアのバージョンアップ

EPSON Scan や EPSON Smart Panel などのスキャナソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソンのホームページ、および CD-ROM による提供を行います。

入手方法

エプソンのホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp/guide/scanner/

ダウンロード方法／インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

コントロールパネルの設定について（スキャナとカメラ）

Windows のコントロールパネルに登録される［スキャナとカメラ］アイコンについて説明します。［スキャナとカメラ］アイコンでは、接続状態やイベントの設定を行うことができます。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックします。

Windows 98 / Me / 2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［プリンタとその他のハードウェア］-［スキャナとカメラ］アイコンをクリックします。

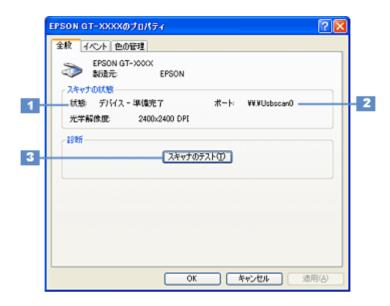
Windows 98 / Me / 2000 の場合は［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックします。

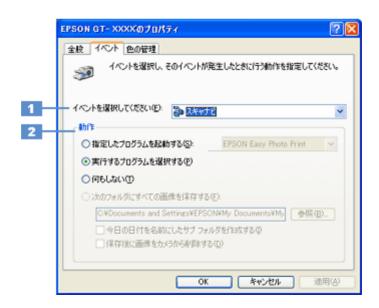
3. ［EPSON GT-F500/F550］をクリックして、［デバイスのプロパティ］をクリックします。

Windows 98 / Me / 2000 の場合は、［EPSON GT-F500/F550］を選択して、［プロパティ］ボタンをクリックします。
［EPSON GT-F500/F550 のプロパティ］画面が表示されます。

ポイント

スキャナとコンピュータがケーブルで接続され、スキャナの電源がオンになっていないと、スキャナが表示されません。ケーブルの接続を確認し、スキャナの電源をオンにしてください。

［全般］画面

1	スキャナの状態	接続状態を表示します。	
		準備完了	正しく接続されていて、スキャンが可能です。
		使用不可またはオフライン	接続に問題があるため、スキャンが行えません。 この場合は、以下のページを参照して対処してください。 「スキャナが認識されない」233
2	ポート	スキャナが接続されているポートを表示します。	
3	［スキャナのテスト］／［デバイスのテスト］ボタン	接続状態のテストを行うことができます。	

［イベント］画面

1	イベントを選択してください／スキャナイベント	設定を行う対象のボタンを選択します。

2	動作／次のアプリケーションに送る／指定したプログラムを起動する	選択したボタンを押したときの動作を設定します。
	デバイスのイベントを実行しない（Windows XP を除く）	スキャナビボタンを押しても動作しません。チェックしないでください。

ポイント

スキャナとカメラのプロパティ画面の［色の管理］画面は使用しません。

ユーザーズガイドの削除方法

ここでは、ユーザーズガイドを削除する手順を説明します。

ユーザーズガイドは、コンピュータにインストールされていなくても、添付のソフトウェア CD-ROM からもご覧いただくことができます。

このページのもくじ

Windows 98 / Me の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3. ［EPSON GT-F500/F550 ユーザーズガイド］を選択して、［追加と削除］ボタンをクリックします。

4.　［削除］ボタンをクリックします。

EPSON GT-F500/F550 ユーザーズガイドの削除が実行されます。

5.　［OK］ボタンをクリックします。

これで削除は終了です。

Windows 2000 / XP の場合

- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログインする必要があります。
- Windows XP で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログインする必要があります。「制限」アカウントのユーザーでは、削除できません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

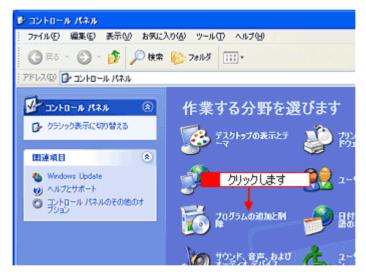
1.　［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

＜画面は Windows XP の場合＞

2. ［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをクリックします。

＜画面は Windows XP の場合＞

3. ［EPSON GT-F500/F550 ユーザーズガイド］を選択して、［変更 と削除］ボタンをクリックします。

4. ［削除］ボタンをクリックします。

EPSON GT-F500/F550 ユーザーズガイドの削除が実行されます。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

以上で削除は終了です。

スキャナビボタンと EPSON Smart Panel でスキャン

スキャナビボタンを使ってスキャン

1. **スキャナ前面のスキャナビボタンを押します。**

EPSON Smart Panel が自動的に起動します。

こんなときは

◆◆スキャナビボタンを押しても EPSON Smart Panel が起動しない場合◆◆
以下のページを参照して設定してください。
「スキャナビボタン使用時のトラブル」237

◆◆スキャナビボタンを押して、次の画面が表示された場合◆◆
［EPSON Smart Panel］を選択してから、［この動作には常にこのプログラムを使う］をチェックし、［OK］ボタンをクリックしてください。

2. **用途に応じたアプリケーションソフトのアイコンをクリックします。**

クリックした後は、それぞれのアプリケーションソフトに最適な設定を行って EPSON Scan を起動してスキャンしてください。アプリケーションソフトの最適な設定についての詳細は以下のページをご覧ください。
「画像を活用する場合のおすすめの方法」301

画像を活用する場合のおすすめの方法

スキャンした画像を活用したい、そんなときにはEPSON Smart Panelを使ってみましょう。目的に合ったアイコンをクリックするだけで、画像をいろいろ活用することができます。

スキャナ前面のスキャナビボタンを押すとEPSON Smart Panelのメイン画面が表示されます。EPSON Smart Panelでは、目的のアプリケーションソフトを直接起動し、スキャンした画像をそのアプリケーションソフトに転送して使用することができます。
スキャナビボタンを押してもEPSON Smart Panelが起動しない場合は以下のページをご覧ください。
「スキャナビボタン使用時のトラブル」237

こんなことができます

EPSON Smart Panelを使うと、コピー、OCR（光学文字認識）、Eメールなどの機能が使え、素早く簡単な操作で最適な結果を得ることができます。EPSON Smart Panelの機能については、以下の表をご覧ください。

アイコン	機能
ファイル保存	スキャンした画像を任意の形式に変換して、画像やテキストを指定したフォルダに保存します。 また、プリンタの色空間をできる限り活かして写真プリントできるよう、PRINT Image Matching情報を付加したJPEGファイル またはTIFFファイルを作成します。 「目的に合ったファイル形式・鮮やかに印刷できる設定で保存しよう」303 ※ PRINT Image Matching情報を有効にして印刷するにはPhotoQuickerなどのPRINT Image Matching対応のアプリケーションソフトと、PRINT Image Matching対応のEPSONカラリオプリンタが必要になります。PRINT Image Matchingについての詳細は以下のページをご覧ください。 「PRINT Image Matchingについて」349
コピー・焼き増し	EPSON Copy Utilityを起動します。スキャナ、コンピュータ、プリンタと連携して、簡単にスキャンした画像を印刷できます。 「スキャンした画像をコピーしよう」306
OCR	OCRソフト（読んde!! ココ パーソナル）を起動します。文字原稿をスキャンして、原稿上の文字形状を文字と認識してテキストデータに変換できます。 「原稿の文字を修正しよう」309
名刺管理	名刺をデジタル化し、名前、会社名、住所などをデータ管理できます。 「名刺の編集や管理をしよう」312
写真で作る	PhotoImpressionを起動します。スキャンした画像を使って、カードやカレンダーを作成できます。 「お好きな画像でカードやカレンダーを作ろう」313

アイコン	機能
アプリケーション	画像スキャン後、選択したアプリケーションソフトを起動します。スキャンした画像を、起動したアプリケーションソフトで自由に使用できます。対応アプリケーションソフトについては、エプソンのホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/） 「お好きなアプリケーションに取り込もう」314
Eメール	E メールソフトを起動します。画面に従って操作するだけで、画像をメールに添付して送ることができます。 対応メールソフトについては、エプソンのホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/） 「画像を E メールで送ろう」316
Web	スキャンした画像を PRINT Image Matching 機能を使って JPEG 形式に変換し、Web にアップロードします。 「画像をインターネットで公開しよう」318

目的に合ったファイル形式・鮮やかに印刷できる設定で保存しよう

ファイル保存では、スキャンした画像を任意のファイル形式に変換して、テキストや画像をフォルダに保存できます。PRINT Image MatchingII に対応していますので、PRINT Image Matching 機能を使用した JPEG 形式または TIFF 形式に変換できます。また、被写体に応じた最適な効果を設定して、画像をフォルダに保存します。
保存したファイルは、PRINT Image Matching 対応のプリンタで印刷できます。効果が得られるのは、印刷時（PRINT Image Matching 対応プリンタから印刷したとき）のみで、画面上では効果は確認できません。

ポイント

- PRINT Image Matching の詳細については、以下のページをご覧ください。
  「PRINT Image Matching について」349
- 「Web」でも、PRINT Image Matching 情報を持った JPEG ファイルを保存することができます。
  ただし、PRINT Image MatchingII に対応していないので、シーンに応じた項目は選択できません。

1. スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2. EPSON Smart Panel の［ファイル保存］ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されます。

1	ファイルパス	ファイルの保存先を表示します。［参照］ボタンをクリックして、保存先を選択することもできます。日付名のサブフォルダを作成することもできます。
2	ファイル名	画像のファイル名を設定します。ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。初期設定では、File0001、File0002、File0003… となります。

3	画像形式	保存する際のファイル形式を選択します。 PRINT Image Matching 機能対応の JPEG、TIFF 形式も指定できます。TIFF 形式では圧縮による画像劣化のない、より高画質なプリントができます。 画像の圧縮率を設定できます。圧縮するとファイルサイズは小さくなりますが、画像が劣化します。 また、［フォトタイプ］でシーンに応じた項目を選択すると、取り込んだ画像がフォトタイプに合わせて補正され、より見栄えの良い印刷結果が得られるようになります。 ただし、複数の画像を連続取り込み・保存する場合、ファイル１つ１つに異なる設定をすることはできません。［標準］か［なし］を選択するか、同じシーンの画像ごとにまとめて取り込むことをお勧めします。 ［フォトタイプ］補正効果については以下の通りです。 • なし : 補正は行いません。 • 標準 : 一般的なシーン全般で効果を与えます。 • ポートレート : 人肌を明るく、ソフトな印象に仕上げます。 • 風景 : 空や緑の印象を強め、鮮やかな風景写真に仕上げます。 • 夕景 : 夕日の色をより印象的にします。 • 夜景 : 全体はやや暗めに、光などの明るい部分は彩度とシャープネスをやや高めます。 • 花 : やや明るくソフトに、色鮮やかに仕上げます。 • 接写 : コントラストとシャープネスを高め、すっきりとした印象に仕上げます。 • スポーツ : 動きのある被写体のコントラスト、シャープネス、彩度を高め、印象を強めます。 • 逆光 : 逆光により対象物が暗く写ってしまった写真を明るく補正します。 • 紅葉 : 紅葉をより鮮やかな印象にします。 • 記念写真 : やや明るく、シャープネスを高め、はっきりしたスナップショットに仕上げます。
4	［画像をスキャンし確認］ボタン	スキャン画像のオプションを設定して、保存します。
5	［画像をスキャンし保存］ボタン	設定された値に従って、ファイルを保存します。

3. スキャナが画像のスキャンを開始します。

全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像のスキャンが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. 以下の画面が表示されたら、スキャンする画像を確認して保存します。

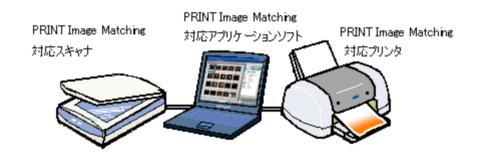
1	画像インデックス	スキャンした画像のサムネイルが表示されます。スキャンした各画像のファイル名は、文字列 + ４桁の番号（初期設定）になります。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、スキャンした画像が拡大表示されます。

2	［新規スキャン］ボタン	原稿台にセットされている原稿を新たにスキャンします。
3	［左へ 90 度回転］ボタン	画像を左に 90 度回転します。
4	［右へ 90 度回転］ボタン	画像を右に 90 度回転します。
5	［ミラー］ボタン	画像の左右を反転します。
6	［拡大］ボタン	画像を拡大表示します。［サムネイルビュー］ボタンをクリックするとサムネイル表示になります。
7	［サムネイルビュー］ボタン	画像をサムネイル表示します。［拡大］ボタンをクリックすると拡大表示になります。
8	［保存］ボタン	設定に従って、ファイルを保存します。 Photo Impression がインストールされている場合は、Photo Impression が起動し、スキャンした画像が読み込まれます。Photo Impression がインストールされていない場合は、保存したフォルダが表示されます。

ポイント

保存した画像は、EPSON PhotoQuicker を使用して印刷できます。PhotoQuicker は、PRINT Image Maching 情報を持った画像ファイルを印刷することのできるアプリケーションソフトです。

印刷方法

PRINT Image Matching 機能を使用するときは、スキャナ、プリンタ、アプリケーションソフトが、PRINT Image Matching に対応している必要があります。

対応アプリケーションソフト

EPSON PhotoQuicker などの PRINT Image Matching 対応アプリケーションソフト

EPSON PhotoQuicker は、EPSON インクジェットプリンタなどに同梱されているソフトウェアです。
本スキャナには同梱されていませんが、エプソンのホームページからダウンロードできます。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

対応プリンタ

お使いのプリンタが、PRINT Image Matching に対応しているかについては、プリンタの取扱説明書、およびエプソンのホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

ポイント

- お使いの EPSON プリンタやデジタルカメラに PRINT Image Matching 機能が搭載されているかどうか、またプリンタやデジタルカメラの使用方法については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- PRINT Image Matching 機能を使って印刷するには、PRINT Image Matching に対応したプリンタドライバとアプリケーションソフトを組み合わせて印刷する必要があります。また、用紙の種類によっても PRINT Image Matching 機能の有効 / 無効が切り替わります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

スキャンした画像をコピーしよう

スキャナとプリンタを使用してコピーをすることができます。
Copy Utility の詳細は、Copy Utility 画面の右上にある［ヘルプ］ボタンをクリックして、Copy Utility のヘルプをご覧ください。ここでは機能の概要を説明します。

ポイント

カラリオかんたんプリント対応のプリンタを使用することをお勧めします。対応プリンタについては、エプソンのホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

1. **スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。**

2. **EPSON Smart Panel の［コピー・焼き増し］ボタンをクリックします。**

   ［Copy Utility］画面が表示されます。

1	スキャンするスキャナを選択します。	
2	コピーするプリンタを選択します。	
3	原稿	スキャナにセットした原稿の種類を表示します。 変更するには、［1 原稿］の下のボタンをクリックすると表示される［原稿選択］画面で、原稿の種類を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。

4	用紙種類	プリンタにセットした用紙種類と用紙サイズを表示します。 変更するには、[2 用紙種類］の下のボタンをクリックすると表示される［用紙種類選択］画面で、用紙種類と用紙サイズの組み合わせを選択し、[OK］ボタンをクリックしてください。 使用したい用紙種類と用紙サイズの組み合わせがない場合は、[用紙追加］ボタンをクリックして、新しい用紙サイズを登録してください。 ※カラリオかんたんプリント対応のプリンタを使用していない場合、またはお使いのコンピュータにカラリオかんたんプリントモジュールがインストールされていない場合は表示されません。代わりにプリンタの印刷設定画面が表示されますので、表示された印刷設定画面で用紙種類と用紙サイズを設定してください。設定方法については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。
5	コピーサイズ	コピー後の画像サイズ（拡大 / 縮小率）を表示します（[1 原稿］で選択した原稿の種類によって表示されるコピーサイズは異なります。) 変更するには、[3. コピーサイズ］の下のボタンをクリックすると表示される［コピーサイズ選択］画面で、画像サイズ（拡大 / 縮小率）を選択し、[OK］ボタンをクリックしてください。[1 原稿］で［カラー文書］/［モノクロ文書］を選択した場合は、拡大 / 縮小率を自由に指定することができます。 <［1 原稿］で文書を選択した場合>
6	退色復元	[1 原稿］で［写真］[ネガフィルム］[ポジフィルム］選択時に、昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色してしまった古い写真やフィルムの色合いを、元の色に戻してスキャンします。
7	ホコリ除去	[1 原稿］で［ネガフィルム］[ポジフィルム］選択時に、フィルムまたはスキャナのガラス面に付いているホコリを取り除いてスキャンします。ただし、大きなホコリは除去できません。
8	文字くっきり	[1 原稿］で［カラー文書（1 枚)］[モノクロ文書（1 枚)］[カラー文書（複数枚)］[モノクロ文書（複数枚)］選択時に、かすれていい線画またはつぶれている文字をきれいにスキャンします。
9	明るさ	画像の明るさを調整します。スライダを右に動かすと明るく、左に動かすと暗くなります。
10	コントラスト	[1 原稿］で［写真］[ネガフィルム］[ポジフィルム］選択時に、画像のコントラスト（画像の明るい部分と暗い部分の明るさの差）を調整します。スライダを右に動かすと明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなり、メリハリのある画像になります。スライダを左に動かすと逆の効果が得られます。
11	コピー枚数	コピーする枚数を指定します。
12	[コピー］ボタン	コピーを開始します。

13	［カスタムコピー］ボタン	［カスタムコピー］画面を表示します。プレビュー画像を見ながら、明るさやコントラストの調整などができます。

1	画像のプレビュー（仮スキャン）をします。
2	トリミング枠（コピーする領域）の縦横比をコピーするサイズに合わせて固定する／しないを選択します。 ボタンをクリックすると、縦横比は固定しません。
3	選択している画像のトリミング枠の拡大／縮小、回転を調整前の状態に戻します。
4	選択している画像を時計回りまたは反時計周りに 90 度回転します。
5	選択している画像の左右を反転します。
6	拡大表示とサムネイル表示を切り替えます。
7	プレビュー表示されている画像を選択します。
8	プレビュー（仮スキャン）した画像をサムネイル表示または拡大表示します。 青枠で囲まれている画像の設定をすることができ、画像の下のチェックボックスでコピーする／しないを選択します。 拡大表示時にコピーする範囲を設定することができます。
9	［Copy Utility］画面での設定を表示します。
10	画像の明るさを調整します。スライダを右に動かすと明るく、左に動かすと暗くなります。
11	［Copy Utility］画面の［1 原稿］で［写真］［ネガフィルム］［ポジフィルム］選択時に、画像のコントラスト（画像の明るい部分と暗い部分の明るさの差）を調整します。スライダを右に動かすと明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなり、メリハリのある画像になります。スライダを左に動かすと逆の効果が得られます。
12	明るさとコントラストの設定を調整前の状態に戻します。
13	［印刷プレビュー］画面にコピー結果を表示します。
14	コピーを開始します。
15	コピーする枚数を指定します。
16	［Copy Utility］画面に戻ります。
17	Copy Utility のヘルプを表示します。

14	［ヘルプ］ボタン	Copy Utility のヘルプを表示します。

原稿の文字を修正しよう

原稿上の文字をテキストデータとして取り出すことができます。ここでは、添付の OCR（光学文字認識）ソフト、読んde!! ココ パーソナルを使用してスキャンする手順の概要を説明します。詳細は、読ん de!! ココ パーソナルのユーザーズマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

「添付ソフトウェアについて」290

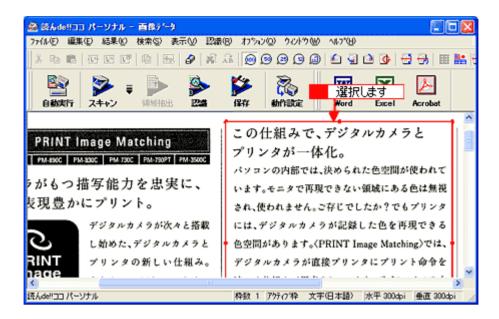
文字認識の流れ

1.　スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

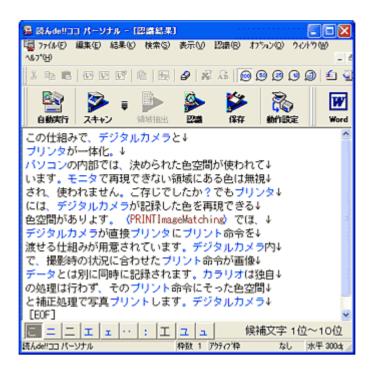
2.　EPSON Smart Panel の［OCR］ボタンをクリックします。

読ん de!! ココ パーソナルが起動します。

3.　以下の画面が表示されるので［取り込み］ボタンをクリックします。

4.　文字認識させる部分を選択します。

5. ［認識］メニューをクリックし、［認識実行］をクリックします。

6. 認識結果の微調整をします。必要に応じて保存します。

Windows の場合は、［Word］、［Excel］、［Acrobat］のボタンをクリックすると、それぞれのアプリケーションソフトにデータを転送して保存することができます。

以上で、読ん de!! ココ パーソナルを使用したスキャンする手順の概要の説明は終了です。

名刺の編集や管理をしよう

添付の Presto! BizCard では、名刺をデータ管理することができます。また、メールソフトやアドレス帳、PDA とデータの整合性をとることができます。ここでは、Presto! BizCard を使用して名刺をスキャンしてデータ化する手順の概要を説明します。詳細は、Presto! BizCard の取扱説明書（PDF）またはヘルプをご覧ください。
「添付ソフトウェアについて」290

名刺をデータ化する流れ

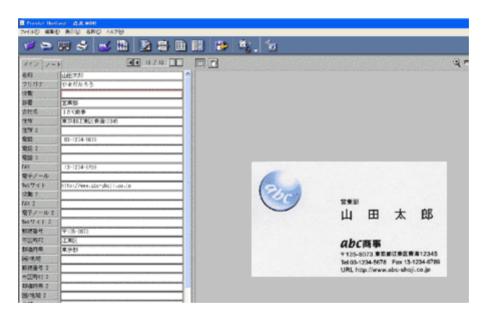
1.　スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2.　EPSON Smart Panel の［名刺管理］ボタンをクリックします。

Presto! BizCard が起動し、続いて EPSON Scan が起動します。
オンライン登録をされる方は起動時に表示された画面で、登録を行ってください。

3.　スキャナが画像のスキャンを開始します。

全自動モード以外の場合は、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像のスキャンが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

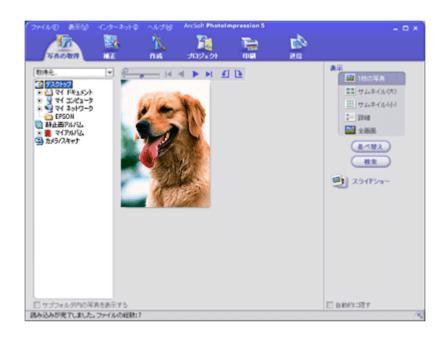
4.　表示される画面で編集などをして、必要に応じて保存します。

以上で、Presto! BizCard を使用した名刺をスキャンしてデータ化する手順の概要の説明は終了です。

お好きな画像でカードやカレンダーを作ろう

スキャンした画像を、カードやカレンダーが簡単操作で作成できる PhotoImpression で利用できる状態にします。PhotoImpression のカード、カレンダー機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。

1.　スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2.　EPSON Smart Panel の［写真で作る］ボタンをクリックします。

3.　PhotoImpression が起動します。

4.　PhotoImpression を使って EPSON Scan を起動し、スキャンした画像を編集します。

PhotoImression の詳細については、ヘルプをご覧ください。ヘルプは、PhotoImpression の画面上から起動することができます。

お好きなアプリケーションに取り込もう

スキャンした原稿をどのアプリケーションソフトで利用するかを選択することができます。アプリケーション機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。

対応しているアプリケーションソフト

対応しているアプリケーションソフトについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

1. スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2. EPSON Smart Panel の［アプリケーション］ボタンをクリックします。

3. スキャナが画像のスキャンを開始します。

全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像のスキャンが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. 以下の画面が表示されたら、スキャンする画像を確認します。

1	画像インデックス	スキャンした画像のサムネイルが表示されます。 スキャンした各画像のファイル名は、文字列 + 4 桁の番号（初期設定）になります。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、スキャンした画像が拡大表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	原稿台にセットされている原稿を新たにスキャンします。
3	［左へ 90 度回転］ボタン	画像を左に 90 度回転します。
4	［右へ 90 度回転］ボタン	画像を右に 90 度回転します。
5	［ミラー］ボタン	画像の左右を反転します。
6	［拡大］ボタン	画像を拡大表示します。［サムネイルビュー］ボタンをクリックするとサムネイル表示になります。
7	［サムネイルビュー］ボタン	画像をサムネイル表示します。［拡大］ボタンをクリックすると拡大表示になります。
8	［次へ］ボタン	次のステップ（アプリの起動）へ進みます。

5. アプリケーションソフトを起動します。

1	アプリケーションリスト	画像の編集が可能なアプリケーションソフトを表示します。
2	［設定］ボタン	アプリケーションソフトに関する以下の設定ができます。 • アプリケーションソフトを登録する • アプリケーションリストの並び順を変更する • 選択したアプリケーションソフトにファイルを送る際に使用するファイル形式を設定する • 登録したアプリケーションを削除する • アプリケーションリストに登録されているアプリケーションソフトの順序を変更する
3	［アプリケーションを検索する］ボタン	再度、画像の編集が可能なアプリケーションソフトを検索し、アプリケーションリストを表示し直します。
4	［起動］ボタン	選択したアプリケーションソフトが起動し、スキャンした画像を編集できるようにします。

画像を E メールで送ろう

スキャンした画像を、メールソフトに自動的に添付することができます。E メール機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。ここでは機能の概要を説明します。
対応メールソフトについては、エプソンのホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

1.　スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2.　EPSON Smart Panel の［E メール］ボタンをクリックします。

3.　スキャナが画像のスキャンを開始します。

全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像のスキャンが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4.　以下の画面が表示されたら、スキャンする画像を確認します。

1	画像インデックス	スキャンした画像のサムネイルが表示されます。 スキャンした各画像のファイル名は、文字列 + 4 桁の番号（初期設定）になります。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、スキャンした画像が拡大表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	原稿台にセットされている原稿を新たにスキャンします。
3	［左へ 90 度回転］ボタン	画像を左に 90 度回転します。
4	［右へ 90 度回転］ボタン	画像を右に 90 度回転します。
5	［ミラー］ボタン	画像の左右を反転します。
6	［拡大］ボタン	画像を拡大表示します。［サムネイルビュー］ボタンをクリックするとサムネイル表示になります。
7	［サムネイルビュー］ボタン	画像をサムネイル表示します。［拡大］ボタンをクリックすると拡大表示になります。
8	［次へ］ボタン	次のステップ（アプリの起動）へ進みます。

メール送信

1	アプリケーションリスト	電子メールの送信が可能なアプリケーションソフトを表示します。
2	［設定］ボタン	アプリケーションソフトに関する以下の設定ができます。 ・ アプリケーションソフトを登録する ・ アプリケーションリストの並び順を変更する ・ 選択したアプリケーションソフトにファイルを送る際に使用するファイル形式を設定する ・ 登録したアプリケーションを削除する ・ アプリケーションリストに登録されているアプリケーションソフトの順序を変更する
3	［アプリケーションを検索する］ボタン	再度、電子メールの送信が可能なアプリケーションソフトを検索し、アプリケーションリストを表示し直します。
4	［起動］ボタン	選択した電子メールアプリケーションソフトが起動し、スキャンした画像が自動的に新規メールに添付され、文字入力待ち状態になります。

ポイント

メールを送信する前に、画像のファイルサイズを確認してください。ファイルサイズが大きすぎる場合は、［設定］ボタンをクリックして、サイズを小さくしてください。

画像をインターネットで公開しよう

インターネット上で使用するのに適した解像度とファイル形式で画像をスキャンし、指定のサイトにアップロードすることができます。また、PRINT Image Matching 機能を使用して、保存するファイルに色空間情報を付加します。Web 機能の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。ここでは手順と機能の概要を説明します。

ポイント

- インターネット上で画像を公開するには、インターネットに接続できる環境が整っている必要があります。
- PRINT Image Matching の詳細については、以下のページをご覧ください。
  「PRINT Image Matching について」349
- 「EPSON Photo Album」では、会員登録（無料）を行うだけで、誰でもインターネット上で画像を公開することができます。「EPSON Photo Album」を使用するには、事前に「MyEPSON」への登録が必要になります。詳しくは、デジタル写真総合サイト EPSON PHOTO GARDEN をご覧ください。（http://www.photogarden.jp/）
- Web 機能は、PRINT Image MatchingII に対応していないので、シーンに応じた項目を選択できません。PRINT Image MatchingII を使用する場合は、ファイル保存機能をお使いください。
  「目的に合ったファイル形式・鮮やかに印刷できる設定で保存しよう」303

1. スキャナ前面にあるスキャナビボタンを押して、EPSON Smart Panel を起動します。

2. EPSON Smart Panel の［Web］ボタンをクリックします。

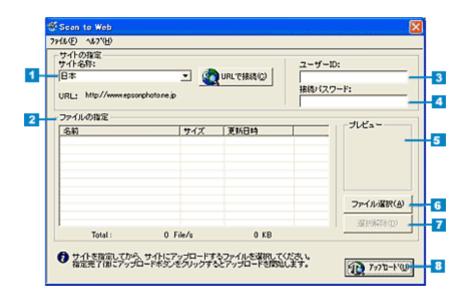
3. スキャナが画像のスキャンを開始します。

全自動モード以外の場合は、プレビューをしてから、起動した画面の［スキャン］ボタンをクリックします。画像のスキャンが終了したら［閉じる］ボタンをクリックします。

4. 以下の画面が表示されたら、スキャンする画像を確認します。

1	画像インデックス	スキャンした画像のサムネイルが表示されます。 スキャンした各画像のファイル名は、文字列 + 4 桁の番号（初期設定）になります。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、スキャンした画像が拡大表示されます。
2	［新規スキャン］ボタン	原稿台にセットされている原稿を新たにスキャンします。
3	［左へ 90 度回転］ボタン	画像を左に 90 度回転します。

4	[右へ 90 度回転] ボタン	画像を右に 90 度回転します。
5	[ミラー] ボタン	画像の左右を反転します。
6	[拡大] ボタン	画像を拡大表示します。[サムネイルビュー] ボタンをクリックするとサムネイル表示になります。
7	[サムネイルビュー] ボタン	画像をサムネイル表示します。[拡大] ボタンをクリックすると拡大表示になります。
8	[次へ] ボタン	選択したファイルで次のステップ（Scan to Web）へ進みます。

5. スキャンした画像をアップロードします。

1	サイト名称	スキャンした画像をアップロードするサイト (EPSON Photo Album) を選択します。
2	ファイルの指定	サイトにアップロードするファイルを表示します。 ファイル名、ファイルサイズ、更新日時をそれぞれ表示します。
3	ユーザー ID	サイトに接続するときのユーザー ID を入力します。
4	接続パスワード	サイトに接続するときのパスワードを入力します。
5	プレビュー	リスト上で選択されているファイルのサムネイルイメージを表示します。 ファイルが複数選択されているときは、最上位のファイルを表示します。
6	[ファイル選択] ボタン	コンピュータに保存されている画像ファイルをリストに追加します。
7	[選択解除] ボタン	リスト上のファイル選択を解除します。
8	[アップロード] ボタン	選択したファイルをサイトにアップロードします。

ポイント

- [アップロード] ボタンをクリックすると、アップロード先のサイト (URL) と [キャンセル] ボタンが表示されます。
- アップロードが完了すると、アップロードを実行する前の画面に自動的に戻ります。

スキャナについて

スキャナのメンテナンス

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法で本スキャナのお手入れをしてください。

本体の清掃

以下の部分が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。

- 原稿台のガラス面
- 外装ケース
- 保護マット

注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品はケースなどの表面を傷めることがありますので、絶対に使わないでください。
スキャナには絶対に水などがかからないように注意してください。

蛍光ランプが切れたときの対応方法

蛍光ランプが切れたときは、交換修理が必要です。お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子)』をご覧ください。

故障のとき

スキャナ本体には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド（冊子)』をご覧ください。

故障かな ? と思っても、「困ったときは」の内容を確認すれば、解決できることもあります。「困ったときは」の内容を確認してください。

「本体のトラブル」230

輸送するときは

本スキャナを輸送するときは、衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

1. キャリッジがホームポジション（一番手前）にあることを確かめます。

通常は、スキャンが正しく終了すると、キャリッジはホームポジションに移動します。
「前面」322

2. USB ケーブルを取り外します。

3. コンセントを抜いて、電源をオフにします。

4. スキャナ背面のフィルムスキャンユニット用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタから外します。

5. 本体底面にある輸送用固定レバーを、🔒 の位置までスライドして、キャリッジを固定します。

図のようにスキャナを両手で静かに持ち上げて、底面の輸送用固定レバーを 🔒 の位置までスライドします。

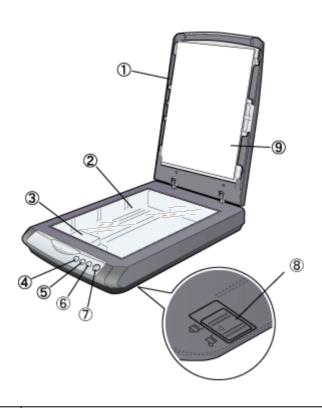
6. 梱包材を取り付け、スキャナを梱包します。

専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

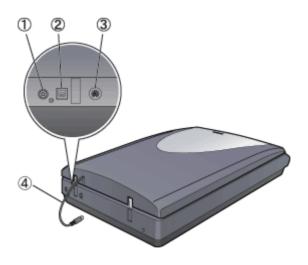
本スキャナの輸送時は、スキャナの上下を逆にしないでください。

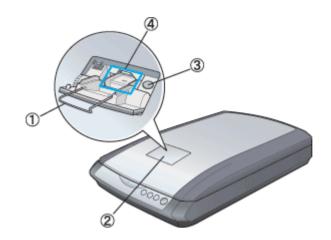
各部の名称と働き

このページのもくじ

前面

1	原稿カバー／フィルムスキャンユニット	原稿をスキャンするときに閉じて、外部の光をさえぎります。 厚みのある原稿や、A4 よりも大きい原稿をセットするときは、取り外すこともできます。 フィルムをスキャンする場合には、内側の保護マットを必ず取り外してください。
2	原稿台	原稿のスキャンする面を下にしてここに置きます。
3	キャリッジ	原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いています。スキャン時に移動します。 スキャン前の位置（一番手前）をホームポジションといいます。
4	［保存ナビ］ボタン	EPSON Smart Panel からファイル保存機能を起動します。ワンタッチでスキャンから保存まで実行できます。 「目的に合ったファイル形式・鮮やかに印刷できる設定で保存しよう」303
5	［メールナビ］ボタン	EPSON Smart Panel から E メール機能を起動します。ワンタッチでスキャンした画像を E メールで送ります。 「画像を E メールで送ろう」316

<table>
<tr><td>6</td><td>［コピーナビ］ボタン</td><td colspan="3">EPSON Smart Panel からコピー機能を起動します。ワンタッチでスキャンした写真を焼き増し印刷できます。
「スキャンした画像をコピーしよう」306</td></tr>
<tr><td rowspan="6">7</td><td>［スキャナビ］ボタン</td><td colspan="3">EPSON Smart Panel を起動します。
「スキャナビボタンを使ってスキャン」299</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ステータスランプ（スキャナビボタンの上部）</td><td colspan="3">スキャナの状態を、色と光でお知らせします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ステータスランプ</td><td>スキャナの状態</td></tr>
<tr><td rowspan="2">緑色</td><td>点灯</td><td>スキャンできます</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>準備／スキャン中です</td></tr>
<tr><td>赤色</td><td>点滅</td><td>エラーが発生しました
「電源をオンにすると、ランプが赤色になった」231</td></tr>
<tr><td>8</td><td>輸送用固定レバー</td><td colspan="3">輸送時にキャリッジが動かないように固定するためのレバーです。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>保護マット</td><td colspan="3">写真や書類など（光を反射する原稿）をスキャンする場合に、必ず白い面を上にして取り付けてください。
フィルム（光を透過する原稿）をスキャンする場合は、取り外します。</td></tr>
</table>

背面

1	電源コネクタ	AC アダプタを接続します。
2	USB コネクタ	USB（ユニバーサルシリアルバス）ケーブルを接続します。
3	フィルムスキャンユニット用コネクタ	フィルムスキャンユニット用ケーブルを接続します。 マルチフォトフィーダ（別売）をお使いの場合は、ここにマルチフォトフィーダ用ケーブルを接続します。
4	フィルムスキャンユニット用ケーブル	フィルムスキャンユニット用コネクタに差し込みます。

前面（GT-F550 のみ）

1	フィルムガイド	フィルムガイドを起こしてフィルムをセットします。フィルム差し込み口カバーを閉じる場合は、フィルムガイドを戻してから閉じてください。
2	フィルム差し込み口カバー	カバーの◯◯◯マークを指で押して開け、フィルムをセットします。
3	フィルム取り出しボタン	セットしたフィルムを取り出すときに押します。
4	フィルム差し込み口	ここにフィルムをセットします。

1	フィルム取り出し用ノブ	フィルムが詰まったときにここを回して取り出します。上から取り出す場合は上に回し、下から取り出す場合はフィルム取り出し用カバーを開けてから下に回してください。 「フィルムが詰まったときの取り出し方」253
2	フィルム取り出し用カバー	フィルムが詰まったときに、下から取り出す場合は、ここを開けてからフィルム取り出し用ノブを下に回し、フィルムを取り出します。
3	オートフィルムローダ	自動で 35mm ストリップフィルムをスキャンするための装置です。この部分は触らないでください。

基本仕様

本スキャナの技術的な仕様について記載します。

ハードウェア基本仕様

機種名	GT-F500	GT-F550
型式	卓上型カラーイメージスキャナ	
外形寸法	幅 275mm x 奥行 419mm x 高さ 86mm	
重量	約 3.0kg	約 3.2kg
走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り	
画像読み取りセンサ	6 ラインカラー CCD （オンチップマイクロレンズ搭載）	
原稿サイズ	A4、US レター	
最大有効領域	216mm x 297mm	
最大有効画素	主走査 20,400 画素 x 副走査 28,080 画素（2400dpi）	
センサ解像度	主走査 :2400dpi 副走査 :4800dpi	
読取解像度	50 ～ 6400dpi （1dpi 刻みで設定可能）、9600dpi、12,800dpi	
階調	各色 16bit（入出力）	
色分解方式	CCD 上のカラーフィルタによる分解（R・G・B）	
インターフェイス	USB1.1、USB2.0	
光源	白色冷陰極蛍光ランプ	

電気的特性

機種名	GT-F500	GT-F550
電源電圧	定格 AC100V（AC100V ± 15%）	
定格電流	1.0A	
電源周波数	50 ～ 60Hz（49.5 ～ 60.5Hz）	
消費電力	動作時：約 17.0W 待機時：約 13.0W 低電力モード時：約 5.0W	動作時：約 19.0W 待機時：約 13.0W 低電力モード時：約 5.5W

適合規格

電磁波障害	VCCI　クラス B
電源高調波	高調波抑制対策ガイドライン適合
省エネ	国際エネルギースタープログラムに適合

環境条件

温度	動作時 : 5 ～ 35 度 保存時 :-25 ～ 60 度
湿度	動作時 :10 ～ 80%（非結露） 保存時 :10 ～ 85%（非結露）

使用条件

塵埃	一般事務所、一般家庭程度 異常にほこりの多いところは避けること
照度	直射日光、光源の近くは避けること

オプション

＜マルチフォトフィーダ＞

型番	GTFMPF1	
環境使用条件	温度	動作時 : 5 〜 30 度 保存時 :-25 〜 60 度
	湿度	動作時 :10 〜 80%（非結露） 保存時 :10 〜 85%（非結露）
電気的特性	定格入力電圧	24V ± 10%、5V ± 10%
	定格入力電流	24V: 0.65A 5V: 0.2A

原稿条件

機種名	GT-F500		GT-F550	
雑誌や写真などの原稿（光を反射する原稿）	写真、印刷物など、表面が滑らかなもの 原稿表面に段差がある場合（台紙に写真を貼ったときなど）、読み取った画像の段差部分に色が付くことがあります 原稿が薄い場合、裏側の画像も裏写りしてスキャンすることがあります			
フィルム	35mm ストリップフィルム（ネガ ／ ポジ）	3 コマまで	35mm ストリップフィルム（ネガ ／ ポジ）	6 コマまで
	35mm ポジマウントフィルム	2 コマまで	35mm ポジマウントフィルム	1 コマ

マルチフォトフィーダ（別売 型番：GTFMPF1）の使い方

マルチフォトフィーダは、スキャナに接続して、複数の写真や名刺などを連続してスキャンできる装置です。

このページのもくじ

マルチフォトフィーダで使用できる原稿種類

マルチフォトフィーダにセットできる原稿は以下の通りです。
記念写真など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

原稿サイズ ※サイズの異なる原稿をセットしないこと	幅：50 ～ 102 mm 長さ：82 ～ 152 mm
原稿種類	写真印画紙（4"x6", 3"x5", L 判 , E 判）、ハガキ、名刺
セット可能枚数 ※エッジガイドの目盛りを超えてセットしないこと	24 枚 用紙の厚みの合計：6mm 以下
厚さ	写真印画紙：0.23mm（通常市販されている印画紙） ハガキ：0.2 ～ 0.34mm 名刺：0.2 ～ 0.34mm

注意

- 以下の用紙は、マルチフォトフィーダでは使用しないでください。給紙不良またはマルチフォトフィーダの故障などの原因になります。
  ・インスタント写真用紙
  ・写真を貼り合わせたハガキ
  ・折り目、破れ、波打ち、穴のある用紙
  ・表面が乾いていない写真印画紙
  ・反り（カール）の大きい用紙
  ・裁断角度が直角でない用紙
  ・薄すぎるハガキまたは名刺、厚すぎるハガキまたは名刺
  ・濡れている原稿
  ・2 枚以上貼り合わせた原稿
  ・シールなどが貼ってある原稿
  ・劣化した原稿
- 記念写真など大切な原稿は、以下のページの手順と逆の手順でマルチフォトフィーダを取り外して、原稿カバーをセットしてからスキャンしてください。マルチフォトフィーダを使用した場合、原稿に傷が付くおそれがあります。
  「マルチフォトフィーダへの原稿のセット方法」328

- インクジェットプリンタで印刷された写真用紙やインクジェットプリンタ用専用紙は、マルチフォトフィーダで使用することはできますが、表面に傷が付くおそれがあります。
- 1 枚の原稿を 5 回以上スキャンしないでください。原稿に傷が付くおそれがあります。

マルチフォトフィーダへの原稿のセット方法

1. スキャナの電源をオフにします。

電源プラグをコンセントから抜くと、電源がオフになります。

2. スキャナ背面のフィルムスキャンユニット用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタから外します。

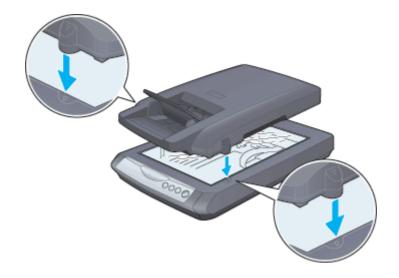
ポイント

必ず、電源がオフ（AC アダプタが接続されていないこと）になっていることを確認してからフィルムスキャンユニット用ケーブルを外してください。

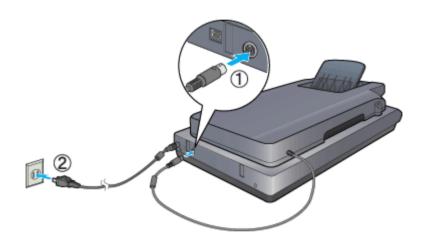
3. 原稿カバーを開け、上に持ち上げます。

ポイント

取り外した原稿カバーは、必ずマルチフォトフィーダに同梱のスタンドに立てかけておいてください。保護マットにスタンドが当たらないよう注意して立てかけてください。

4. マルチフォトフィーダの両側面にある▼を原稿台の▼マークに合わせてセットします。

ポイント

原稿台に原稿やフィルムがある場合は、取り除いてください。

5. マルチフォトフィーダ用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタに取り付け、電源をオンにします。

ポイント

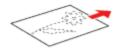
必ず、スキャナの電源がオフの状態で、マルチフォトフィーダ用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタに取り付けてください。

6. エッジガイドを広げて、マルチフォトフィーダの排紙トレイを上にあげます。

7. 原稿のスキャンする面を下にして、給紙トレイに縦長に差し込みます。

原稿はすべて給紙口に対して縦長に差し込んでください。

ポイント

- 原稿は、すべて給紙口に対して縦長にセットしてください。

- 名刺をセットする場合も、スキャンする面を下にし、給紙口に対して縦長にセットしてください。
- エッジガイドより小さい原稿（原稿幅が 50 ～ 53mm の原稿）をセットする場合は、エッジガイドの左側に寄せてセットしてください。
- 原稿の両面にホコリが付いている場合は、セットする前にホコリをふき取ってからセットしてください。

8. 原稿が突き当たったら、排紙トレイを戻して、エッジガイドを原稿に合わせます。

こんなときは

◆◆マルチフォトフィーダを使用していない場合◆◆
必ず、スキャナから取り外し、スタンドにセットしてください。スタンドにセットする場合は、マルチフォトフィーダの裏側にある紙すくいフィルムのフィルム部分がスタンドに当たらないように注意してください。

以上でマルチフォトフィーダへの原稿のセットは終了です。

次に、原稿をスキャンして保存します。
原稿をスキャンするには、スキャナドライバ「EPSON Scan（エプソンスキャン）」を使用します。
マルチフォトフィーダを使用すると、複数の写真や名刺などをスキャンできます。スキャン方法は、全自動モード、ホームモード、プロフェッショナルモードの 3 通りがあります。目的に合った項目を参照してください。

- セットした原稿をすべて自動でスキャンしたい場合
  「複数枚の写真や名刺などを全自動モードで連続スキャンして保存」331
- スキャン時の設定を変更したい、写真の色合いなどを変更してから、連続してスキャンしたい場合
  「複数枚の写真や名刺などをホームモードで連続スキャンして保存」333
- スキャン時の設定を一枚ずつ変更したい、原稿の一部分を連続してスキャンしたい場合
  「複数枚の写真や名刺などをプロフェッショナルモードで連続スキャンして保存」335

複数枚の写真や名刺などを全自動モードで連続スキャンして保存

マルチフォトフィーダを全自動モードで使用すると、複数の写真や名刺などを連続してスキャンできます。

1. 同じサイズの原稿（写真や名刺など）をマルチフォトフィーダにセットします。

「マルチフォトフィーダへの原稿のセット方法」328

ポイント

サイズの異なる原稿を一緒にセットしないでください。

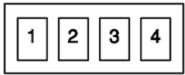
2. EPSON Scan を起動します。

「写真を全自動モードでスキャンして保存」9

3. 必要に応じて、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

［保存ファイルの設定］画面は、EPSON Scan を初めて起動した場合や、［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］をチェックしていると表示されます。

ポイント

［保存形式］は、［JPEG］をお勧めします。［JPEG］では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は［TIFF］をお勧めします。1 つのファイルとして保存したい場合は［PDF］または［Multi-TIFF］を選択してください。PDF 形式のファイルを開くには Adobe Acrobat、Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。入手方法についてはアドビ社のホームページをご覧ください。（http://www.adobe.co.jp）
Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。

4.　［OK］ボタンをクリックします。

マルチフォトフィーダにセットしたすべての原稿がスキャンされ、保存されます。スキャンが終わると原稿は排紙され、新しい原稿が給紙されてスキャンが始まります。

5.　保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、手順 3 で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

以上で、全自動モードでの連続スキャン／保存は終了です。

複数枚の写真や名刺などをホームモードで連続スキャンして保存

マルチフォトフィーダをホームモードで使用すると、最初に画質調整を行えば、すべて同じ設定でまとめてスキャンできます。

1. 同じサイズの原稿（写真や名刺など）をマルチフォトフィーダにセットします。

「マルチフォトフィーダへの原稿のセット方法」328

サイズの異なる原稿を一緒にセットしないでください。

2. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

「写真をホームモードでスキャンして保存」13

3. ［原稿種］［イメージタイプ］［出力設定］を設定します。

ポイント

- セットした原稿はすべて同じ設定でスキャンされます。スキャン時の設定を 1 枚ずつ変えてスキャンしたい場合は、プロフェッショナルモードをお使いください。
  「複数枚の写真や名刺などをプロフェッショナルモードで連続スキャンして保存」335
- マルチフォトフィーダをホームモードで使用した場合、プレビューできませんので、出力サイズは選択できません。［等倍］の設定でスキャンされます。

4. 必要に応じて、［画質調整］ボタンをクリックして画質を調整します。

「画像の調整」162

5. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

ポイント

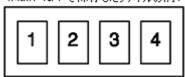
マルチフォトフィーダをホームモードで使用した場合、プレビューを表示せずにまとめてスキャンします。［自動プレビュー］機能も使用できません。

6. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

使用する目的に合わせて［保存形式］を選択してください。

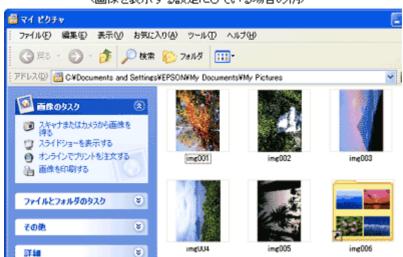
ポイント

［保存形式］は、［JPEG］をお勧めします。［JPEG］では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は［TIFF］をお勧めします。1 つのファイルとして保存したい場合は［PDF］または［Multi-TIFF］を選択してください。PDF 形式のファイルを開くには Adobe Acrobat、Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。入手方法についてはアドビ社のホームページをご覧ください。（http://www.adobe.co.jp）
Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。

<Multi-TIFF で保存したファイルの例>

7. ［OK］ボタンをクリックします。

マルチフォトフィーダにセットしたすべての原稿がスキャンされ、保存されます。

8. 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、手順 6 で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

<画像を表示する設定にしている場合の例>

以上で、ホームモードでの連続スキャン／保存は終了です。

複数枚の写真や名刺などをプロフェッショナルモードで連続スキャンして保存

プロフェッショナルモードでマルチフォトフィーダを使用すると、スキャンする画像を 1 枚ずつ確認しながら画像調整をすることができます。

1. 同じサイズの原稿（写真や名刺など）をマルチフォトフィーダにセットします。

「マルチフォトフィーダへの原稿のセット方法」328

サイズの異なる原稿を一緒にセットしないでください。

2. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「写真をプロフェッショナルモードでスキャンして保存」21

3. 各項目を原稿に合わせて設定します。

1	原稿種	［反射原稿］を選択します。
2	取込装置	［マルチフォトフィーダ］を選択します。
3	自動露出	セットした原稿に合わせて選択します。
4	イメージタイプ	カラー画像としてスキャンするのか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするのかを選択します。
5	解像度	スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。

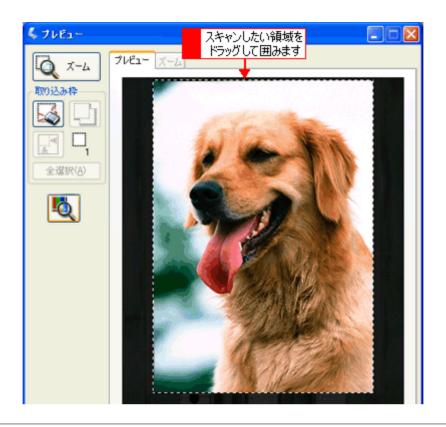
ポイント

スキャン時の設定は、1 枚ずつ変えることができます。セットした原稿すべて同じ設定でスキャンしたい場合は、ホームモードをお使いください。
「複数枚の写真や名刺などをホームモードで連続スキャンして保存」333

4. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

1 番下の原稿が給紙されて画像の仮スキャン（プレビュー）が行われます。

5. スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠が作成されます。取り込み枠を拡大／縮小または移動してスキャンする範囲を決めてください。
「プレビューウィンドウと取り込み枠の作り方」271

ポイント

- 取り込み枠は、1 つしか設定できません。マルチフォトフィーダからのスキャン時は、複数枠のスキャンはできません。
- プレビューした画像をスキャンしない場合は、[プレビュー] ボタンをクリックしてください。[プレビュー] ボタンをクリックすると、スキャンされずに原稿が排紙され、続いて次の原稿が給紙されてプレビューが行われます。
- プレビュー後、給紙されたままでスキャンせず、約 15 分経過すると、給紙中の原稿を自動的に排出し、省電力モードに移行します。スキャンを続けるには、排出された原稿を給紙トレイにセットし直して、再度［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

6. ［出力サイズ］を設定します。

スキャン後の画像サイズ（縦横のサイズ）を設定してください。
「画像サイズを変更（拡大 / 縮小）する」197

7. 必要に応じて、画質を調整します。

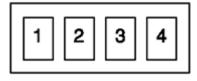
「画像の調整」162

8. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

9. ［保存ファイルの設定］画面が表示された場合は、［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定します。

この画面は 1 枚目のスキャン時にのみ表示されます。使用する目的に合わせて［保存形式］を選択してください。

ポイント

［保存形式］は、［JPEG］をお勧めします。［JPEG］では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は［TIFF］をお勧めします。1 つのファイルとして保存したい場合は［PDF］または［Multi-TIFF］を選択してください。PDF 形式のファイルを開くには Adobe Acrobat、Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。入手方法についてはアドビ社のホームページをご覧ください。（http://www.adobe.co.jp）
Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。

10.［OK］ボタンをクリックします。

画像が保存されます。保存が終了すると、原稿が排紙され、続いて新しい原稿が給紙されてプレビューが行われます。

11. マルチフォトフィーダに原稿がなくなり、すべての画像が保存されたら、保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、手順 9 で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
なお、初期設定では Windows の場合は［マイ ピクチャ］または［My Pictures］フォルダ（ない場合は［マイ ドキュメント］フォルダ）、Macintosh の場合は［EPSON Scan Image］または［ピクチャ］フォルダに保存されます。

〈画像を表示する設定にしている場合の例〉

以上で、プロフェッショナルモードでの連続スキャン／保存は終了です。

紙すくいフィルムのお手入れと交換方法

お手入れ

マルチフォトフィーダを長時間使用すると、マルチフォトフィーダの紙すくいフィルムのほこりが原稿に付着することがあります。紙すくいフィルムにほこりがついた場合は以下の手順でお手入れしてください。

1. スキャナの電源をオフにします。

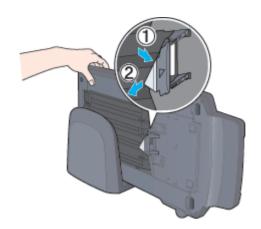
電源プラグをコンセントから抜いて、電源をオフにします。

2. マルチフォトフィーダ用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタから外します。

3. マルチフォトフィーダをスキャナから取り外し、スタンドにセットします。

注意

マルチフォトフィーダをスタンドにセットする場合は、紙すくいフィルムがスタンドに当たらないように注意してください。

4. 紙すくいフィルムを起こしてから、取り外します。

5. **柔らかい布で紙すくいフィルムをからぶきします。**

6. **お手入れが終了したら、取り外しとは逆の手順で、紙すくいフィルムを取り付けます。**

以上で紙すくいフィルムのお手入れは終了です。

紙すくいフィルムの交換

紙すくいフィルムが曲がったり傷ついたり破損した場合は、以下の手順で予備の紙すくいフィルムと交換してください。

1. **スキャナの電源をオフにします。**

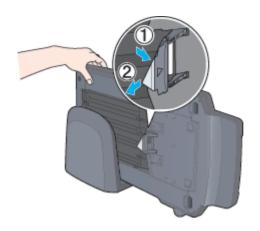
   電源プラグをコンセントから抜いて、電源をオフにします。

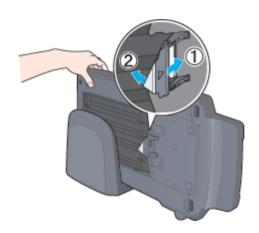
2. **マルチフォトフィーダ用ケーブルをフィルムスキャンユニット用コネクタから外します。**

3. **マルチフォトフィーダをスキャナから取り外し、スタンドにセットします。**

注意

マルチフォトフィーダをスタンドにセットする場合は、紙すくいフィルムがスタンドに当たらないように注意してください。

4. **紙すくいフィルムを起こしてから、取り外します。**

5. 取り外しとは逆の手順で、予備の紙すくいフィルムを取り付けます。

紙すくいフィルムは、△マークのある面が表になるように取り付けてください。

以上で紙すくいフィルムの交換は終了です。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ	http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号	0120- 251- 528 （フリーダイヤル） ※電話番号のかけ間違いにご注意ください。
	受け付け時間	月～金曜日　AM9:00 ～ PM6:15 土曜日　AM9:00 ～ PM5:00 （祝祭日・弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。	
お届け予定日	本州・四国	翌日
	北海道・九州	翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払ください。	
クレジットカード	取り扱いカード	UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア 振込み（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。 請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。	
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。上記のホームページまたは電話にてお申し込みください。	

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタの消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話 にてご確認ください。

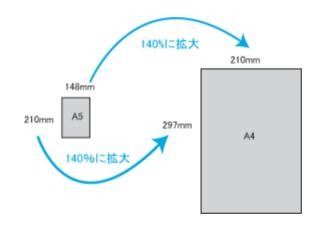
マメ知識

拡大／縮小と解像度の関係

EPSON Scan の［解像度］で設定する解像度は、出力解像度（スキャン後の画像の解像度）を示します。入力解像度（スキャナからスキャンする際の解像度）は、出力解像度の設定、出力サイズの設定、取り込み枠の設定によって自動的に決まります。そのため、拡大／縮小する場合、解像度の数値を拡大／縮小率に合わせて計算・設定する必要はありません。

拡大／縮小する場合に、入力解像度がどのように決まるか、参考として説明します。

縦横比が同じ原稿の拡大／縮小率

A5 サイズの原稿を、A4 サイズで拡大してスキャンする場合を例に説明します。
A5 サイズを A4 サイズに拡大するには、縦横それぞれを 140% に拡大します。

従って、入力解像度は

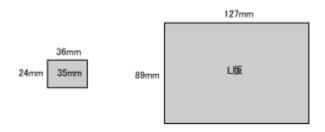
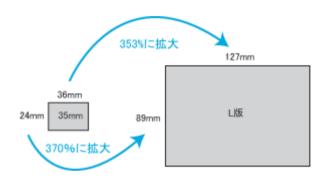
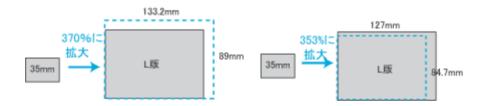
例えば、A5 サイズの原稿を
出力サイズ：A4
解像度：300dpi
の設定でスキャンした場合、

入力解像度は自動的に

300dpi × 140%＝ 420dpi

となります。

縦横比が違う原稿の拡大／縮小率

縦横比が同じ原稿は、縦横を同じ比率で拡大／縮小すればよいのですが、35mm フィルムを L 判に拡大する場合、縦横比が異なります。このような場合、拡大／縮小率はどのようになるのでしょうか？
35mm フィルムと L 判はそれぞれ下図のサイズです。

35mm フィルムを L 判の大きさに拡大するには、縦を約 370%、横を 353% に拡大することになります。

この場合、35mm フィルムの縦の長さがちょうど収まる約 370% に拡大すると、横がはみ出してしまいます。横の長さがちょうど収まる約 353% に拡大すると、縦が少し小さめになりますが、 L 版のサイズに収まります。

従って、［出力サイズ］ で 35mm フィルムを L 判で出力するには、縦横の両方が収まる、353% に拡大されます。
入力解像度は

例えば、35mm フィルムを
出力サイズ : L 版
解像度 : 300dpi
の設定でスキャンした場合、

入力解像度は自動的に

300dpi × 353%＝ 1059dpi

となります。

ポイント
- 入力解像度と出力解像度を一致させたい場合は、出力サイズを等倍に設定してください。

- プロフェッショナルモードを選択している場合、ここの説明は［出力サイズ］のトリミングを［あり］に設定している場合（初期設定）の例です。

解像度を上げるときれいになる？

解像度を上げると、画素が増え、画像がよりきめ細かになります。しかし、解像度を上げれば上げるほどきれいになるというものではありません。次の説明をご覧になり、用途に合った解像度を設定してください。

用途に応じた解像度

用途に応じた解像度の目安は以下のとおりです。

用途	目安となる解像度	説明
E メール送信	96 ～ 150dpi	目安となる解像度以上に上げると、E メールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように解像度を設定してください。
OCR（光学文字認識）	400dpi	目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。認識率が良くない場合は、しきい値を調整してください。しきい値を調整した方が、よりよい効果が得られます。 「文字原稿のスキャン」221
EPSON インクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi（カラー、グレー画像の場合） 360dpi（白黒の線画の場合）	目安となる解像度で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像のスキャン／保存／読み込み／印刷などが遅くなります。
EPSON インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷	300dpi（カラー、グレー画像の場合） 720dpi（白黒の線画の場合）	
レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合） 600dpi（白黒の線画の場合）	
ディスプレイ表示	96dpi	通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ～ 90dpi くらいです。そのため、例えば、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi でスキャンしても、画面から画像がはみ出してしまいます。

また、解像度を上げるほど、多くのハードディスク／メモリ容量を必要とします。
以下は、解像度ごとの画像データ容量です。

原稿の種類	原稿サイズ	解像度		
		150dpi	300dpi	600dpi
カラー写真	L 判＊	約 1.1MB	約 4.3MB	約 17.4MB
	A4	約 6.1MB	約 24.5MB	約 98MB
白黒写真	L 判＊	約 0.4MB	約 1.4MB	約 5.8MB
	A4	約 2MB	約 8.2MB	約 32.6MB
文字原稿／線画	A4	—	約 1MB	約 4MB

＊約 90mm × 130mm

ポイント

- 解像度が 2 倍になると、データ容量は約 4 倍になります。
- スキャンする画像の容量の目安は、EPSON Scan のプレビューウィンドウの下側に、画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量として表示されます。
- ハードディスクには、最低でもスキャンする画像データ容量の 2 倍以上の空き容量がないと、スキャンすることはできません。

48bit カラーでスキャンするときれいになる？

ここでは、48bit カラーまたは 16bit グレーでスキャンすることのメリットについて、48bit カラーを例に説明します。

ポイント

イメージタイプで 48bit カラーまたは 16bit グレーを選択できるのは、プロフェッショナルモードのみです。

見た目に違いは分からない

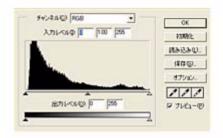
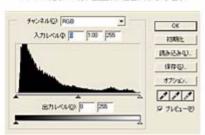
48bit カラーでスキャンしても、24bit カラーでスキャンしても、ディスプレイ上では違いがわかりません。これは、コンピュータが 24bit までのデータしか扱えない（1,677 万色までしか表示できない）ためです。

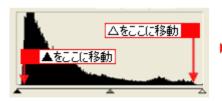
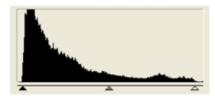
では何が違うのか

見た目には違いが分からなくても、48bit カラーでスキャンした画像はデータ量が豊富です。そのため、フォトレタッチソフトでレベル補正などを行った後の階調飛び（ヒストグラムの歯抜け）を少なくできます。

下図では、画像／ヒストグラムともに、24bit と 48bit の違いはわかりません。

24bitカラーの元画像とヒストグラム

48bitカラーの元画像とヒストグラム

元画像は白い部分（花の中心にある雪の部分）が白くなっていないため、データの中で本来は白であるべき部分が白くなるように、［ヒストグラム調整］画面で補正してみます。

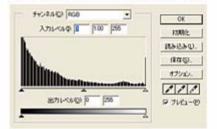
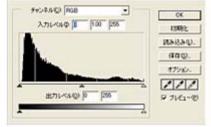
ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動すると、取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。

調整前のヒストグラム

調整後のヒストグラム

下図は補正後の画像とヒストグラムです。

24bit の場合は、元々少ないデータの範囲を広げたため、所々で歯抜けが起きています。見た目はよくなりますが、階調表現力は厳密には低下します。

48bit の場合は、元々のデータ量が多いので、範囲を広げても歯抜けは最小限で済んでいます。階調表現力を損なわずに、見た目がよくなります。

補正後の24bitカラーの画像とヒストグラム

補正後の48bitカラーの画像とヒストグラム

48bit 入力の利用の仕方

出版用途などで画像の品質が重要な場合はもちろん、次のような利用の仕方もあります。

画質調整を使い慣れたフォトレタッチソフトで行う場合に利用

EPSON Scan では、自動露出調整だけを行い、厳密な画質調整をせずに 48bit でスキャンします。その後、使い慣れたフォトレタッチソフトでレタッチし、24bit に変換してください。
高品質の画像を効率よく作成することができます。

元々品質が悪い原稿をスキャンする場合に利用

大幅なレタッチを行うと階調飛びが激しくなり、粗い画像になります。そのため、品質が悪い原稿をスキャンする場合は、48bit でスキャンしておけば、24bit でスキャンした場合に比べ、レタッチ後の階調飛びを抑えることができます。

データ容量について
コンピュータが扱えるデータは 24bit ですので、48bit でスキャンする場合、その画像にはファイル 2 つ分のデータ容量が割り当てられます。
そのため、48bit 画像は 24bit 画像の 2 倍のデータ容量になります。ハードディスクやメモリ容量にご注意ください。

PRINT Image Matching について

PRINT Image Matching とは？

PRINT Image Matching は、この機能を搭載したスキャナで読み込んだ画像、または、この機能を搭載したデジタルカメラで撮影した写真を、対応プリンタから簡単に・きれいに印刷するためのシステムです。
PRINT Image Matching 対応のスキャナで画像を読み込んで JPEG ファイルまたは TIFF ファイルで保存したり、あるいは PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリント指示のためのコマンド（命令）が画像データに付加されます。
プリンタは、このコマンドに従って印刷します。これにより、スキャナで読み込んだ画像の場合は「画像にメリハリを付けて」、デジタルカメラで撮影した写真の場合は「撮影時にデジタルカメラが意図したとおりの最適な色合い」で、印刷できます。
PRINT Image Matching の機能は、カラーマッチングを目指したものではなく、PRINT Image Matching 対応の EPSON プリンタで鮮やかに印刷するための機能です。

どんな効果があるの？

「デジタルカメラの画像を印刷してみたら、思っていたイメージとちょっと違う」というケースがありませんか？それはデジタルカメラとプリンタのマッチングがうまく取れていないからです。PRINT Image Matching は、このようなケースで効果を発揮します。またスキャナの場合は、PRINT Image Matching の効果を積極的に採用することで、印刷結果が生き生きとしてきます。

効果 1（デジタルカメラ／スキャナ）

「色」や「明るさ」の情報をプリントコマンドにしてプリンタに伝えることにより、印刷時の「色」や「明るさ」が最適になります。色の表現力の豊かさを決める「色空間」、色の明るさを決める「プリントガンマ」という画像の品質を決める項目をプリントコマンドで伝達して印刷します。

ガンマ値の違いによる明るさの比較

$\gamma=1.4$

$\gamma=1.8$

$\gamma=2.2$

効果 2（デジタルカメラ）

撮影時の意図が印刷結果に反映されます。
例えば、マクロ写真なら「狙った通りの色鮮やかでくっきりとした画質」で印刷、ポートレート写真なら「やわらかなトーンで美しい肌色」で印刷など、撮影時にデジタルカメラでプリントコマンドが設定されていれば、デジタルカメラの意図したイメージそのままに印刷できます。

シャープでコントラストの高いプリント

軟調で肌色部分を記憶色に補正したプリント

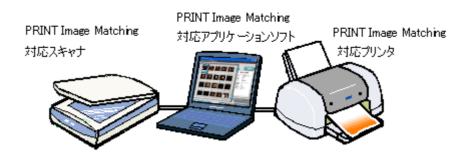
効果 3（デジタルカメラ）

デジタルカメラの個性をプリンタで表現できます。
PRINT Image Matching 機能搭載デジタルカメラと PRINT Image Matching 対応プリンタを組み合わせれば、デジタルカメラが持っている個性を印刷画像に反映できます。これにより、PRINT Image Matching 機能搭載機種によって、あるいはそのカメラの設定によって、プリント画像の色合いに違いが現れます。

ポイント

デジタルカメラ／スキャナ以外には利用できないの？
PRINT Image Matching は、スキャナで読み込んだ画像やデジタルカメラで撮影した画像だけでの利用に限りません。アプリケーションソフトなどの対応が広がっていますので、今後も多くの PRINT Image Matching 対応製品から、より効果的な印刷ができるようになります。

どうやって使うの？

PRINT Image Matching 機能を使用するときは、スキャナ、プリンタ、印刷する用紙、アプリケーションソフトが、PRINT Image Matching に対応している必要があります。

対応アプリケーションソフト

EPSON PhotoQuicker などの PRINT Image Matching 対応アプリケーションソフト

EPSON PhotoQuicker は、EPSON インクジェットプリンタなどに同梱されているソフトウェアです。
本スキャナには同梱されていませんが、エプソンのホームページからダウンロードできます。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

対応プリンタ

お使いのプリンタが、PRINT Image Matching に対応しているかについては、プリンタの取扱説明書、およびエプソンのホームページをご覧ください。（http://www.i-love-epson.co.jp/）

画像のスキャン方法

画像を、PRINT Image Matching 情報を持った形式で保存するには、EPSON Smart Panel を使用してください。EPSON Scan の単独起動や、TWAIN 対応アプリケーションソフト を使用したスキャン方法では、PRINT Image Matching 情報を持った形式では保存できません。

EPSON Smart Panel を使用して、PRINT Image Matching 情報を持った JPEG（ジェーペグ）ファイルや TIFF（ティフ）ファイルを保存する手順については以下のページをご覧ください。
「目的に合ったファイル形式・鮮やかに印刷できる設定で保存しよう」303

ポイント

- お使いの EPSON プリンタやデジタルカメラに PRINT Image Matching 機能が搭載されているかどうか、またプリンタやデジタルカメラやの使用方法については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- PRINT Image Matching 機能を使って印刷するには、PRINT Image Matching に対応したプリンタドライバと EPSON PhotoQuicker を組み合わせて印刷する必要があります。また、用紙の種類によっても PRINT Image Matching 機能の有効 / 無効が切り替わります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイについて

ディスプレイ上で表示される画像などを、いくつの色数を使って表現するか設定することができます。ディスプレイ、印刷結果ともに、よりきれいに表現するためには［16bit］、［24bit］などの値に設定する必要があります。
ここでは、表示色の設定方法とディスプレイの調整方法について説明します。

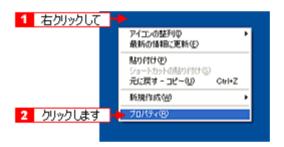
このページのもくじ

ディスプレイの表示色の設定

ポイント

設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お買い求めいただいたディスプレイのメーカーへお問い合わせください。

1. 表示色の設定をする画面を開きます。

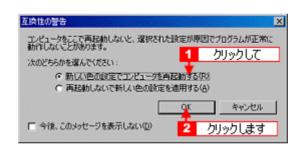
Windows の場合は、デスクトップ上のアイコンのない場所にカーソルを移動させ、右クリックしてから［プロパティ］をクリックします。

ポイント

すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

2. 表示色を設定します。

Windows の場合は、［設定］（または［ディスプレイの詳細］）のタブをクリックして、［画面の色］または［色］（［カラーパレット］）のリストボックスから［High Color(16bit)］または［True Color(24bit)］などをクリックして選択します。
表示される内容は、ディスプレイを使用するためのドライバなどによって異なります。

3. 画面を閉じます。

以下の画面が表示された場合は、［新しい色の設定でコンピュータを再起動する］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

以上で、設定は終了です。

ディスプレイの調整方法

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。

このように偏った表示をしている状態では、スキャナからスキャンした画像や Photo CD などの画像を、適切な明るさや色合いで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ポイント

- ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、非常に手間がかかり、測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
- これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. ディスプレイの電源をオンにして 30 分以上放置し、ディスプレイの表示を安定させます。

室内の照明環境を一定にします。自然光は避けて、一定の照明条件になるようにフードを装着すると良いでしょう。

2. ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。

3. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**

4. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナでスキャンした画像の色が原稿または本スキャナの印刷結果に近くなるように調整を行います。**

5. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

   これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

   以上で、調整は終了です。

書籍のご案内
「カラーマネージメント！」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1　発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ（1998 年初版発行）

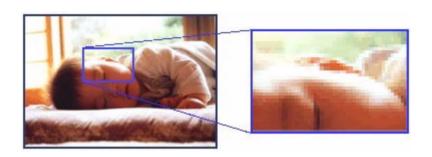
解像度について

より美しい画像を印刷するためには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと印刷解像度について説明します。

解像度とは

スキャナでスキャンされた画像は、基本的にすべて点（ドット）の集まりで構成されています。

ですから、この点が多ければ多いほどきめこまかい表現が可能になり、解像度が高いことになります。この解像度を示す単位として通常用いられるのが「dpi」［25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）］という単位で、これは、25.4mm（1 インチ）当たりにどれだけ点が含まれているかを示しています。

解像度が高い画像は、解像度が低い画像に比べて、より多くの点の集まりで構成されているため、きめの細かい、美しい画像となります。
ただし、解像度が高い画像は、解像度の低い画像に比べて、データの容量が大きくなります。

画像データの解像度と印刷解像度の関係

印刷の設定をいくら高記録解像度に設定して印刷しても、スキャナでスキャンした画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。印刷解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。

基本的には、画像データの解像度を上げれば印刷画質も必然的に向上するわけですが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。
「解像度を上げるときれいになる？」346

プリンタ出力解像度に合わせた、適度な解像度のデータを作成してください。

100dpiの画像データ

240dpiの画像データ

ポイント

EPSON インクジェットプリンタの各印刷モード（解像度）で理想的な印刷結果を出力するためには、下表の解像度の画像データをご用意ください。（カラー印刷の場合 ）

最適な印刷結果が得られる解像度の範囲です。
・印刷解像度の整数分の一倍（例えばプリンタの 1440dpi の 6 分の 1 である 240dpi など）を指定すると、ジャギー（線のギザギザ）が目立たなくなります。
・モノクロ印刷を行う場合は、印刷解像度と同じ解像度の画像データをご用意ください。

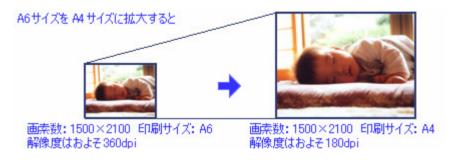
印刷モード(品質)	画像データの解像度の目安
	100dpi 200dpi 300dpi 400dpi
ファイン印刷	●●●●●●●●
スーパーファイン印刷	●●●●●●●●
フォト印刷	●●●●●●●●
スーパーフォト印刷	●●●●●●●●

印刷サイズと解像度の関係

一つの画像データに含まれる点（ドット）の総数を画素数（ピクセル数）と呼びます。画素数は、アプリケーションソフトなどで調整しない限り拡大／縮小してもその数は変わりません。

以下で説明しているように、300dpi の画像データは、そのままのサイズで印刷すれば十分な品質の印刷結果を期待することができますが、拡大印刷すると、画像を構成する点（ドット）も大きくなることで解像度が低下し、好ましい画像品質は得られません。

「画像データの解像度と印刷解像度の関係」354

逆に、画素数の多い画像データを小さなサイズに印刷すれば、解像度は上がりますが、印刷時間がかかるだけで見た目には画像品質の向上は認識できません。

下表は、スキャナによる画像スキャンで生成される画像データの基本的な画素数および画像データ容量（ファイルサイズ）と印刷サイズごとの画像品質の関係を示しています。

＜雑誌や写真などの原稿の場合＞

スキャン解像度	原稿サイズ	画素数（ピクセル）（24bit カラーの場合）		画像データ容量 MB	印刷サイズ				
		短辺	長辺		L判	ハガキ	2L判	A4	A3
300	L 判	1051	1500	4.5	◎	◎	○	×	×
300	ハガキ	1181	1748	5.9	◎	◎	○	×	×
300	A4	2480	3508	24.9	※	※	※	◎	○
600	L 判	2102	3000	18.0	※	※	※	◎	○
600	ハガキ	2362	3496	23.6	※	※	※	◎	○
600	A4	4961	7016	99.6	※	※	※	※	※
1200	L 判	4205	6000	72.2	※	※	※	※	※
1200	ハガキ	4724	6992	94.5	※	※	※	※	※
1200	A4	9921	14031	398.3	※	※	※	※	※

＜フィルムの場合＞

スキャン解像度	原稿サイズ	画素数（ピクセル）（24bit カラーの場合）		画像データ容量 MB	印刷サイズ				
		短辺	長辺		L判	ハガキ	2L判	A4	A3
300	35 mm フィルム	283	425	0.3	×	×	×	×	×
600	35 mm フィルム	567	850	1.4	○	×	×	×	×
1200	35 mm フィルム	1134	1701	5.5	◎	◎	○	×	×
1600	35 mm フィルム	1512	2268	9.8	※	※	◎	○	×
2400	35 mm フィルム	2268	3402	22.1	※	※	※	◎	○

※オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。

◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。

○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。

（注：×：出力解像度 150dpi 未満、○：150 ～ 250 dpi、◎：250 ～ 360 dpi、※ : 360dpi 以上で判定してあります）

ポイント

- 上表の「解像度」とは、EPSON Scan において［出力サイズ］を［等倍］にしたときの解像度の設定値です。
- ［出力サイズ］を［L 判］などの印刷サイズに設定した場合は、［解像度］を［300］dpi に設定してください。
  EPSON Scan のホームモードで［出力先］を［プリンタ］に設定するか、プロフェッショナルモードで［解像度］を［300］dpi に設定して、印刷サイズに対応する［出力サイズ］を選択すれば、拡大倍率を計算して自動的に最適な解像度でスキャンします。
  たとえば、35 mm フィルム 1 コマを L 判に印刷する場合、約 3.7 倍の拡大率となりますので、実際には、およそ 1100 dpi でスキャンされます。

USB について

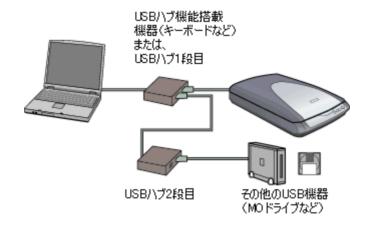
このページのもくじ

複数の USB 機器を接続する方へ

1 台のコンピュータに、スキャナのほかにも USB 機器を接続して使用する場合、使用できるポートがコンピュータにない場合は、「USB ハブ」を別途ご用意ください。

USB ハブは、USB2.0 に対応しているものをお使いください。
USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。(USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。)

USB 機器がスキャナのみの場合

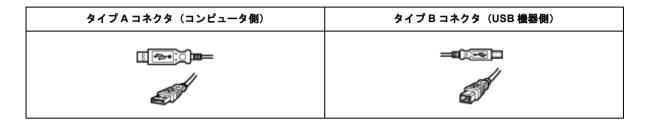
複数の USB 機器を接続する場合

USB 接続では、マウス／スキャナ／プリンタなどの周辺機器を、1 つのインターフェイスで最大 127 台まで接続することができます。
USB ハブがない場合は、使用したい機器をその都度つなぎ変える必要があり、不便です。

ポイント

本スキャナを USB ハブに接続する場合は、必ずコンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作の保証は致しかねます。USB ハブについては、コンピュータをお買い上げの販売店にご相談ください。

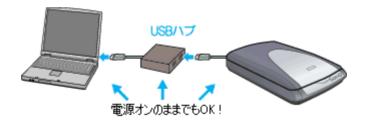
USB ケーブルについて

スキャナとの接続には、同梱の USB ケーブルをお使いください。

タイプ A コネクタ（コンピュータ側）	タイプ B コネクタ（USB 機器側）

USB ケーブルは、コンピュータ側（上位）と USB 機器側（下位）とで、接続するコネクタの形状が異なります。

USB の基礎知識

- 電源をオン／オフする順序は、USB 機器が先でも、コンピュータが先でも構いません。

- USB 接続では、コンピュータや USB 機器の電源がオンの状態のまま、USB 機器を接続したり、外すことができます。

USB2.0 について

- USB2.0 で接続する場合は、USB2.0 インターフェイスを標準搭載する Windows 2000 Professional/ XP HomeEdition / XP Professional プレインストールモデルを使用してください。また、Microsoft 社が提供中の USB2.0 ドライバが必要になります。
- USB2.0 を使用しても原稿と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。または USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。

- USB ハブをお使いになる場合は、USB2.0 に対応しているものをお使いください。
  USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）

色について

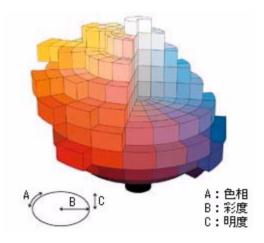
普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。

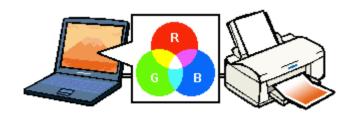
彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の光が見えます。

これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。

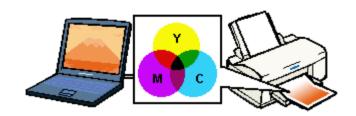
この方法は、どの色も光っていない状態（すべてが 0: 黒）を起点に、すべての色が光っている状態（すべてが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します。）

例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。

この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

理論的には CMY の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMYBK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

この RGB → CMY 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。

このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。しかし、これらの差異をできる限り合わせこむことが可能です。

ポイント

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （CMY）→ ディスプレイ （RGB）→ 印刷（CMY）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものがあります。

カラーマネージメントシステムについて

カラーマネージメントシステムとは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタは色の表現方法が異なり（光の三原色－ RGB と色の三原色－ CMY)、またメーカー・モデルによる違いがあるため、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を一致（カラーマッチング）させるには測定機器や専門知識などが必要です。

測定機器や専門知識などがなくても、機器間の色合わせを行い、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を近づけるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または ColorSync（Macintosh）というカラーマネージメントシステムがあります。

Windows 用 EPSON Scan は ICM2.0（sRGB）に対応しています。Macintosh 用 EPSON Scan は、ColorSync2.0 以降に対応しています。
ただし、お使いのディスプレイ（印刷する場合はプリンタ）が ICM または ColorSync 以降に対応していなければ、ICM または ColorSync の機能は利用できません。

ICM ／ ColorSync を使用したスキャンから印刷までの手順

1. モニタを調整します。詳しくは、以下のページをご覧ください。

「ディスプレイについて」351

モニタが正しく調整されていなければ、ICM ／ ColorSync を使用しても、またどのようなアプリケーションソフトを使用しても、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません。

2. モニタ用のカラープロファイルをシステムに追加します。手順は次の通りです。

Windows の場合

(1) デスクトップ上でマウスを右クリックし、[プロパティ] を選びます。

(2) [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。

(3) [色の管理] タブをクリックし、お使いのモニタ用のカラープロファイルを追加します。

ポイント

- Adobe ガンマユーティリティなどを用いて独自のモニタプロファイルを作成している場合は、そのプロファイルを選択しておくとよいでしょう。
- モニタ用のカラープロファイルは、モニタのメーカーから提供されるものです。そのため、お使いのモニタ用のカラープロファイルが提供されているかどうか（提供されていない場合、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません）、提供されていれば、そのプロファイル名についてはモニタのメーカーにお問い合わせください。

3. アプリケーションソフトで、ICM ／ ColorSync をオン にします。

4. EPSON Scan の ［環境設定］で［ICM ／ ColorSync］を選択し、ソースプロファイルとターゲットプロファイルを設定します。

5. 画像をスキャンします。

6. ICM ／ ColorSync を使用してスキャンした画像を印刷する時は、プリンタドライバで ICM ／ ColorSync を選択（オン ）します。詳しくは、プリンタドライバの取扱説明書をご覧ください。

このとき、アプリケーションソフトのカラーマネジメント機能はオフにしておいてください（プリンタカラー管理をオンにしてください)。

商標・表記について

商標について

- EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
  EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- トラブル解決アシスタントはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync および FireWire は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE,Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

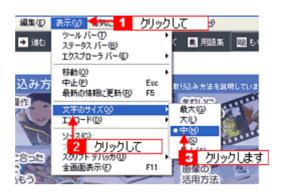
- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows XP(R) Home Edition/Professional operating system 日本語版

以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP と表記しています。

また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 98 / Me / 2000］のように、Windows の表記を省略することがあります。

文字サイズの変更

変更手順（Windows）

［表示］メニューをクリックして、［文字のサイズ］をクリックし、変更する文字サイズをクリックします。

ポイント

ここでは、Microsoft Internet Explorer の場合を例に説明します。
なお、変更方法はお使いブラウザやバージョンによって異なりますので、詳細は各ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

このガイドの使い方

本ガイドをご覧いただくには、Internet Explorer 5.0 以上をご使用になることをお勧めします。

本文中で使用している記号について

本文中で使用しているマークには、以下のような意味があります。

注意	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
注意	製品注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
ポイント	ポイント	ご使用上、知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。
こんなときは	こんなときは	操作を間違った場合や説明通りにならない場合などの、対処方法や補足事項を記載しています。
	参照	関連したページへジャンプします。

検索機能について

Windows 98/Me/2000/XP の Internet Explorer でご覧いただくと、本ガイドをより便利に活用できる検索機能が有効になります。
検索のしかたについては、本ガイド画面下の［検索のしかた］をクリックしてご確認ください。

用語集

ここでは、スキャナ関連の用語を説明します。

英数字

AFL（エーエフエル）

Auto Film Loader の略で、35mm ストリップフィルムを自動でセットすることができる装置です。

API（エーピーアイ）

Application Program Interface の略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のある API を定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAIN（トゥウェイン）とは、スキャナを制御するための API の規格。

bit（ビット）

binary digit（２進法）の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 で表す。8bit で 0 〜 255、16bit で 0 〜 65,535 の数値（デジタルデータ）を表すことができる。本スキャナおよび EPSON Scan は各色 16bit での出力が可能なので、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 65,536 階調、トータルで約 281 兆 5 千億色の表現力がある。

I/O（アイオー）ポートアドレス

コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするために複数の出入り口があるが、それを区別するためにつける番号のこと。キーボード、マウスなどにはあらかじめ番号が割り当てられているが、双方向パラレルなどのボードを新たに接続する場合は、これらと重複しないように番号を設定する必要がある。ハードウェア間で I/O ポートアドレスが重複すると、正常な動作ができなくなる。

MPF（エムピーエフ）

Mulit Photo Feeder の略で、E 判、L 判の写真や名刺などを自動でセットすることができる装置です。

PDA（ピーディーエー）

Personal Digital Assistant の略。携帯端末装置の意。

PDF（ピーディーエフ）

Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、Acrobat Reader（Adobe Reader）という無料ソフトによって閲覧できる。

PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）

PRINT Image Matching は、この機能を搭載したスキャナで読み込んだ画像、または、この機能を搭載したデジタルカメラで撮影した写真を、対応プリンタから簡単に・きれいに印刷するためのシステム。
PRINT Image Matching 対応のスキャナで画像を読み込んで JPEG ファイルまたは TIFF ファイルで保存したり、あるいは PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリント指示のためのコマンド（命令）が画像データに付加される。

TWAIN（トゥウェイン）

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。スキャンするソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれる。

付属の EPSON Scan は、この TWAIN 規格に対応しているので、各種 TWAIN 対応ソフトから画像を直接スキャンできる。

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。
コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。
USB2.0 の特徴はデータ転送速度の理論値が最大 480Mbps と、USB1.x の 12Mbps より 40 倍高速なことである。
また、今までの USB1.x と互換性があり、ケーブルやコネクタは同じものが使用可能である。

アイウエオ

アンシャープマスクフィルタ（unsharp mask filter）

画像にかける輪郭強調のフィルタ。通常画像を縮小すると、周りの画素の情報をスキャンして縮小化されるために、画像が相対的にぼけて見える傾向がある。それを修正するために、画像に対して輪郭強調をかける処理。

印刷線数（screen ruling）

スクリーン線数とも言う。画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される）。

網点が約 25.4mm｛1 インチ｝の幅に何列あるかを線数と言い、単位は lpi（line per inch）で表す。線数が多いほど、画像を精細に印刷できる。

一般に、高画質なハーフトーン画像を出力するには、画像解像度を、出力に使用するスクリーン線数の 2 倍にすると良い。

解像度（resolution）

解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

印刷解像度：
例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm｛1 インチ｝幅にいくつあるかを［印刷解像度］と言い、単位は dpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度：→画像をスキャンするときに、EPSON Scan で設定する解像度
画像データ自体を構成する画素（点）が約 25.4mm｛1 インチ｝幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像のスキャン／保存／読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

スキャンする画像の解像度は 50 ～ 12800dpi まで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度を必要以上に高く設定しても印刷品質は向上しない。

表示解像度：
画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

階調（gradation）

自然界の光は明から暗まで無段階にあるが、そのままではコンピュータで処理できないので、明暗を有限な段階に区切ってデータ処理する。その各段階の濃度を階調という。

区切りの数を階調数と言う。フルカラーでは、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 256 階調（8bit）、トータル 16,777,216 色（24bit）になる。階調の数値が高いほど画像は精細になるが、データ量が多くなるためコンピュータでの処理に時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

画素（pixel）

画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素と言う。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

ガンマ（gamma）

画像の中間調（ミッドトーン）の明暗（濃度特性）を調整する機能。ガンマを調整することにより、暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、中間部分の明るさの値を変更することが可能。

キャリッジ（carriage）

原稿を照射する蛍光ランプがついており、スキャン時に移動する。スキャン前のキャリッジの待機位置をホームポジションという。

クリップボード（clip-board）

ソフトウェア間でデータを交換するときに、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

原色（primary color）

スキャナのカラースキャンや CRT ディスプレイのカラー表示は、赤（R）、緑（G）、青（B）の光の三原色で行う。これに対し、プリンタの出力や印刷インクによる色表現は、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の色の三原色で行う。それぞれの原色は互いに補色の関係にある。プリンタや印刷機の出力では、黒色を正確に表現するために黒（K）も使用する。

自動露出 (auto exposure)

原稿を自動解析して最適な読み取りに設定する機能。

ストリップフィルム（strip film）

一般の 35mm フィルム（ネガ／ポジ）を 6 コマずつに切ったフィルムのこと。

ズーム（zoom）

画像を再現したときに、原稿に対して拡大または縮小されるようにスキャンする機能。指定した解像度に対して、ズームの分だけ、読み取る画素数が増減するので、同じ解像度の出力機器で再現したときに、結果として拡大または縮小される。

走査（scan）

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルタで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査という。

またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査（main scan）、縦方向の読み取りを副走査（sub scan）という。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

チェックボックス（check box）

項目（機能）の有効／無効を設定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効／無効を切り替えることができる。

ドラッグ（drag）

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

ニュートンリング（newton ring）

フィルムのスキャンで発生する、光学的な現象。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生する。（ニュートンリングは干渉縞とも言い、光の干渉で発生する）

フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にしてスキャンすると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るため、ニュートンリングが発生しにくくなる。

濃度補正（tone correction）

濃度はトーンともいう。スキャナでスキャンした画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していくトーン曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く仕上げることができる。

ハイライト、シャドウ（highlight, shadow）

ハイライトは最も明るい部分、または画像の最も明るくしたい部分。シャドウは最も暗い部分、または画像の最も暗くしたい部分。

ピクセル（pixel）

解像度（表示解像度）を参照。

ヒストグラム（histogram）

画像の黒（0）～白（255）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したもの。ヒストグラムによって。画像の本来白であるべき部分が白くなっているか、黒であるべき部分が黒になっているか、などを確認できる。

EPSON Scan の［ヒストグラム調整］画面では、ヒストグラムを見ながらハイライトポイントやシャドウポイントなどを指定し、画像の明暗を最適化することができる。

ベース面（base side）

フィルムの、光沢のある面。反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されている。（膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいう）

ポジマウントフィルム（slide film）

スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠にはさんだもの。マウントフィルム（mounted film）ともいう。

膜面（emulsion side）

ベース面の説明を参照。

メモリ（memory）

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。

画像スキャンにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モアレ（moire）

印刷におけるモアレ：
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度という）。

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ねられるが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生する。

スキャナでの画像スキャンにおけるモアレ：
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されている。この画像をスキャナでスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去を ON にしたり、原稿の向きを変えてスキャンすることによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

索引

Numerics

B

C

E

I

J

M

O

P

T

U

あ

い

お

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0776_00W	全て	新規制定	